

(受学改7-1)

西小倉中学校校舎ほか解体工事

図 面 リ ス ト											
建 築 図				機 械 図				電 気 図			
図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名
A-000	表紙・図面リスト	A-067	特別教室棟 仕上表	M-001	特記仕様書	E-001	特記仕様書ー1	E-051	北教室棟増築② 弱電設備 平面図		
A-001	解体撤去工事特記仕様書	A-068	特別教室棟 1.2階平面図	M-002	衛生設備 屋外配管図	E-002	特記仕様書ー2	E-052	南教室棟・昇降口棟増築 幹線設備系統図		
A-002	アスベスト対策工事仕様書	A-069	特別教室棟 3.4階平面図	M-003	衛生設備 排水管配管図	E-003	インフラ設計図（既設撤去）	E-053	南教室棟・昇降口棟増築 配電図		
A-003	付近見取図	A-070	特別教室棟 立面図、断面図	M-004	衛生設備 排水管配管図	E-004	高圧受電設備 単線結線図	E-054	南教室棟・昇降口棟増築 盤リスト		
A-004	現状建物撤去配置図	A-071	特別教室棟 建具案内図 (1) (S53竣工)	M-005	衛生設備 1階平面図 (既設汚水放案管)	E-005	ポンプ室周リ詳細図	E-055	南教室棟増築 電灯設備平面図		
A-005	解体後敷地図	A-072	特別教室棟 建具案内図 (2) (S53竣工)	M-006	衛生設備 1階平面図	E-006	管理棟・北教室棟・特別教室棟 幹線系統図	E-056	南教室棟増築 新設・動力・コンセント設備平面図		
A-006	転がし計画図	A-073	特別教室棟 建具案内図 (3) (S54竣工)	M-007	衛生設備 2階平面図	E-007	管理棟・北教室棟・特別教室棟 動力・コンセント設備 1階平面図	E-057	南教室棟・昇降口棟増築 照明器具配置図		
A-007	仮設工事計画図	A-074	特別教室棟 建具リスト (1) (S53竣工)	M-008	衛生設備 3階平面図	E-008	管理棟・北教室棟・特別教室棟 動力・コンセント設備 2階平面図	E-058	南教室棟・昇降口棟増築 弱電設備系統図		
A-008	外構撤去平面図	A-075	特別教室棟 建具リスト (2) (S53竣工)	M-009	衛生設備 4階平面図	E-009	管理棟・北教室棟・特別教室棟 動力・コンセント設備 3階平面図	E-059	南教室棟増築 弱電設備平面図		
A-009	雨水排水撤去平面図	A-076	特別教室棟 建具リスト (3) (S54竣工)	M-010	衛生設備 屋内運動場・受水槽	E-010	管理棟・北教室棟・特別教室棟 動力・コンセント設備 4階平面図	E-060	南教室棟増築 自動火災警報設備系統図		
A-010	樹木撤去平面図	A-077	特別教室棟 基礎伏図、2.3階床梁伏図	M-011	ガス設備図	E-011	管理棟・北教室棟・特別教室棟 照明器具リスト	E-061	南教室棟増築 自動火災警報設備平面図		
A-011	外構ほか撤去詳細図 (1)	A-078	特別教室棟 R階床梁伏図	M-012	衛生設備 汚水ポンプ詳細図	E-012	管理棟・北教室棟・特別教室棟 電灯設備 1階平面図	E-062	昇降口棟 電気設備 1階平面図		
A-012	外構ほか撤去詳細図 (2)	A-079	特別教室棟 基礎・地中梁リスト (1) (S53竣工)	M-013	空調設備 機器表 (1)	E-013	管理棟・北教室棟・特別教室棟 電灯設備 2階平面図	E-063	昇降口棟 電気設備 2階平面図		
A-013	外構ほか撤去詳細図 (3)	A-080	特別教室棟 基礎・地中梁リスト (2) (S54竣工)	M-014	空調設備 機器表 (2)	E-014	管理棟・北教室棟・特別教室棟 電灯設備 3階平面図	E-064	技術棟 照明器具配置図		
A-014	外構ほか撤去詳細図 (4)	A-081	特別教室棟 柱断面リスト (S53竣工) (S54竣工)	M-015	空調設備 1階平面図	E-015	管理棟・北教室棟・特別教室棟 電灯設備 4階平面図	E-065	技術棟 コンセント設備 平面図		
A-015	外構ほか撤去詳細図 (5)	A-082	特別教室棟 梁・小断面リスト (S53竣工)	M-016	空調設備 2階平面図	E-016	管理棟・北教室棟・特別教室棟 放逐設備 機器配置図 (1)	E-066	技術棟 電灯設備 平面図		
A-016	外構ほか撤去詳細図 (6)	A-083	特別教室棟 梁断面リスト (S53竣工) (S54竣工)	M-017	空調設備 3階平面図	E-017	管理棟・北教室棟・特別教室棟 放逐設備 系統図	E-067	屋内運動場 照明器具配置図		
A-017	校舎棟 1階平面図	A-084	特別教室棟 床版リスト	M-018	空調設備 4階平面図	E-018	管理棟・北教室棟・特別教室棟 放逐設備 系統図	E-068	屋内運動場 電気設備 平面図		
A-018	校舎棟 2階平面図	A-085	特別教室棟 壁配筋リスト	M-019	空調設備 技術棟平面図	E-019	管理棟・北教室棟・特別教室棟 放逐設備 1階平面図	E-069	屋内運動場 自動火災警報設備 平面図		
A-019	校舎棟 3階平面図	A-086	特別教室棟 鉄骨ブレース詳細図	M-020	換気設備 1階平面図	E-020	管理棟・北教室棟・特別教室棟 放逐設備 2階平面図				
A-020	校舎棟 4階平面図	A-087	南教室棟 仕上表	M-021	換気設備 2階平面図	E-021	管理棟・北教室棟・特別教室棟 放逐設備 3階平面図				
A-021	校舎棟 R階平面図	A-088	南教室棟 平面図	M-022	換気設備 3階平面図	E-022	管理棟・北教室棟・特別教室棟 放逐設備 4階平面図				
A-022	管理棟 仕上表	A-089	南教室棟 立面図	M-023	換気設備 4階平面図	E-023	管理棟・北教室棟・特別教室棟 弱電設備 系統図				
A-023	管理棟 1.2階平面図	A-090	南教室棟 断面図	M-024	換気設備 技術棟平面図	E-024	管理棟・北教室棟・特別教室棟 弱電設備 1階平面図				
A-024	管理棟 3.4階平面図	A-091	南教室棟 建具案内図	M-025	換気設備 屋内運動場平面図	E-025	管理棟・北教室棟・特別教室棟 弱電設備 2階平面図				
A-025	管理棟 立面図、断面図	A-092	南教室棟 建具リスト (1)			E-026	管理棟・北教室棟・特別教室棟 弱電設備 3階平面図				
A-026	管理棟 1.2階建具案内図	A-093	南教室棟 建具リスト (2)			E-027	管理棟・北教室棟・特別教室棟 弱電設備 4階平面図				
A-027	管理棟 3.4階建具案内図	A-094	南教室棟 基礎・柱梁伏図			E-028	管理棟・北教室棟・特別教室棟 自動火災警報設備 系統図				
A-028	管理棟 建具リスト (1)	A-095	南教室棟 基礎リスト			E-029	管理棟・北教室棟・特別教室棟 自動火災警報設備 1階平面図				
A-029	管理棟 建具リスト (2)	A-096	南教室棟 梁断面リスト			E-030	管理棟・北教室棟・特別教室棟 自動火災警報設備 2階平面図				
A-030	管理棟 柱・基礎伏図、2階床梁伏図	A-097	南教室棟 柱断面リスト			E-031	管理棟・北教室棟・特別教室棟 自動火災警報設備 3階平面図				
A-031	管理棟 3.4階床梁伏図	A-098	南教室棟 床版・壁配筋・小梁リスト			E-032	管理棟・北教室棟・特別教室棟 自動火災警報設備 4階平面図				
A-032	管理棟 基礎・地中梁リスト	A-099	昇降口棟 仕上表			E-033	管理棟・北教室棟・特別教室棟 防火戸自動閉鎖装置設置工事 系統図				
A-033	管理棟 基礎リスト	A-100	昇降口棟 平面図			E-034	管理棟・北教室棟・特別教室棟 防火戸自動閉鎖装置設置工事 1階平面図				
A-034	管理棟 柱断面リスト	A-101	昇降口棟 立面図、断面図			E-035	管理棟・北教室棟・特別教室棟 防火戸自動閉鎖装置設置工事 2階平面図				
A-035	管理棟 梁断面リスト (1)	A-102	昇降口棟 伏図、柱断面リスト			E-036	管理棟・北教室棟・特別教室棟 防火戸自動閉鎖装置設置工事 3階平面図				
A-036	管理棟 梁断面リスト (2)	A-103	昇降口棟 基礎リスト、床版・壁配筋リスト			E-037	管理棟・北教室棟・特別教室棟 防火戸自動閉鎖装置設置工事 4階平面図				
A-037	管理棟 床版リスト	A-104	技術棟 仕上表			E-038	管理棟・北教室棟・特別教室棟 遊歩設備立面図				
A-038	管理棟 壁配筋リスト	A-105	技術棟 平面図			E-039	北教室棟・特別教室棟増築 照明器具配置図				
A-039	管理棟 鉄骨ブレース詳細図	A-106	技術棟 立面図			E-040	北教室棟・特別教室棟増築 電灯・コンセント設備 1階平面図				
A-040	高床水槽 詳細図	A-107	技術棟 断面詳細図			E-041	北教室棟・特別教室棟増築 電灯・コンセント設備 2階平面図				
A-041	高床水槽 伏・軸組図	A-108	技術棟 建具リスト			E-042	北教室棟・特別教室棟増築 電灯・コンセント設備 3階平面図				
A-042	煙突 詳細図	A-109	技術棟 工具基礎詳細図			E-043	北教室棟・特別教室棟増築 電灯・コンセント設備 4階平面図				
A-043	北教室棟 仕上表	A-110	技術棟 伏図、鉄骨断面リスト			E-044	北教室棟・特別教室棟増築 電灯・コンセント設備 平面詳細図				
A-044	北教室棟 1.2階平面図	A-111	技術棟 補強ブレース詳細図			E-045	北教室棟・特別教室棟増築 弱電設備 1階平面図				
A-045	北教室棟 3.4階平面図	A-112	屋内運動場 仕上表			E-046	北教室棟・特別教室棟増築 弱電設備 2階平面図				
A-046	北教室棟 R階平面図	A-113	屋内運動場 1階平面図			E-047	北教室棟・特別教室棟増築 弱電設備 3階平面図				
A-047	北教室棟 立面図、断面図	A-114	屋内運動場 2階平面図、1階天井伏図			E-048	北教室棟・特別教室棟増築 弱電設備 4階平面図				
A-048	北教室棟 建具案内図 (1) (S53竣工)	A-115	屋内運動場 立面図 (1)			E-049	北教室棟増築② 照明器具配置図				
A-049	北教室棟 建具案内図 (2) (S53竣工)	A-116	屋内運動場 立面図 (2)、断面図			E-050	北教室棟増築② 電灯・コンセント設備 平面図				
A-050	北教室棟 建具案内図 (3) (S54竣工) (S56竣工)	A-117	屋内運動場 建具案内図 (1)								
A-051	北教室棟 建具リスト (1) (S53竣工)	A-118	屋内運動場 建具案内図 (2)								
A-052	北教室棟 建具リスト (2) (S53竣工)	A-119	屋内運動場 建具リスト (1)								
A-053	北教室棟 建具リスト (3) (S54竣工)	A-120	屋内運動場 建具リスト (2)								
A-054	北教室棟 基礎・地中梁伏図	A-121	屋内運動場 建具リスト (3)								
A-055	北教室棟 2.3階床梁伏図	A-122	屋内運動場 建具リスト (4)								
A-056	北教室棟 4.4階床梁伏図	A-123	屋内運動場 備品リスト								
A-057	北教室棟 基礎・地中梁リスト (1) (S53竣工)	A-124	屋内運動場 鋼製床詳細図								
A-058	北教室棟 基礎・地中梁リスト (2) (S54竣工)	A-125	屋内運動場 基礎・床梁伏図								
A-059	北教室棟 基礎・地中梁リスト (3) (S56竣工)	A-126	屋内運動場 軸組図 (1)								
A-060	北教室棟 柱断面リスト (S53竣工) (S54竣工) (S56竣工)	A-127	屋内運動場 中間断面図、側面詳細図								
A-061	北教室棟 梁断面リスト (1) (S53竣工)	A-128	屋内運動場 裏面詳細図								
A-062	北教室棟 梁断面リスト (2) (S53竣工)	A-129	屋内運動場 補強詳細図 (1)								
A-063	北教室棟 梁断面リスト (3) (S54竣工) (S56竣工)	A-130	屋内運動場 補強詳細図 (2)								
A-064	北教室棟 床版リスト	A-131	屋内運動場 下屋・歩廊梁伏図、軸組図 (1)								
A-065	北教室棟 壁配筋リスト	A-132	屋内運動場 基礎伏図								
A-066	北教室棟 鉄骨ブレース詳細図	A-133	屋内運動場 基礎詳細図								
		A-134	流り廊下 平面図、立面図、構造図								

工 事 の 概 要

工事名称
工事場所
工事期間
規模構造

（受学改7-1）西小倉中学校校舎ほか解体工事
宇治市伊勢田町道田7番地I
入札通知書による。
校舎棟　鉄筋コンクリート造4階建て
技術棟　鉄骨造平屋建て
屋内運動場　鉄骨造平屋建て
渡り廊下　鉄骨造平屋建て
ポンプ室　コンクリートブロック造平屋建て

建築面積／延床面積
校舎棟　1，904．85㎡ / 5，598．77㎡
技術棟　287．50㎡ / 250．00㎡
屋内運動場　962．85㎡ / 818．88㎡
渡り廊下　78．87㎡ / 78．87㎡
ポンプ室　11．35㎡ / 11．35㎡

工 事 範 囲

・校舎棟解体工事　　　　　一式
・技術棟解体工事　　　　　一式
・屋内運動場解体工事　　　一式
・渡り廊下解体工事　　　　一式
・ポンプ室解体工事　　　　一式
・旧浄化槽解体工事　　　　一式
・その他工作物解体工事　　一式
・上記に伴う撤去、処分　　一式

□ 共 通 事 項

1　施工基準

本工事は、契約書及び①質疑回答書　②現場説明書　③特記仕様書　④設計図　⑤建築物解体工事共通仕様書他各改修工事標準仕様書（国土交通省大臣官庁官房官庁営繕部監修　令和4年版）により施工する。
なお、設計図書間に相違がある場合は優先順位は上記記載の順とする。

2　監理基準

本工事は建築改修工事監理指針及び建築・機械設備・電気設備・各工事監理指針（国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修令和4年版）により監理する。

3　提出書類等

契約書及び設計図書に定められた提出書類等を監督職員の指示により定められた期日までに提出する。
受注者は、下請契約を締結する場合には、下請金額に関わらず、施工体制台帳を提出する。
また、施工体系図においては、すべての下請負人及び労働者を記載する。
なお、施工体制台帳には監督職員が指示する書類を添付して提出する。

4　建設業退職金共済制度

受注者は建設業退職金共済制度（建退共）に加入の上、掛金収給書を提出する。工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」を掲示し、工事完成時には「建退共運営実績報告書」、「労働者の救済日報」と及び「共済証紙受払簿」を提出する。また、下請負人に対してとも同共済制度加入を奨励する。

5　工事実績情報

受注者は受注時、変更時及び完成時の各時点において、あらかじめ登録内容について監督職員の確認を受けた上で、それぞれ10日以内に（一財）日本建築情報総合センターへ工事実績情報サービス入カシステム（C O R I N S ）の登録申請を行う。
また、登録後、直ちに登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する（作成、登録等に伴う費用は受注者の負担とする）。

6　建設工事保険等

受注者は、工事情目物・工事材料等を建設工事保険等（第三者保険を含み、火災による損害が見込まれる場合は火災保険を含む）に付し、その保険証書の写し又はこれに代わるものを提出する。
なお、その保険の加入期間は、工事着工の時から、工事完成期日後14日迄とする。

7　労務補償に必要な法定外の保険契約について

受注者は、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」（令和元年法律第35号）に基づき、公共工事等に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険（法定外労災）に付する。

8　工事写真

工事写真撮影ガイドブック（国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修　令和5年版）を参考に、着工前・工事中の各段階の工程の内容が充分把握できるよう撮影する。工事完成時には、完成写真を撮影し、着工前・工事中と共に工事用アルバムに整理の上1部提出する（データ共）。
なお、着工前・完成写真は、着工前・完成を一对（左右または前後）として整理すること。

9　不正軽油使用防止の徹底

受注者は建設機械等の燃料としての軽油はJIS規格軽油以外のものを使用してはならない。
また、下請負人等に対しても不正軽油使用防止の指導・監視を徹底する。
受注者は、京都府税務調査員による燃料検査に協力しなければならない。

10　一般事項

・軽微な変更については、請負金額の増減は行わない。
・工事現場には仮囲いを行い、同現場の安全に十分配慮する。特に、工事車両の出入り及び時間等については、当該施設運営管理者等と十分打合せを行い、交通安全管理に配慮する。
・騒音、臭気等が発生する工事については、作業時間・日時について当該施設運営管理者と協議し、施設の運営管理等に支障をきたさぬよう配慮する。
・既存部分については、受注者において汚染、損傷の無いよう十分な養生を行う。万一損傷が生じた場合は監督職員に報告の上、受注者の責任において原状復旧する。
・使用材料は、設計図書に記載されたもの又は同等品とする。同等品とする場合は、事前に監督職員にカタログ等資料を提出し、承認を受ける。
・工事完成時には、社内検査を実施する。
・本工事は市の行う完成検査に合格し、工事目的物引渡書の提出をもって完了とする。
・使用機器については、環境負荷の軽減に努めるものとし、排出ガス対策型機器、低騒音型機器、低振動型機器、低燃費型機器の使用を促進する。また、電動工具類は、整備された工具を使用し安全性に責任を持ち管理する。

11　その他

・交通誘導警備員は、現場説明書による。
・公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めに従って各下請負人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げ、所定の様式により監督職員に提出する。
・受注者は宇治市が指名停止措置を行っている第三者に対して宇治市の契約についての全て、若しくは一部を下請、受託させてはならない。

12　過積載防止について

受注者は本工事における材料等の搬出入に伴う工事車両の過積載防止について、十分注意を払うと共に下請負人への指導を徹底する。

13　官公庁その他への手続き

工事の施工に必要な官公庁その他への手続きは受注者の責任において速やかに行うものとする。
なお、これに要する費用は受注者の負担とする。

14　技術者及び現場代理人について

・受注者は、主任技術者または監理技術者及び現場代理人について、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者から選任し、配置しなければならない。

15　工事完了時の整地

・受注者は工事完了時に、工事敷地内及び車両通行部分は、必要に応じ砂を搬入し、整地を行う。既設コンクリート舗装、アスファルト舗装等の損傷箇所については、現場説明書による。

16　建設発生土の処分

・建設発生土を搬出する場合は「残土処理計画書（報告書）」を提出する。同計画書には処理場所の位置図及び経路図、受入承諾書を添付する。同報告書には処分したことが判明する資料（受入証明書）及び写真等を添付する。
・その他の建設発生土の取り扱いについては、現場説明書による。

16　解体等工事の事前調査

・受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第1項・第4項に基づき、改修工事対象となる全ての部材について、特定建築材料の使用の有無について調査し、その結果を発注者に説明する。
また、第18条の15第3項・第4項に基づき、事前調査結果の記録を作成し、保存しなければならない。
調査方法は、分析による調査、目視、設計図書等による。
・受注者は、改正大気汚染防止法第18条の16第5項に基づき、事前調査結果を公衆の見やすい場所に掲示する。

□ 解 体 撤 去 工 事

1　確　認

解体除去物及び範囲については、事前に監督職員の立会いの上、確認する。

2　解体作業

着工前に建物の構造、規模を十分調査し、危険の無いよう実施する。作業は騒音、振動、防塵等の防止計画を立て、低振動低騒音工法(油圧によるかみ砕き工法等)とし、作業中は十分散水を行う。
騒音・粉塵等の対策として、防音シートなどにより発生する。なお、シート類は防災処理されたものとする。ブレーカー、穿孔機、破砕機、圧砕機等による粉塵発生部に散水を行い、粉塵等の飛散を防止する。

3　地中埋設物

地中埋設物(基礎、杭、土間、捨てコンクリート、碎石、各設備配管)についても全て撤去する。

4　発生材処分

工事に伴う撤去材

・　撤去材・発生材は、場外搬出し関係法令を遵守し処理するものとし、「廃棄物処理計画書（報告書）」を随時提出する。同計画書には、当該廃棄物の処分業の許可証の写し、受注者と処分業者の契約書の写しに加えて、処分地の位置図及び経路図を添付する。また廃棄物を委託して運搬する場合は、該当する収集運搬業の許可証（搬出地と搬入地）の写しと受注者と運搬業者との契約書の写しを添付する。同報告書には処分したことが判明する資料として、運搬管理表(又はマニフェストの写し)及び写真等を添付する。
・　本工事の施工により発生するアスファルト塊、コンクリート塊及び木材は再資源化施設に搬出する。
・　その他の建築副産物の取扱いについては、現場説明書による。
・　「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」による産業廃棄物の収集運搬車に係る表示及び書面添え付けを行う。
・　工事完了時に産業廃棄物の収集運搬車両への表示状況が確認できる写真を提出する。

5　産業廃棄物税

「京都府産業廃棄物税条例」に基づき導入される産業廃棄物税(以下「産廃税」という)は京都府内の最終処分施設に搬入される産業廃棄物について課税されるものである。
また、中間処理施設に搬入される産業廃棄物においても、リサイクル後の処理残渣等が最終処分施設に搬入される場合は、最終処分場に搬入される量に対して課税される。
なお、本工事においても、産廃税相当額を見込んでいる。(産廃税も本工事に含む)

□ 仮 設 工 事

1　工事電力・工事用水

現場説明書による。

2　工所用電力設備の保安責任者

工所用電力設備の保安責任者を定め報告する。
当該施設に電気主任技術者が専任されている場合はその指示を仰ぐ。
持込電動機器は整備された機器以外は持込させてはならない。また、仮設分電盤内に漏電遮断器を取り付け事故の防止に努める。

3　設置・維持管理

現場説明書による。

4　仮囲い

施工範囲・資材置場等に対しての侵入防止策を講じる。（フェンスバリケード（シート貼り共）等）
詳細については仮設計画図による。

5　内外足場・養生等

足場等は、労働安全衛生法・建築基準法・建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い適切な材料および構造のものとし、適切な保守管理を行う。高所作業車使用時含む。また、仮設計画を作成し監督職員と協議を行う。
近接する他の部材や工作物の部分を損壊しないようにメッシュシート又は工専用シート等で養生を行う。外部足場については、手摺先行型枠組木足場（W＝600以上）とする。足場の設置に関しては、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省　平成16年4月制定・平成21年6月1日改正）」に基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、または改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を保保する。また、外部足場には昇降足場を設置する。

6　墜落制止用器具の使用について

受注者は、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則等の改正（平成31年2月）に伴い、高所作業を行う場合には、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に基づき、墜落、転落による労働災害の防止に努める。

7　電気・機械設備工事

工事着工に際し、事前に必要な機器（照明機器・放送設備・空調機器・受信設備等）器具の機能確認を行い、その結果を書面に監督職員に報告する。

□ 土 工 事

解体除却後は戻戻しを行う。

□ 外 構 工 事

図示による。

□ 完 成 図 書

完成に際しては以下の図書を提出する。

名称	内容	サイズ	部数
完成図（背張り製本）	特記仕様書・完成図・施工图	A3版	1部
完成図書	機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・検査庁提出書類（零）	A4版	2部
諸官庁提出書類	副本		一式
完成図データ	CADデータ（ファイル形式は任意とするが、JAN形式で出力したもの添付する）、PDF	C D－R	2部

株式会社 類設計室 一級建築士事務所

本　社 〒532-0011　大阪市淀川区西中島4-3-2　類ビル
東京事務所 〒144-0052　東京都大田区蒲田5-38-3　蒲田朝日ビル4 F
大阪事務所 〒532-0011　大阪市淀川区西中島4-3-2　類ビル

06・6305・2222
03・5713・1010
06・6305・6666

設計

一級建築士 大臣登録第311846号

齊藤　直

構造設計一級建築士　第5621号
一級建築士 大臣登録第235240号

廣重　圭一

設備設計一級建築士　第4707号
一級建築士　大臣登録第358739号

鈴木　邦彦

担当

作　成
第　1　回
第　2　回
第　3　回

・　・
・　・
・　・
・　・

工事名称
西小倉中学校校舎ほか解体工事

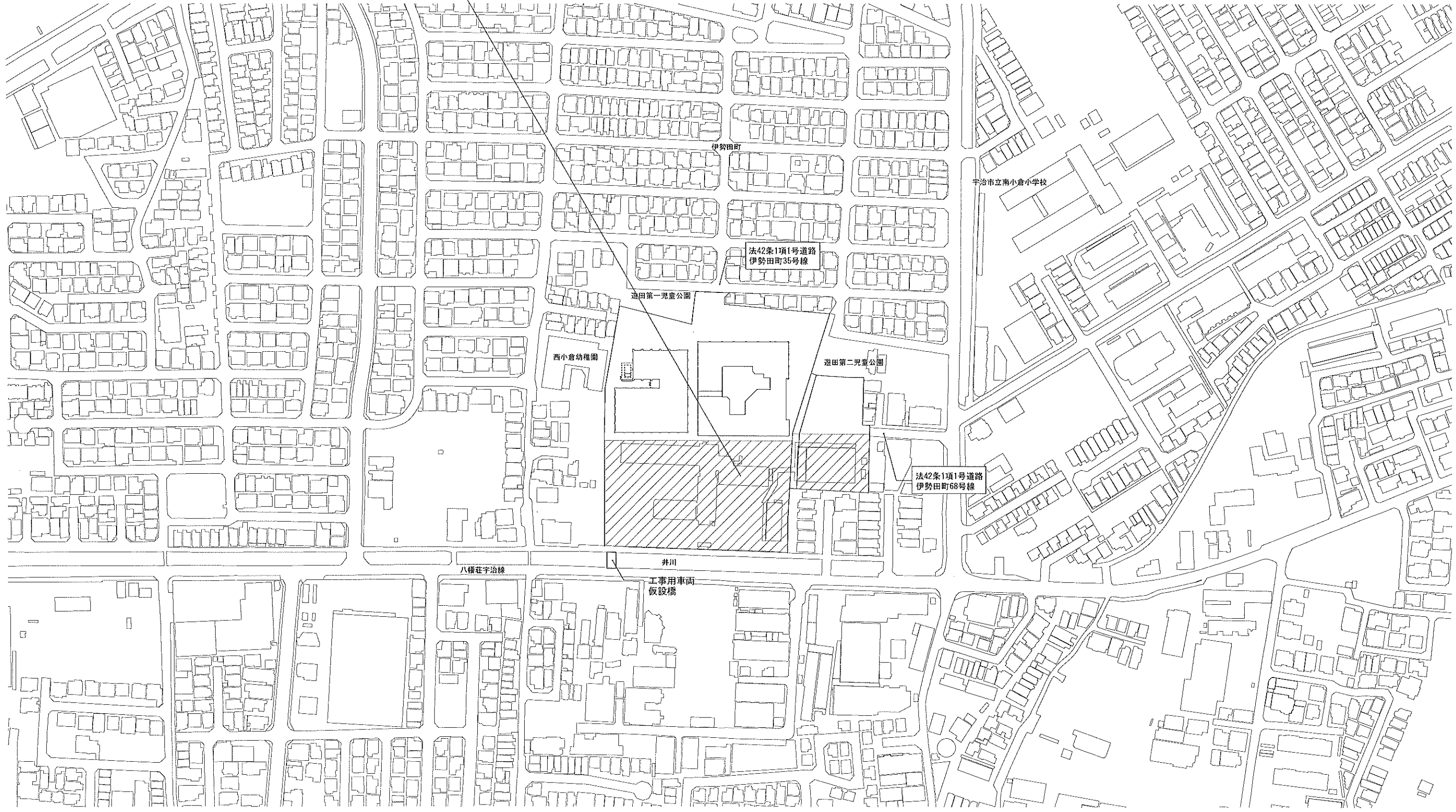
図面名称
解体撤去工事特記仕様書

縮尺
A1：　－
A3：　－

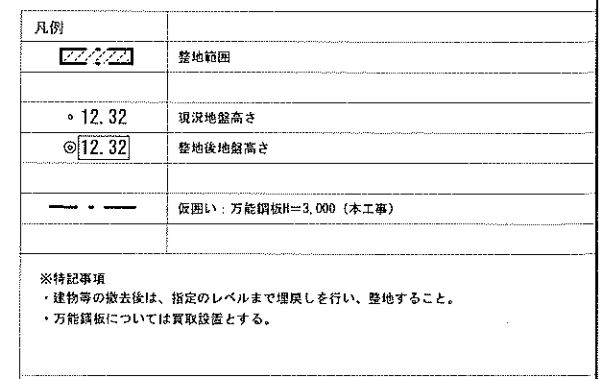
図面NO.
A-001

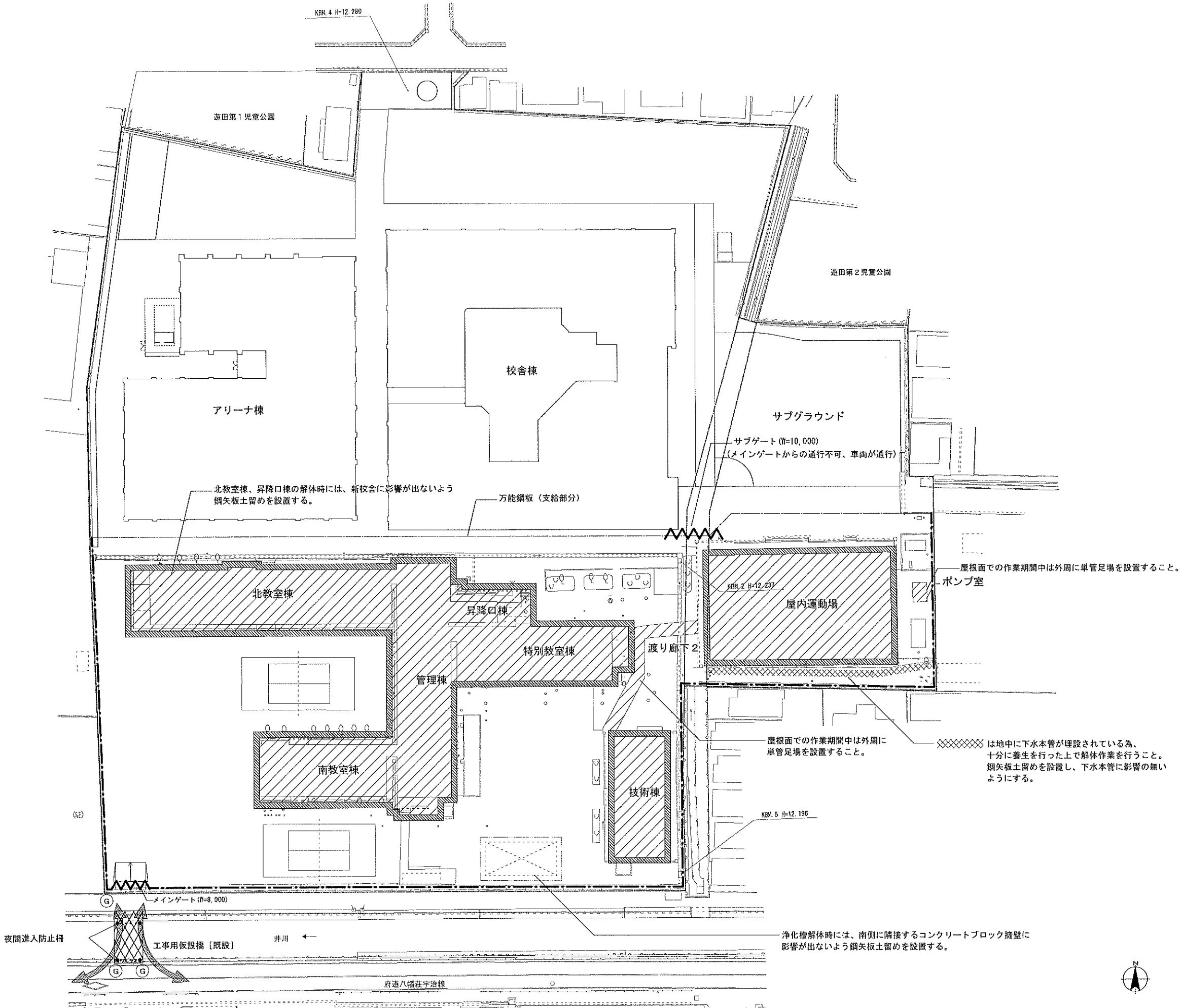
章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																				
ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	①	適用範囲 (9.1.1)	アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。 ● アスベスト含有吹付け材除去工事（外壁仕上げ塗材及び下地調整材） ● 除去工法（集じん装置付き超高压水洗工法 湿式集じん装置付きダストサイクリング工法） ○ 封じ込め工法（ ） ○ 囲い込み工法（ ） ● アスベスト含有保温材等除去工事 ● アスベスト含有成形板除去工事					ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	5	仕上げ工事 (9.1.1)	アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示による ○																																																						
	②	法令等の遵守	施工にあたっては、「大気汚染防止法（昭和43年法律97号）」「労働安全衛生法（昭和47年法律57号）」「石棉障害予防規則（平成17年厚生労働省令21号）」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）」「建築基準法（昭和25年法律201号）」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）（平成12年法律104号）」「京都府建築物の解体等に伴う石棉の飛散防止に関する緊急措置条例（平成17年京都府条例45号）」等、石棉除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び運用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。						⑥	石綿作業主任者 (9.1.2)	石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。																																																						
ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	④	石棉含有 建材の調査 (1.5.1)	事前調査 ・ 施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。 なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ・ 施工計画に先立ち、石棉障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。 事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石棉含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。 調査範囲 ※ 図示による ○ 調査事項 ※ 石棉使用部位の確認 ※ 石棉層の厚さの確認 ※ 施工範囲と工事管理区分の確認 ※ 更衣施設等の仮設計画 ※ 廃棄物等の搬出方法 アスベスト含有分析 ○ 行う（分析結果を監督職員に提出する） <table><tr><th>材 料 名</th><th>定性分析方法</th><th>定量分析方法</th></tr><tr><td></td><td>○ 〈箇所数〉</td><td>○ 〈箇所数〉</td></tr><tr><td></td><td>○ 〈箇所数〉</td><td>○ 〈箇所数〉</td></tr><tr><td></td><td>○ 〈箇所数〉</td><td>○ 〈箇所数〉</td></tr><tr><td></td><td>○ 〈箇所数〉</td><td>○ 〈箇所数〉</td></tr></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル ※JIS A 1481に基づくこと。 ● 行わない 既存の石棉含有建材の調査報告書の貸与 ● あり ○ なし					材 料 名	定性分析方法	定量分析方法		○ 〈箇所数〉	○ 〈箇所数〉		○ 〈箇所数〉	○ 〈箇所数〉		○ 〈箇所数〉	○ 〈箇所数〉		○ 〈箇所数〉	○ 〈箇所数〉	ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	7	特別管理産業 廃棄物管理責任者 (9.1.2)	特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板等の除去工事を除く。																																							
	材 料 名	定性分析方法	定量分析方法																																																														
	○ 〈箇所数〉	○ 〈箇所数〉																																																															
	○ 〈箇所数〉	○ 〈箇所数〉																																																															
	○ 〈箇所数〉	○ 〈箇所数〉																																																															
	○ 〈箇所数〉	○ 〈箇所数〉																																																															
④	アスベスト粉じん 濃度測定 (9.1.1)	アスベスト粉じん濃度測定 ● 行う <table><tr><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点(各施工箇所ごと)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>除去作業前</td><td>除去作業室内</td><td>○ 1点 ● 2点 ○ 3点 ○ 点</td><td>作業箇所</td></tr><tr><td></td><td>調査対象室外部付近</td><td>○ 1点 ● 2点 ○ 4点</td><td>建物外周部</td></tr><tr><td>除去作業中</td><td>除去作業室内</td><td>○ 1点 ● 2点 ○ 3点 ○ 点</td><td>作業箇所</td></tr><tr><td></td><td>負圧粉じん装置の 排出吹き出し口</td><td>吹出し風速1m/秒以下の位置 各 ● 1点 ○ 2点 ○ 3点</td><td></td></tr><tr><td></td><td>除去作業室外</td><td>● 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 4点</td><td>作業箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ● 4点</td><td>建物外周部</td></tr><tr><td>除去作業後</td><td>除去作業室内</td><td>○ 1点 ● 2点 ○ 点</td><td>作業箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 4点</td><td></td></tr><tr><td></td><td>調査対象室外部付近</td><td>○ 1点 ○ 2点 ● 4点</td><td>建物外周部</td></tr></table> ※周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 ○ 行わない 測定機関 ※（公社）日本作業環境測定協会による「石棉含有の有無の判定及び石棉の含有率の測定が可能な石棉含有率分析可能機関」とする。 ○ 報告書提出部数 ※ 3部 ○ 部					測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考	除去作業前	除去作業室内	○ 1点 ● 2点 ○ 3点 ○ 点	作業箇所		調査対象室外部付近	○ 1点 ● 2点 ○ 4点	建物外周部	除去作業中	除去作業室内	○ 1点 ● 2点 ○ 3点 ○ 点	作業箇所		負圧粉じん装置の 排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各 ● 1点 ○ 2点 ○ 3点			除去作業室外	● 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 4点	作業箇所			○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ● 4点	建物外周部	除去作業後	除去作業室内	○ 1点 ● 2点 ○ 点	作業箇所			○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 4点			調査対象室外部付近	○ 1点 ○ 2点 ● 4点	建物外周部	8	アスベスト含有 吹付け材の除去 (9.1.3)	施工業者 ※ 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。 ○ 「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について（一財）日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。 除去を行う範囲 ※ 図示による（下地調整剤に含有） ○ 全ての室 ○ 除去工法 ○ 改修標準9.1.3(b)(1)による ○ ○ 除去を行うアスベスト含有吹付け材の仕様 <table><tr><th>種 類</th><th>種 類</th></tr><tr><td>○吹付け石棉</td><td>○</td></tr><tr><td>○石棉含有吹付けロックウール</td><td>○</td></tr><tr><td>○石棉含有吹付けひる石</td><td>○</td></tr><tr><td>○石棉含有吹付けパライト</td><td>○</td></tr><tr><td>○</td><td>○</td></tr></table> 除去したアスベスト含有吹付材等の飛散防止 ※ 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 ※ 湿潤化 ○ セメント固化 ○ 熔融固化 除去物等の保管 ※ 他の建設副産物等と分別して保管する。 ※ 飛散防止措置を講ずる。 ※ アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。 ○ 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 ○ 都道府県知事等から設置許可を受けた熔融施設における熔融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 ※ 指定処分地（（株）京都環境保全公社 環境環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪轟冠石2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては公社の受け入れ基準等を確認する。					種 類	種 類	○吹付け石棉	○	○石棉含有吹付けロックウール	○	○石棉含有吹付けひる石	○	○石棉含有吹付けパライト	○	○	○
測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考																																																														
除去作業前	除去作業室内	○ 1点 ● 2点 ○ 3点 ○ 点	作業箇所																																																														
	調査対象室外部付近	○ 1点 ● 2点 ○ 4点	建物外周部																																																														
除去作業中	除去作業室内	○ 1点 ● 2点 ○ 3点 ○ 点	作業箇所																																																														
	負圧粉じん装置の 排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各 ● 1点 ○ 2点 ○ 3点																																																															
	除去作業室外	● 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 4点	作業箇所																																																														
		○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ● 4点	建物外周部																																																														
除去作業後	除去作業室内	○ 1点 ● 2点 ○ 点	作業箇所																																																														
		○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 4点																																																															
	調査対象室外部付近	○ 1点 ○ 2点 ● 4点	建物外周部																																																														
種 類	種 類																																																																
○吹付け石棉	○																																																																
○石棉含有吹付けロックウール	○																																																																
○石棉含有吹付けひる石	○																																																																
○石棉含有吹付けパライト	○																																																																
○	○																																																																
ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	⑨	アスベスト含有 保温材等の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 ※ 図示による ○ 除去の方法 ※ 原形のまま手ばらし ○ 手ばらし以外（この場合は改修標準9.1.3(a)による隔離とする） ● 集じん装置付き超高压水洗工法 除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様 <table><tr><th>種 類</th><th>種 類</th></tr><tr><td>● 石棉保温材</td><td>○ 石棉含有耐火被覆材</td></tr><tr><td>○ 石棉含有けいそう土保温材</td><td>○ 石棉含有けい酸カルシウム板第二種</td></tr><tr><td>○ 石棉含有パライト保温材</td><td>○ 屋根用折板断熱材</td></tr><tr><td>○ 石棉含有けい酸カルシウム保温材</td><td>● 煙突用断熱材</td></tr><tr><td>○ 石棉含有水練り保温材</td><td>○ 塩基性炭酸マグネシウム保温材</td></tr></table> 除去物の処理方法 ※ 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 ○ セメント固化 ○ 熔融固化 除去物等の保管 ※ 他の建設副産物等と分別して保管する。 ※ 飛散防止措置を講ずる。 ※ アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。 ○ 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 ○ 都道府県知事等から設置許可を受けた熔融施設における熔融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 ※ 指定処分地（（株）京都環境保全公社 環境環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪轟冠石2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては公社の受け入れ基準等を確認する。					種 類	種 類	● 石棉保温材	○ 石棉含有耐火被覆材	○ 石棉含有けいそう土保温材	○ 石棉含有けい酸カルシウム板第二種	○ 石棉含有パライト保温材	○ 屋根用折板断熱材	○ 石棉含有けい酸カルシウム保温材	● 煙突用断熱材	○ 石棉含有水練り保温材	○ 塩基性炭酸マグネシウム保温材	ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	⑩	アスベスト含有 成形板等の除去 (9.1.5)	除去を行う範囲 ※ 図示による（ボード類、下地調整材に含有） ○ 除去の方法 ※ 湿潤化したのちに手ばらし ○ 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕 ○ 下地調整材除去 ○ 改修標準9.1.3(b)(1)による ● 主工法：集じん装置付き超高压水洗工法 ● 副工法：湿式集じん装置付きダストサイクリング工法 除去を行うアスベスト含有成形板の仕様 <table><tr><th>種 類</th><th>厚 (mm)</th><th>種 類</th><th>厚 (mm)</th></tr><tr><td>○ 石棉含有スレート</td><td></td><td>● 石棉含有ビニル床タイル</td><td></td></tr><tr><td>○ 石棉含有けい酸カルシウム板</td><td></td><td>○ 石棉セメントけい酸板</td><td></td></tr><tr><td>○ 石棉含有押出成形セメント板</td><td></td><td>○ 化粧石棉ボードけい酸板</td><td></td></tr><tr><td>● 石棉含有岩綿吸音天井板</td><td></td><td>● 7kg/㎡吹付下地調整材</td><td></td></tr><tr><td>● 石棉含有石膏ボード</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table> 除去物等の保管 ※ 他の建設副産物等と分別して保管する。 ※ 飛散防止措置を講ずる。 ※ アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。 アスベスト含有石膏ボード（管理型最終処分場における埋立処分）を除くアスベスト含有成形板 ○ 石棉含有産業廃棄物として、安定型最終処分場における埋立処分 ○ 都道府県知事等から設置許可を受けた熔融施設における熔融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 ※ 指定処分地（（財）宇治廃棄物処理公社 京都府宇治市池の尾仙郷山6-2 TEL 0774-21-2807） なお処分に関しては公社の受け入れ基準等を確認する。					種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)	○ 石棉含有スレート		● 石棉含有ビニル床タイル		○ 石棉含有けい酸カルシウム板		○ 石棉セメントけい酸板		○ 石棉含有押出成形セメント板		○ 化粧石棉ボードけい酸板		● 石棉含有岩綿吸音天井板		● 7kg/㎡吹付下地調整材		● 石棉含有石膏ボード		○															
	種 類	種 類																																																															
● 石棉保温材	○ 石棉含有耐火被覆材																																																																
○ 石棉含有けいそう土保温材	○ 石棉含有けい酸カルシウム板第二種																																																																
○ 石棉含有パライト保温材	○ 屋根用折板断熱材																																																																
○ 石棉含有けい酸カルシウム保温材	● 煙突用断熱材																																																																
○ 石棉含有水練り保温材	○ 塩基性炭酸マグネシウム保温材																																																																
種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)																																																														
○ 石棉含有スレート		● 石棉含有ビニル床タイル																																																															
○ 石棉含有けい酸カルシウム板		○ 石棉セメントけい酸板																																																															
○ 石棉含有押出成形セメント板		○ 化粧石棉ボードけい酸板																																																															
● 石棉含有岩綿吸音天井板		● 7kg/㎡吹付下地調整材																																																															
● 石棉含有石膏ボード		○																																																															

工事場所：宇治市伊勢田町遊田7番地の1



株式会社 類設計室 一級建築士事務所	本 社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田朝日ビル4F 大阪事務所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	06・6305・2222 03・5713・1010 06・6305・6666	設計 一級建築士 大臣登録第311846号 齊藤 直	構造設計一級建築士 第5621号 一級建築士 大臣登録第235240号 廣重 圭一	設備設計一級建築士 第4707号 一級建築士 大臣登録第358739号 鈴木 邦彦	担 当	作 成	工事名称 西小倉中学校校舎ほか解体工事 図面名称 付近見取図	縮尺 A1 : 1/1250 A3 : 1/2500	図面NO. A-003
							第 1 回			
							第 2 回			
							第 3 回			



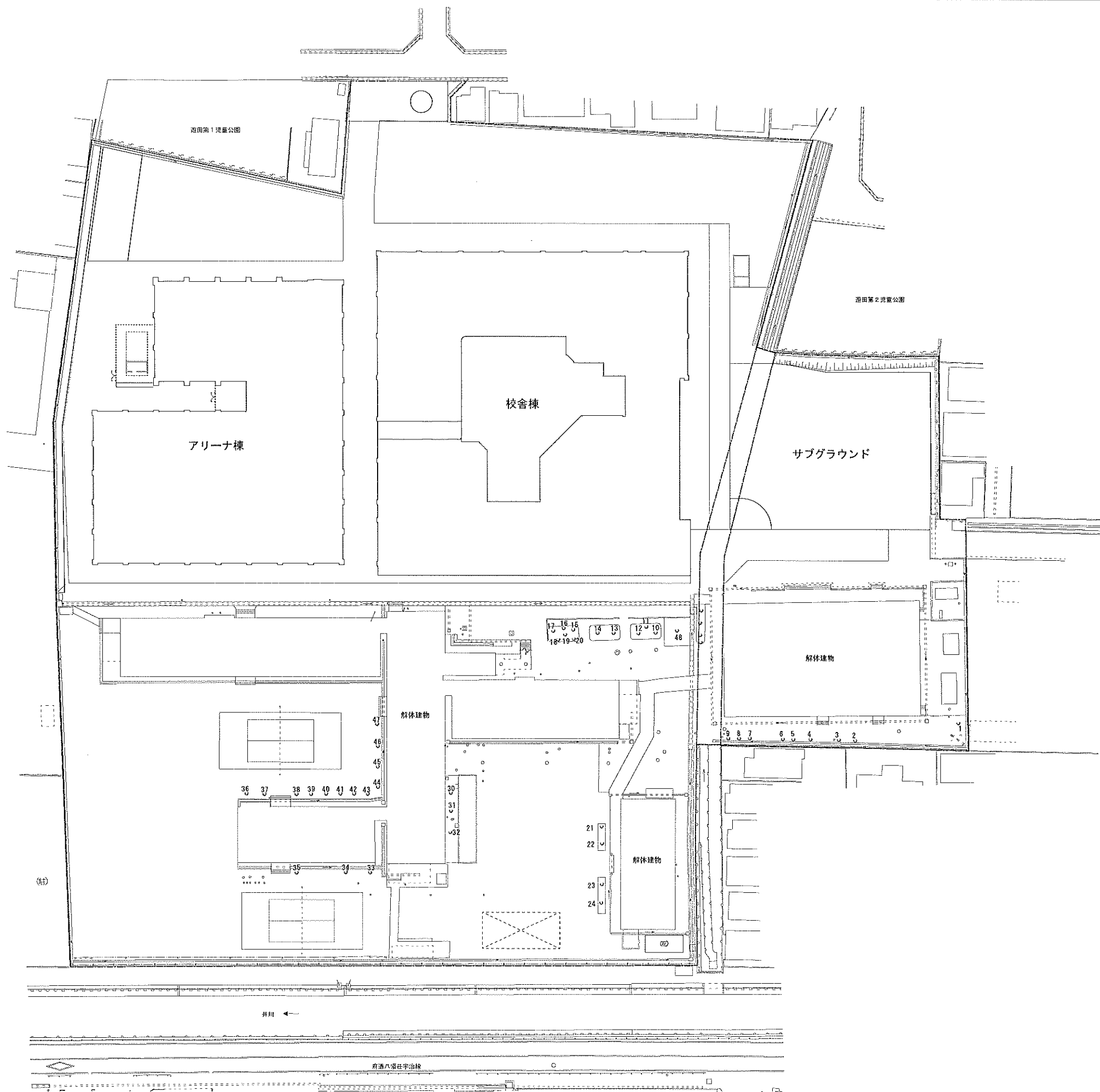


凡例	
	解体建物
	枠組足場：H900・防音シート
	仮囲い：万能鋼板（H=3,000）
	仮囲い：万能鋼板（H=3,000） 支給（現地に設置済み）
	パネルゲート
	交通誘導員（常駐）
	工事車両ルート
	鋼矢板土留め
※特記仕様	
・本仮設計画は基本方針を示したもので、これを基本として受注者において、構造及び施工方法を十分検討の上、関係法令に従い安全堅固に設置すること。	
・外郭足場に設置する防音パネル類は、建物より1m以上高く設置すること。	
・本工事関係車両（通勤車両含む）は、周辺道路に駐車待機させないものとする。	
・上下水道局及び道路管理者との必要な協議、申請は請負者の責において行うこと。	
・工事用出入口については、交通誘導員を常駐させること。（常駐3名）	
・工事車両の出入りに際して、前面道路を汚さないように対処するとともに、敷地出入り及び工事敷地内は最徐行にて走行すること。	
・工事使用範囲（歩道（乗入れ部）を含む）及び工事用車両進入路内にある、管、舗装、側溝、会所、マンホール等について損傷なきよう十分養生等の措置を講じること。	
万一損傷させた場合は、請負者の責任により、復旧すること。	
・車両進入経路の選定にあたっては、本敷地に至る道路状況を十分に調査のうえ、所轄警察署、道路管理者と協議を行うこと。	
・敷地の周辺に対する、防音及び粉塵の飛散等に配慮した施工計画とすること。	
・土の掘削の際に土以外のガラ等が混在していた場合、ふるい作業等を行い、分別して処分すること。	



※特記事項

- ・地中、視認できない箇所、及び隠蔽部分は全て参考とする。
- ・埋設物等の撤去後は、周辺の土を使い周囲レベルと緩やかに地均しを行い、整地すること。
- ・会所、樹、側溝等の地中埋設物は、構造物下の捨てコンクリート、砕石まで全て撤去とする。
- ・最終樹以降の水路への既存放流管は別途工事とする。

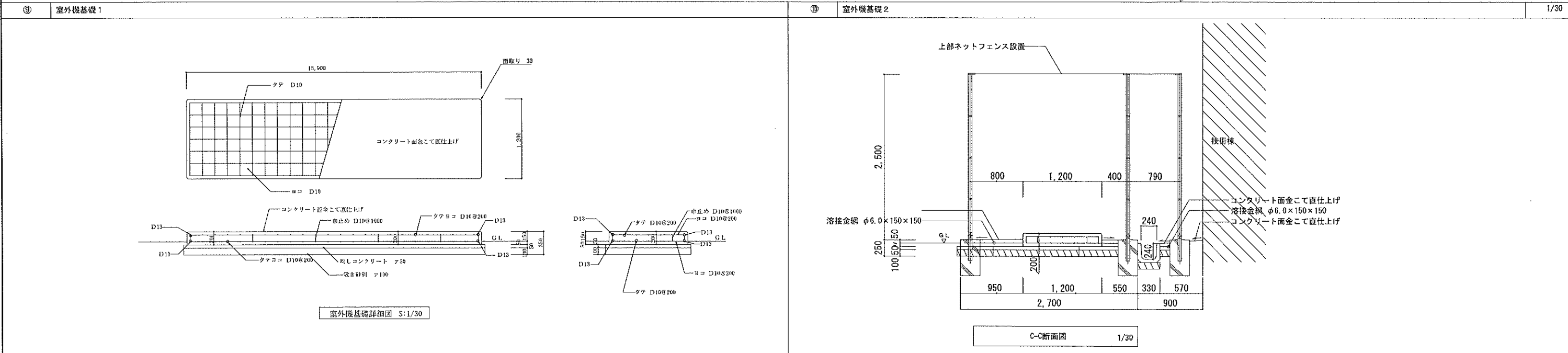
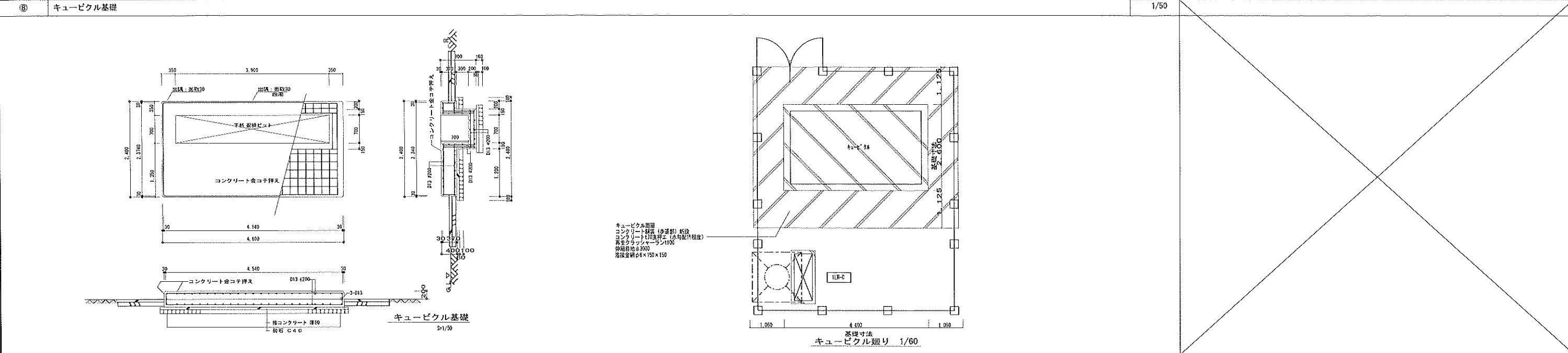


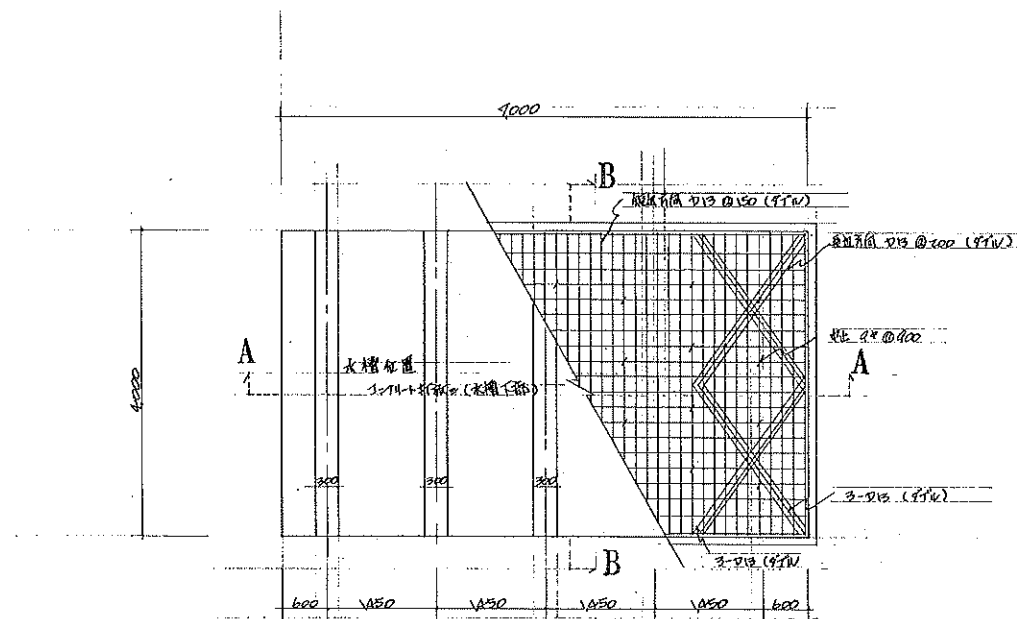
樹木 番号	樹木名	樹種	幹廻り m	樹木高 m	枝張り m	備考
1	ギンモクセイ	b 常緑樹 広葉樹	0.45	2.5	2.0	
2	不明 (伐採済)	-	-	-	-	伐根のみ
3	不明 (伐採済)	-	-	-	-	伐根のみ
4	不明 (伐採済)	-	-	-	-	伐根のみ
5	不明 (伐採済)	-	-	-	-	伐根のみ
6	不明 (伐採済)	-	-	-	-	伐根のみ
7	イチヨウ	c 落葉樹 針葉樹	-	1.2	0.8	
8	イチヨウ	c 落葉樹 針葉樹	-	0.7	0.5	
9	イチヨウ	c 落葉樹 針葉樹	-	1.5	1.0	
10	イヌツゲ	c 常緑樹 広葉樹	-	1.7	0.8	
11	イヌツゲ	c 常緑樹 広葉樹	-	0.8	0.5	
12	イヌツゲ	c 常緑樹 広葉樹	-	0.5	0.8	
13	クロマツ	a 常緑樹 針葉樹	0.74	5.8	1.8	
14	クロマツ	a 常緑樹 針葉樹	0.64	5.0	2.4	
15	オウゴンコノテ	b 常緑樹 針葉樹	0.30	1.7	1.6	
16	クスノキ	a 常緑樹 広葉樹	1.20	8.5	7.5	
17	オウゴンコノテ	b 常緑樹 針葉樹	0.30	1.8	1.6	
18	オウゴンコノテ	b 常緑樹 針葉樹	0.30	1.6	1.6	
19	オウゴンコノテ	b 常緑樹 針葉樹	0.30	1.0	1.0	
20	オウゴンコノテ	b 常緑樹 針葉樹	0.30	2.3	1.6	
21	イヌツゲ	c 常緑樹 広葉樹	-	0.8	1.5	
22	イヌツゲ	c 常緑樹 広葉樹	-	0.8	1.5	
23	イヌツゲ	c 常緑樹 広葉樹	-	0.8	1.5	
24	イヌツゲ	c 常緑樹 広葉樹	-	0.8	1.5	

30	カイヅカイブキ	b 常緑樹 広葉樹	0.73	6.0	2.0	
31	カイヅカイブキ	b 常緑樹 広葉樹	0.68	5.0	2.0	
32	カイヅカイブキ	b 常緑樹 広葉樹	0.77	5.0	2.0	
33	モミジバフウ	a 落葉樹 広葉樹	0.84	7.5	5.5	
34	モミジバフウ	a 落葉樹 広葉樹	0.94	7.5	5.0	
35	モミジバフウ	a 落葉樹 広葉樹	1.05	8.0	5.5	
36	ユズリハ	b 常緑樹 広葉樹	0.39	2.5	5.0	
37	ユズリハ	b 常緑樹 広葉樹	0.39	2.0	2.5	
38	ユズリハ	b 常緑樹 広葉樹	0.39	2.0	5.5	
39	ユズリハ	b 常緑樹 広葉樹	0.39	2.0	5.0	
40	ユズリハ	b 常緑樹 広葉樹	0.39	2.0	5.0	
41	ユズリハ	b 常緑樹 広葉樹	0.39	2.0	4.0	
42	ユズリハ	b 常緑樹 広葉樹	0.39	1.7	5.0	
43	ユズリハ	b 常緑樹 広葉樹	0.39	1.4	1.2	
44	ユズリハ	b 常緑樹 広葉樹	0.39	2.4	1.0	
45	ユズリハ	b 常緑樹 広葉樹	0.39	2.4	1.0	
46	ユズリハ	b 常緑樹 広葉樹	0.39	2.4	1.0	
47	ユズリハ	b 常緑樹 広葉樹	0.39	2.4	1.0	
48	不明 (伐採済)	-	-	-	-	伐根のみ

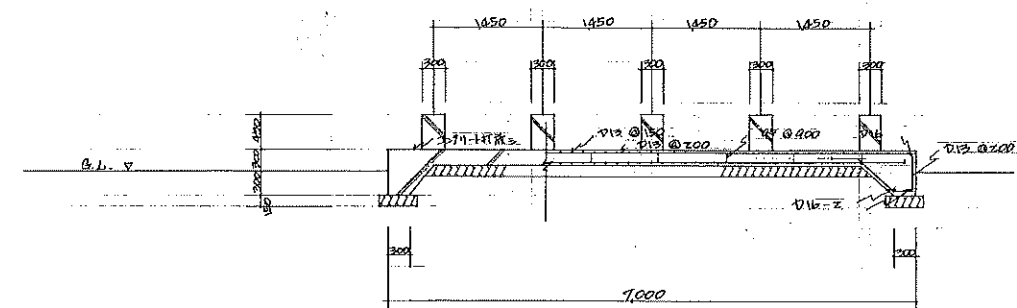
※特記事項
・樹木撤去は伐根も行ふこと。
・撤去に際し周辺の既存壁等の工作物に影響が及ばないよう
十分注意して施工すること。



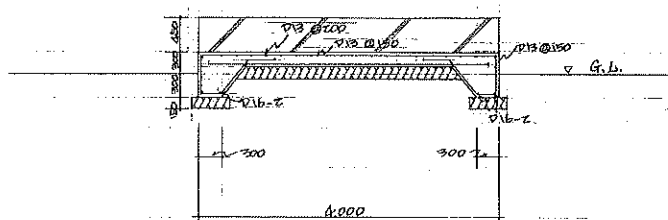




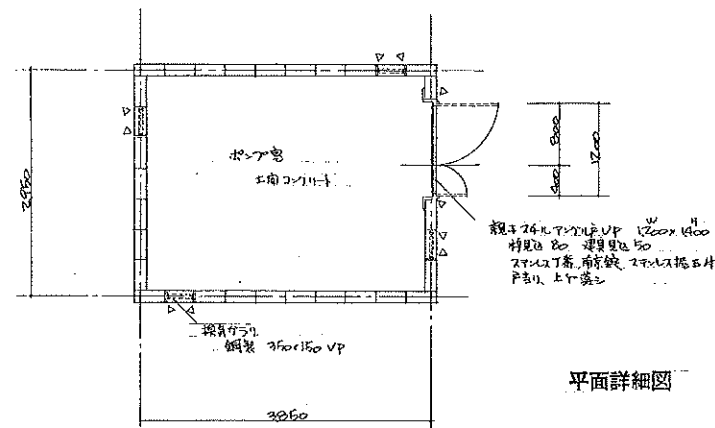
水槽・ポンプ室 平面詳細図 S=1:50



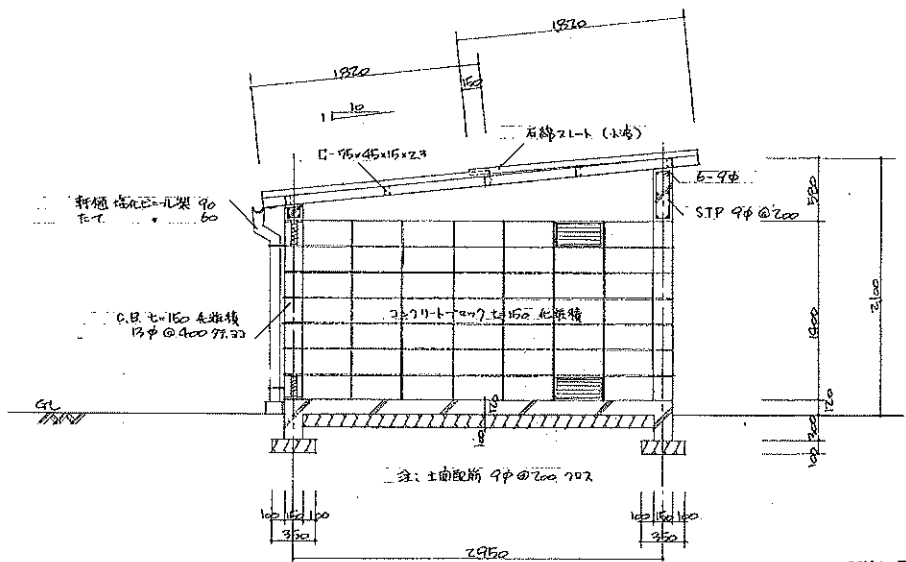
水槽・ポンプ室 A-A 断面詳細図 S=1:50



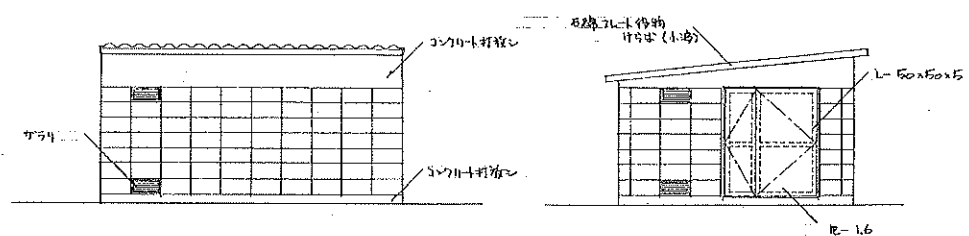
水槽・ポンプ室 B-B 断面詳細図 S=1:50



平面詳細図

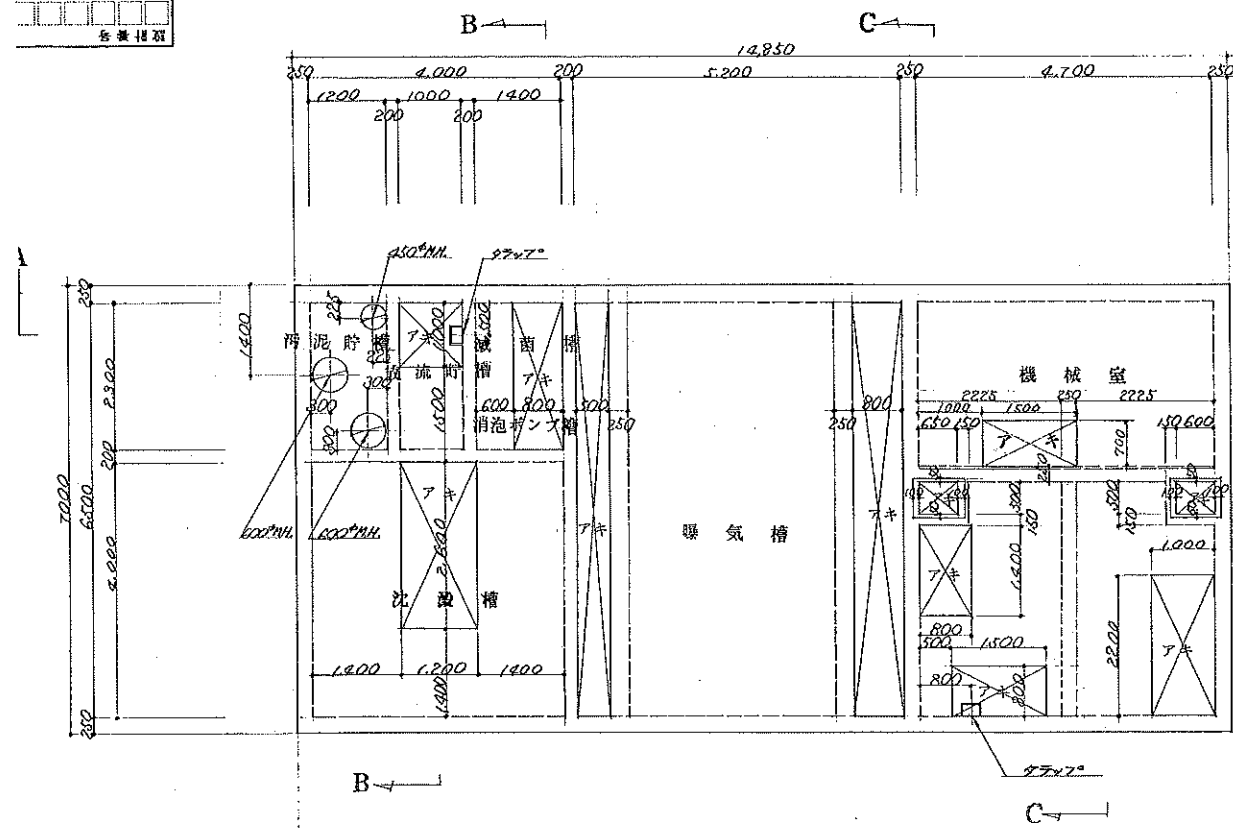


断面詳細図

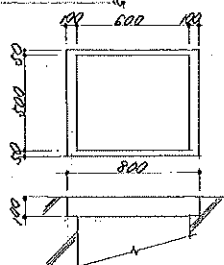


立面図

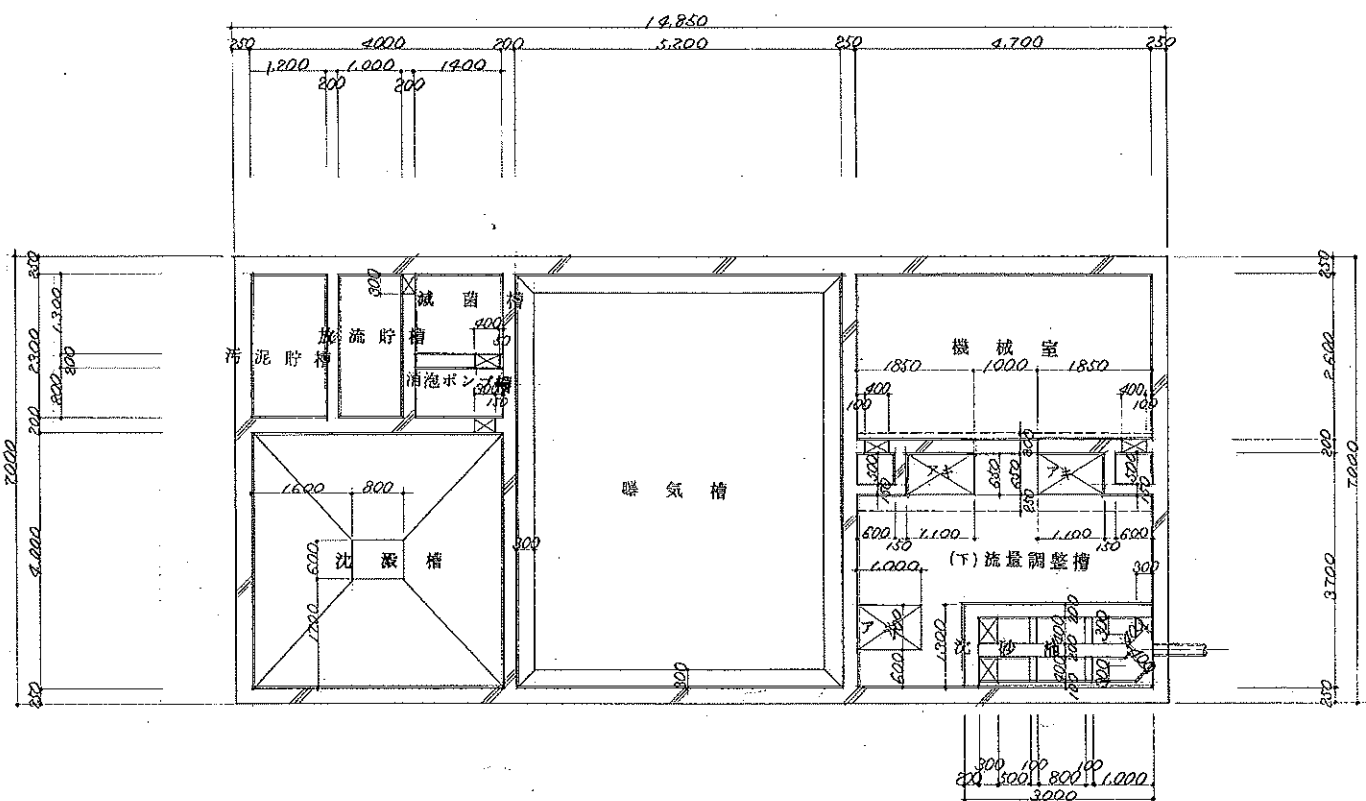
立面図



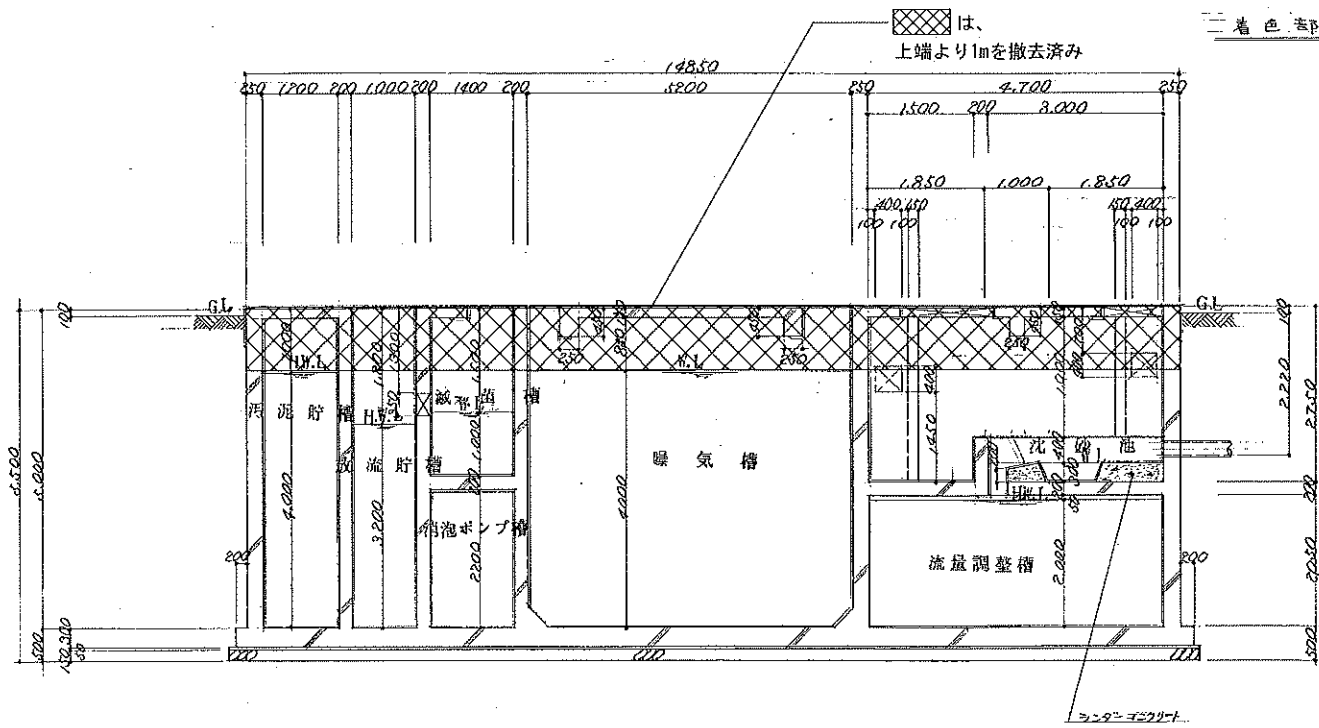
床版平面図 S=1:60



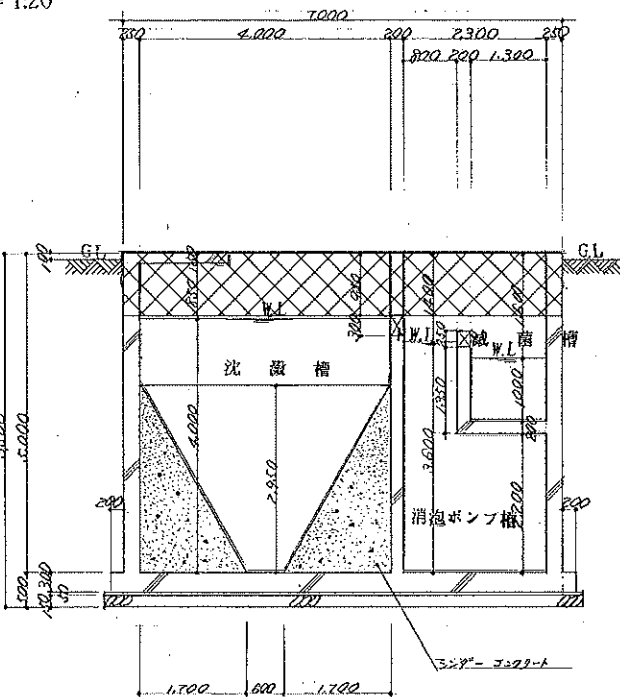
着色部詳細図 S=1:20



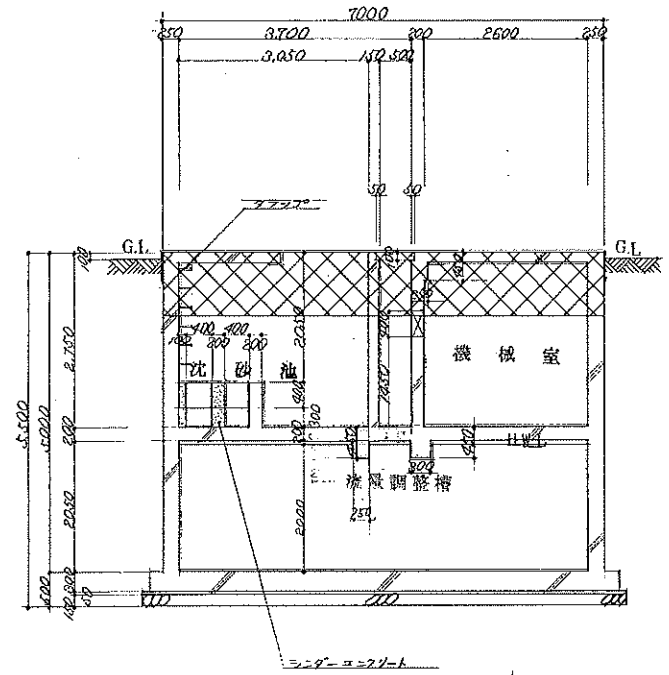
平面図 S=1:60



A-A 断面図 S=1:60



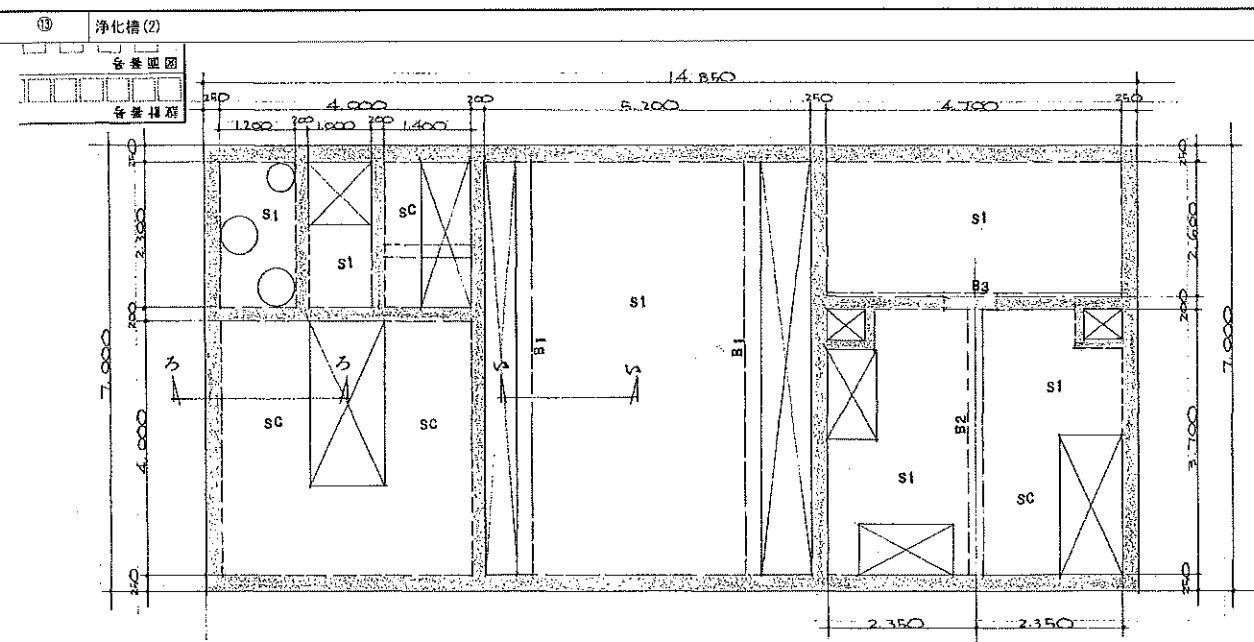
B-B 断面図 S=1:60



C-C 断面図 S=1:60

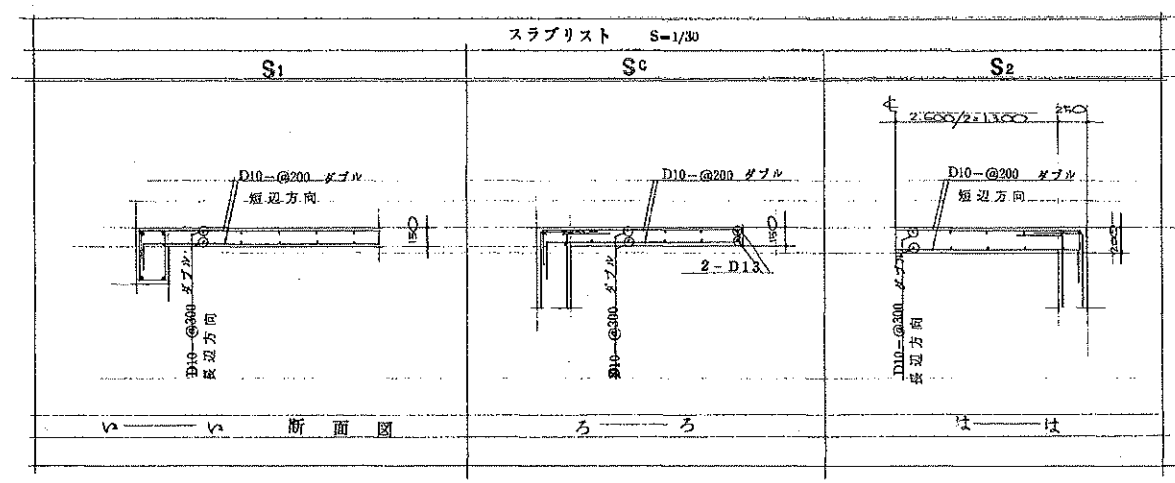
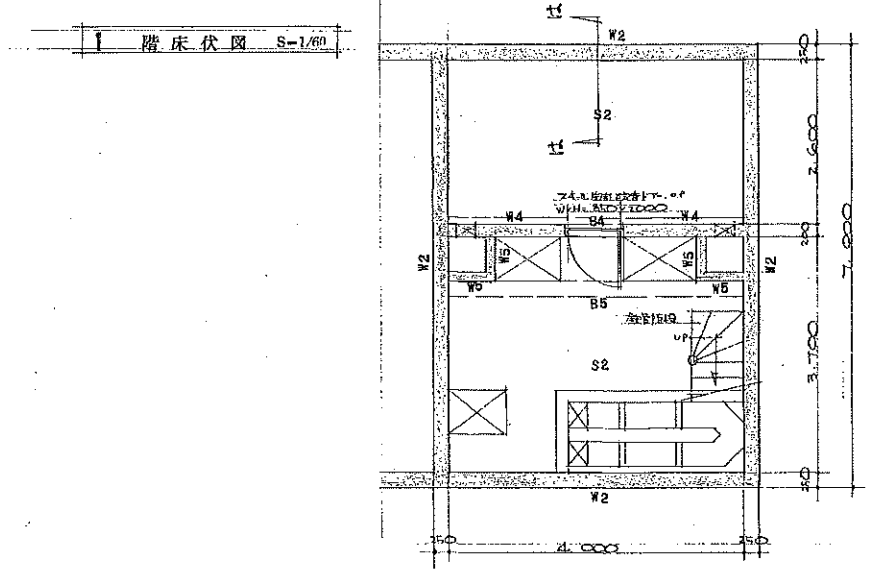
処理槽仕上表	
床版	防水モルタル工①20mm
壁面	防水モルタル工①20mm
天井	防水モルタル工①20mm
床面	コンクリート打設
機械室内部床板、壁、底版仕様表	
床板	防水モルタル工①20mm

※アスベストの含有建材撤去済

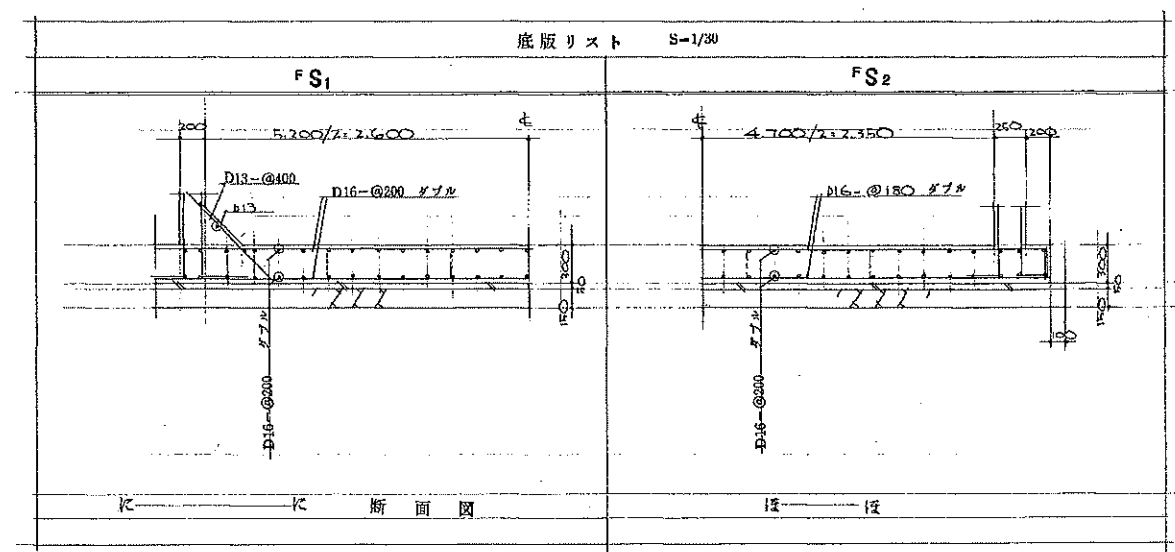
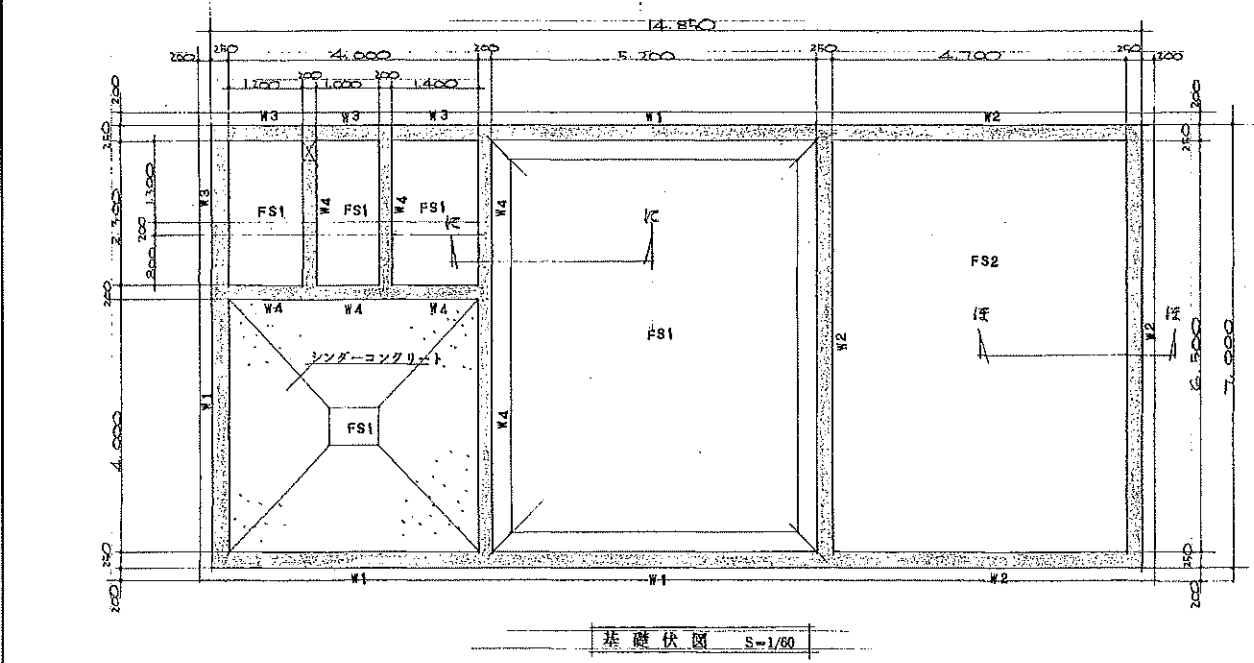


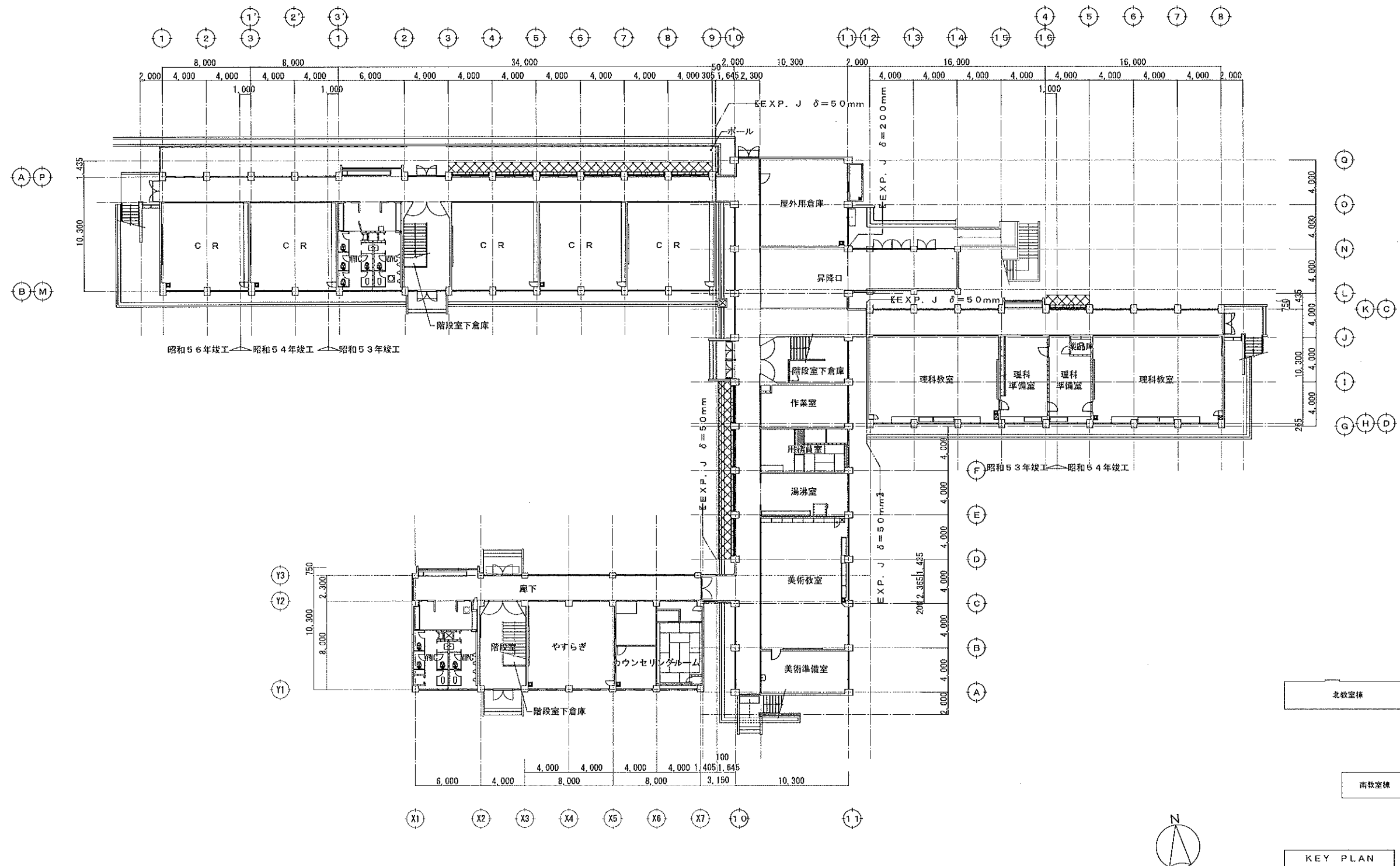
梁リスト S-1/30			
B1,3,5	B2	B4	
全断面	全断面	END	CEN
上端筋	2-B22	2-B16	2-B22
下端筋	2-B22	2-B16	2-B22
250	250	300	300
S.T.P. 9φ-@200	S.T.P. 9φ-@200	S.T.P. 9φ-@200	

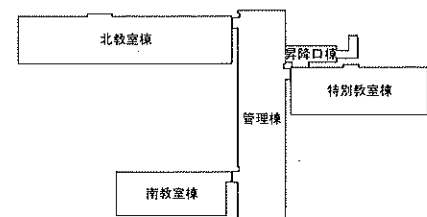
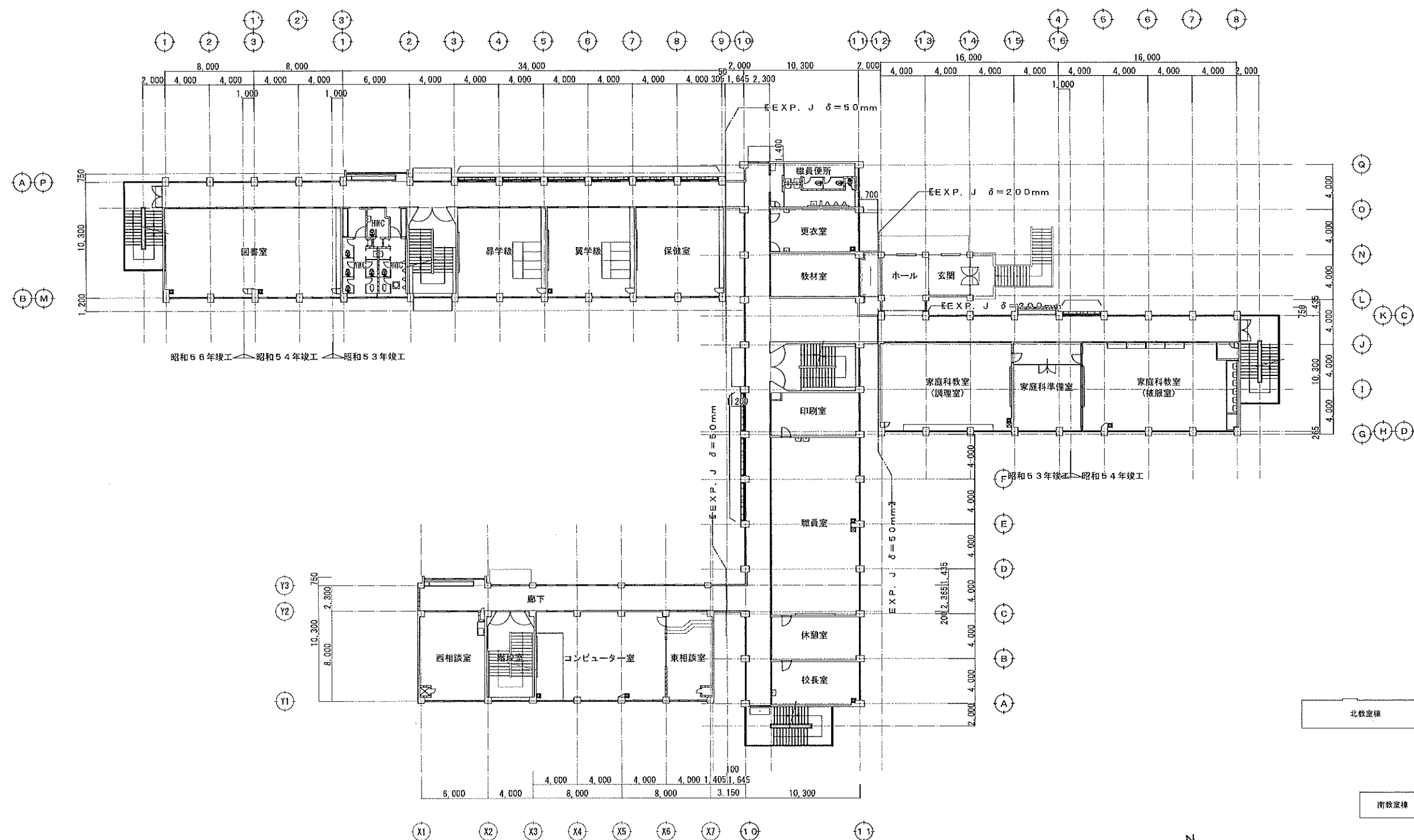
壁リスト S-1/30				
W1	W2	W3	W4	W5
t=250	t=250	t=250	t=200	t=150
上端筋	D15-@150 ダブル	D16-@200 ダブル	D15-@200 ダブル	D13-@200 ダブル
下端筋	D16-@200 ダブル	D16-@200 ダブル	D15-@250 ダブル	D13-@300 ダブル
短辺方向	9φ-@1000	9φ-@900	9φ-@1000	9φ-@900



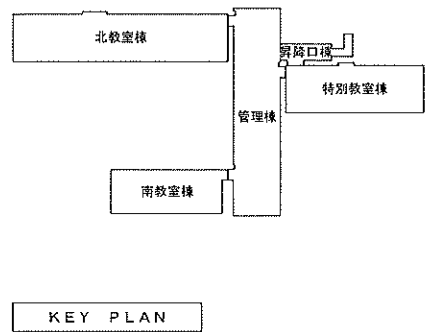
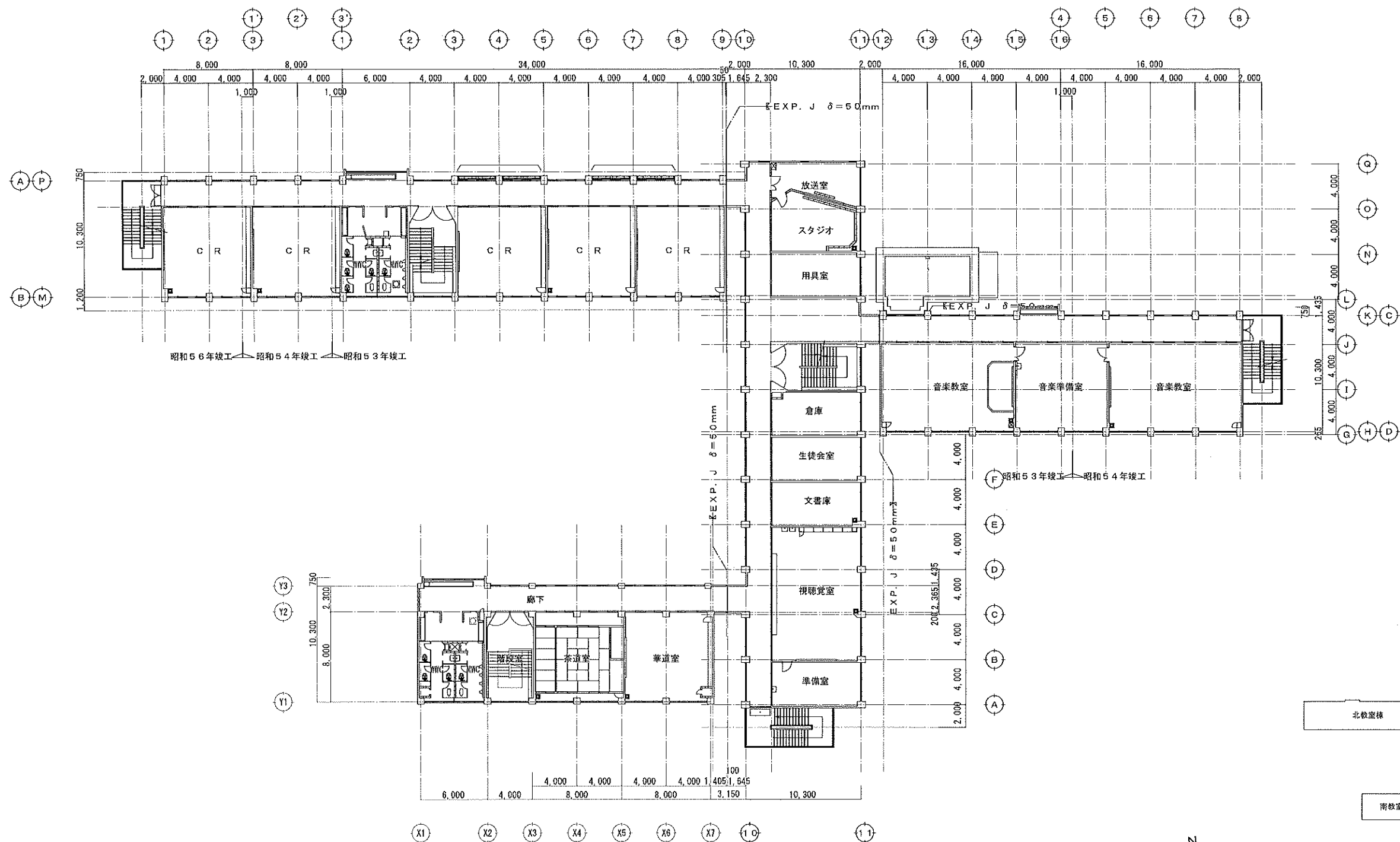
使用材料
鉄筋コンクリート 強度Fc=21.0 N/mm ²
鉄材: S.S41及S.S.C41
粗粒鉄筋: SD30採用
細粒鉄筋: SR34採用
設計者
有限会社 西小倉建設株式会社
代表取締役 西小倉 隆夫
設計者 西小倉 隆夫
監理者 西小倉 隆夫

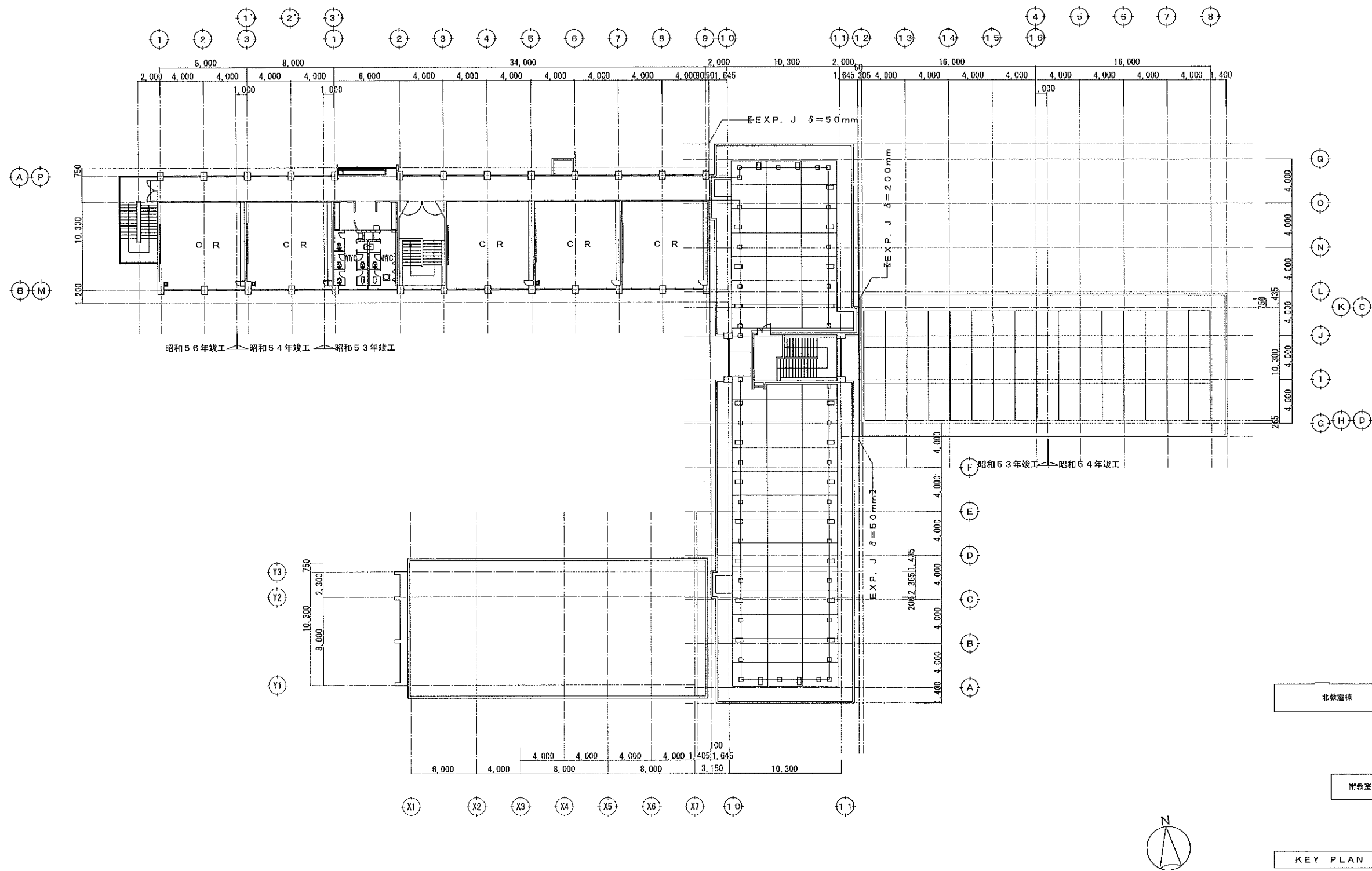


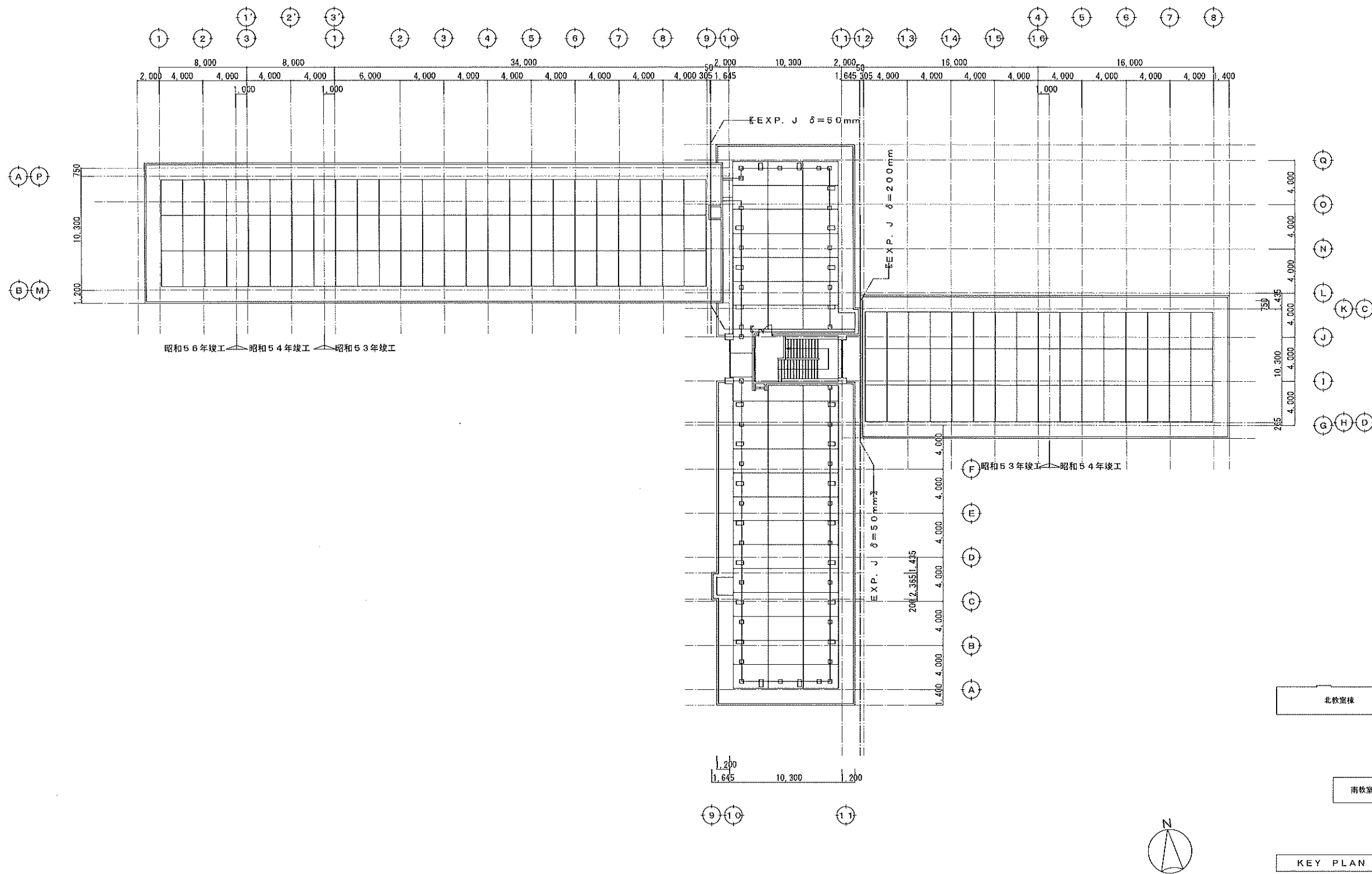


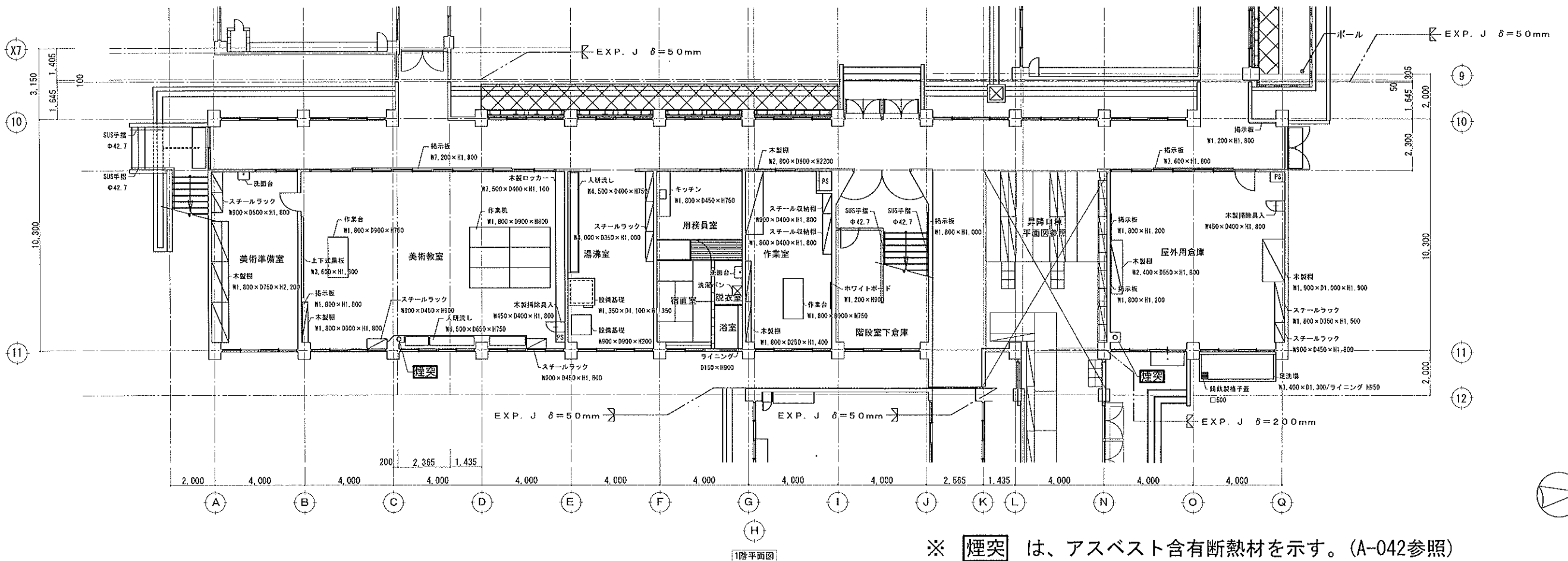
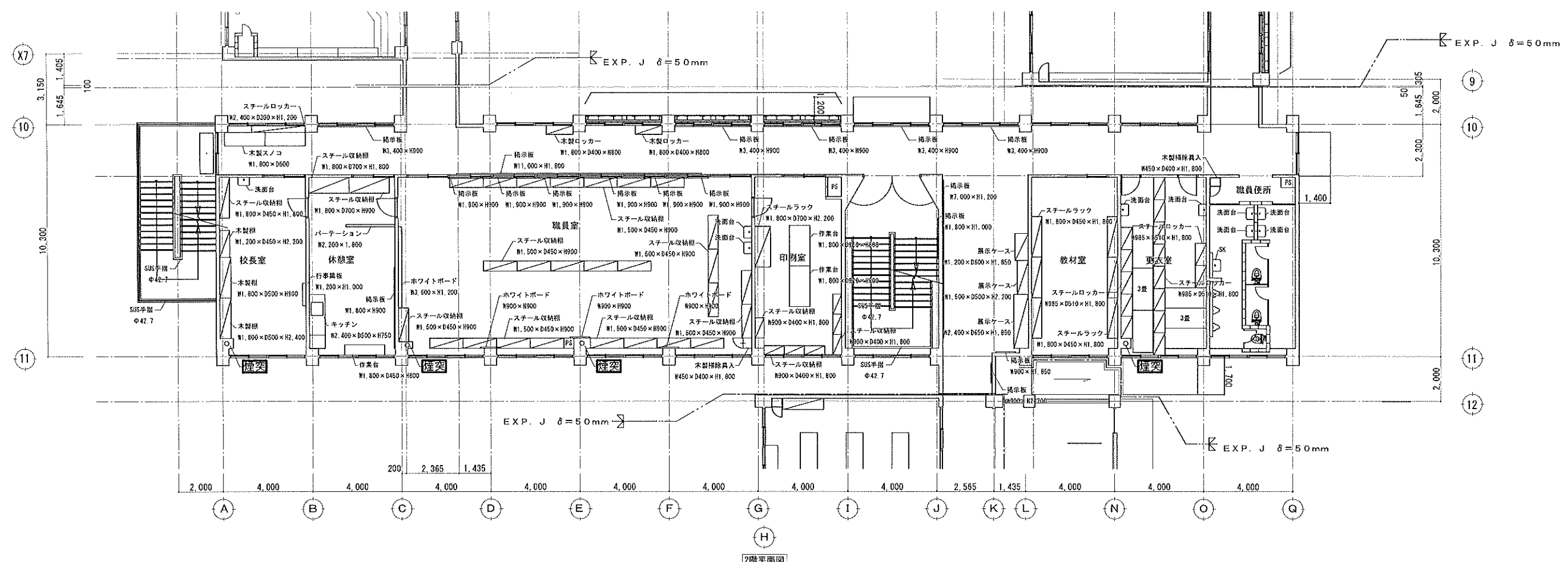


KEY PLAN



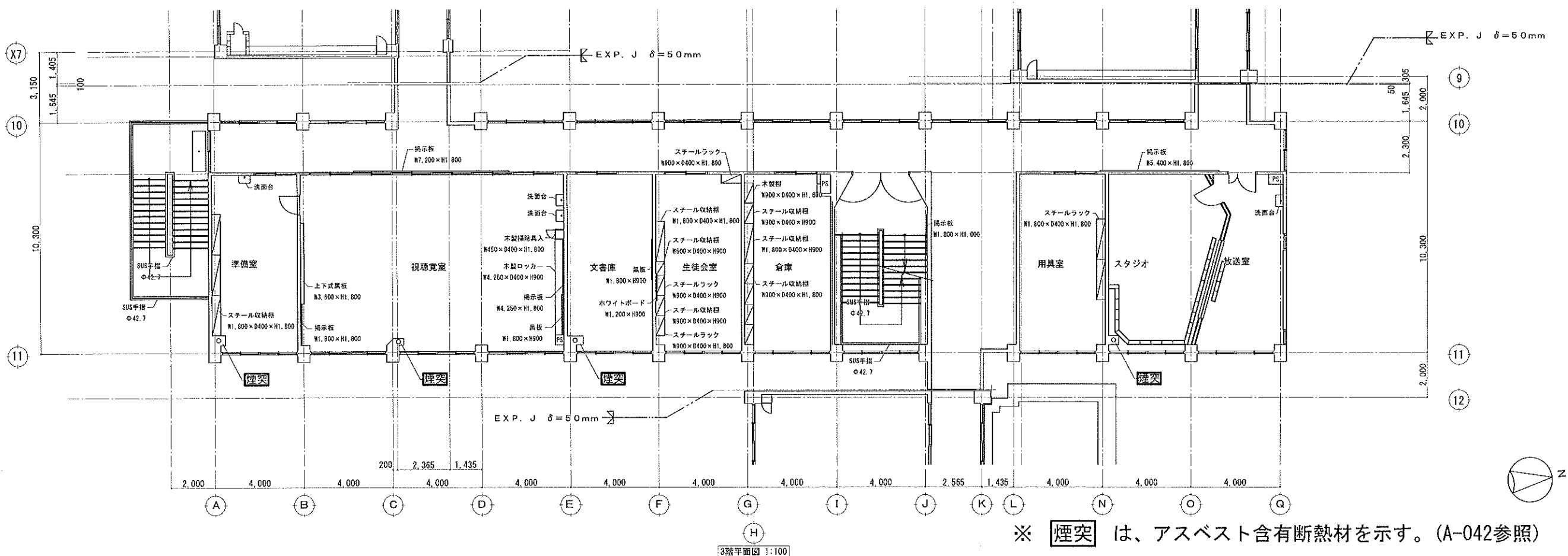
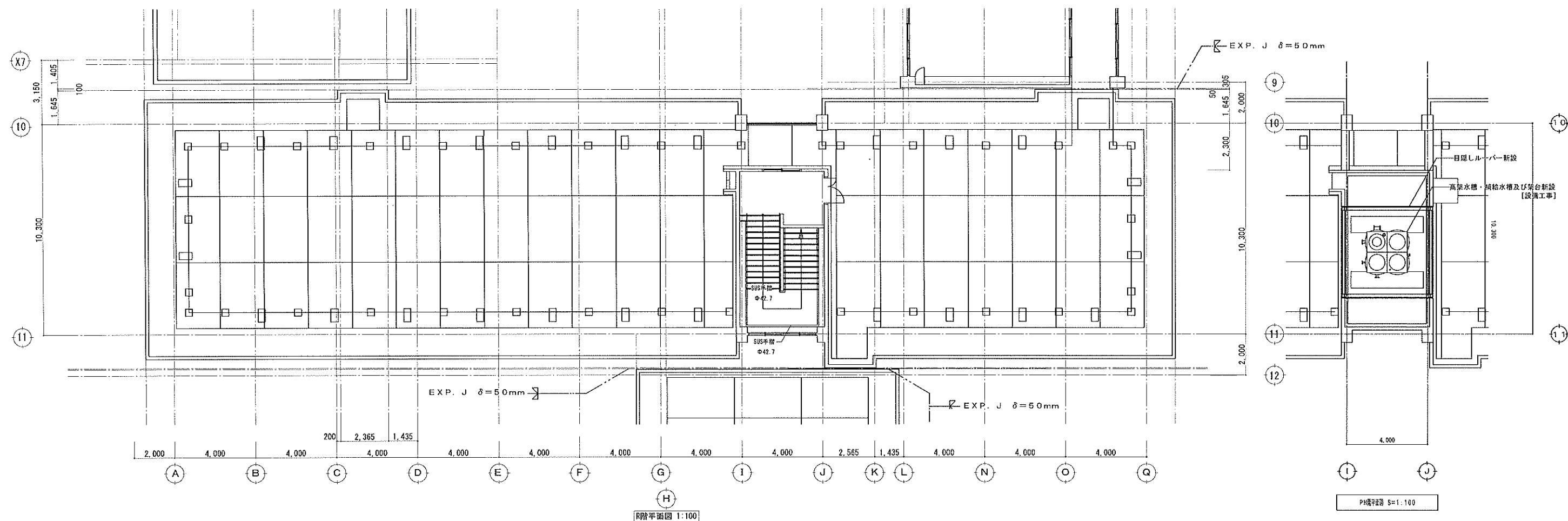




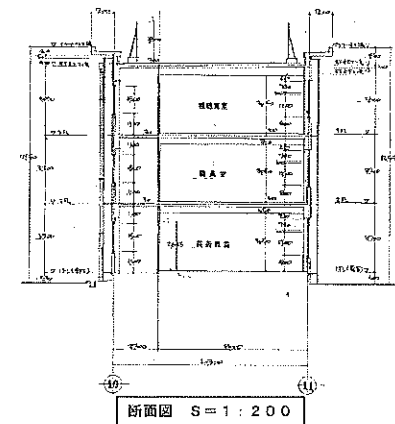
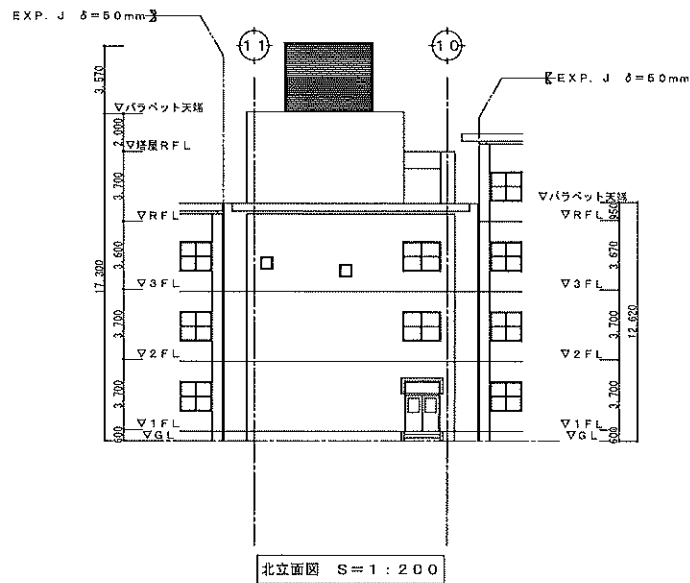
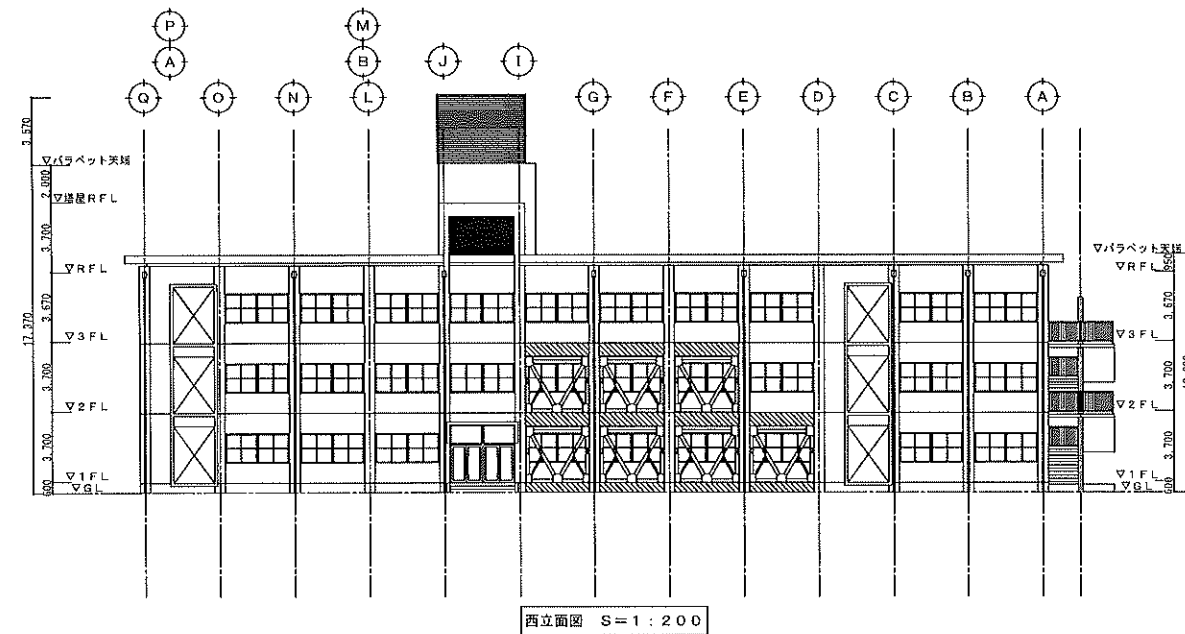
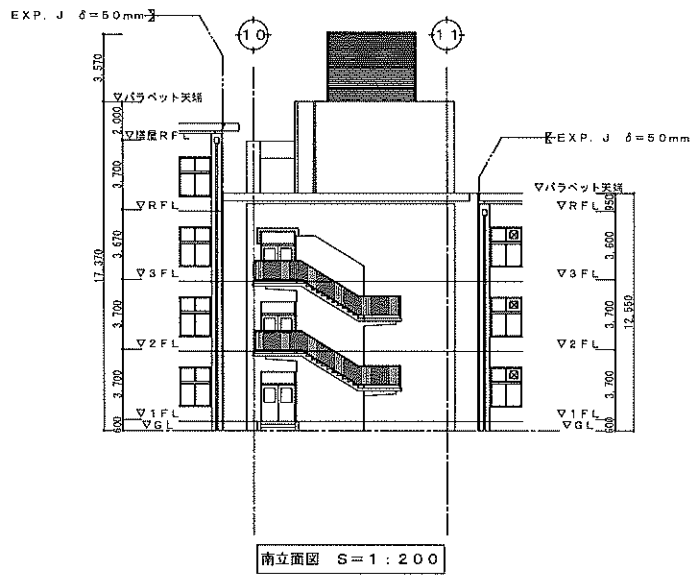
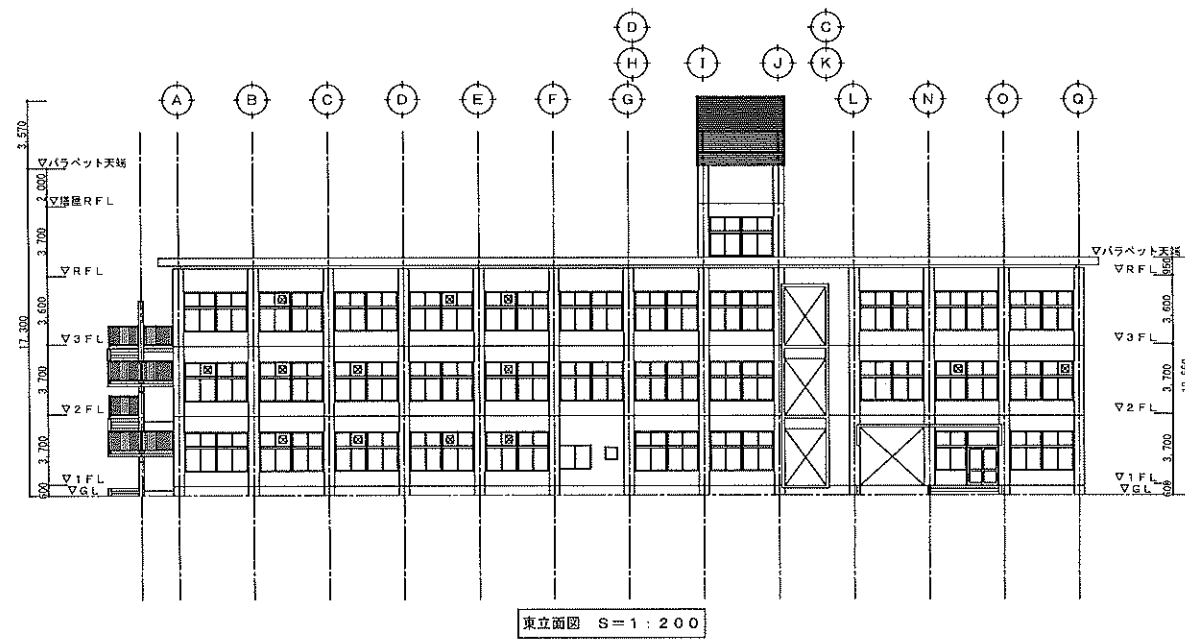


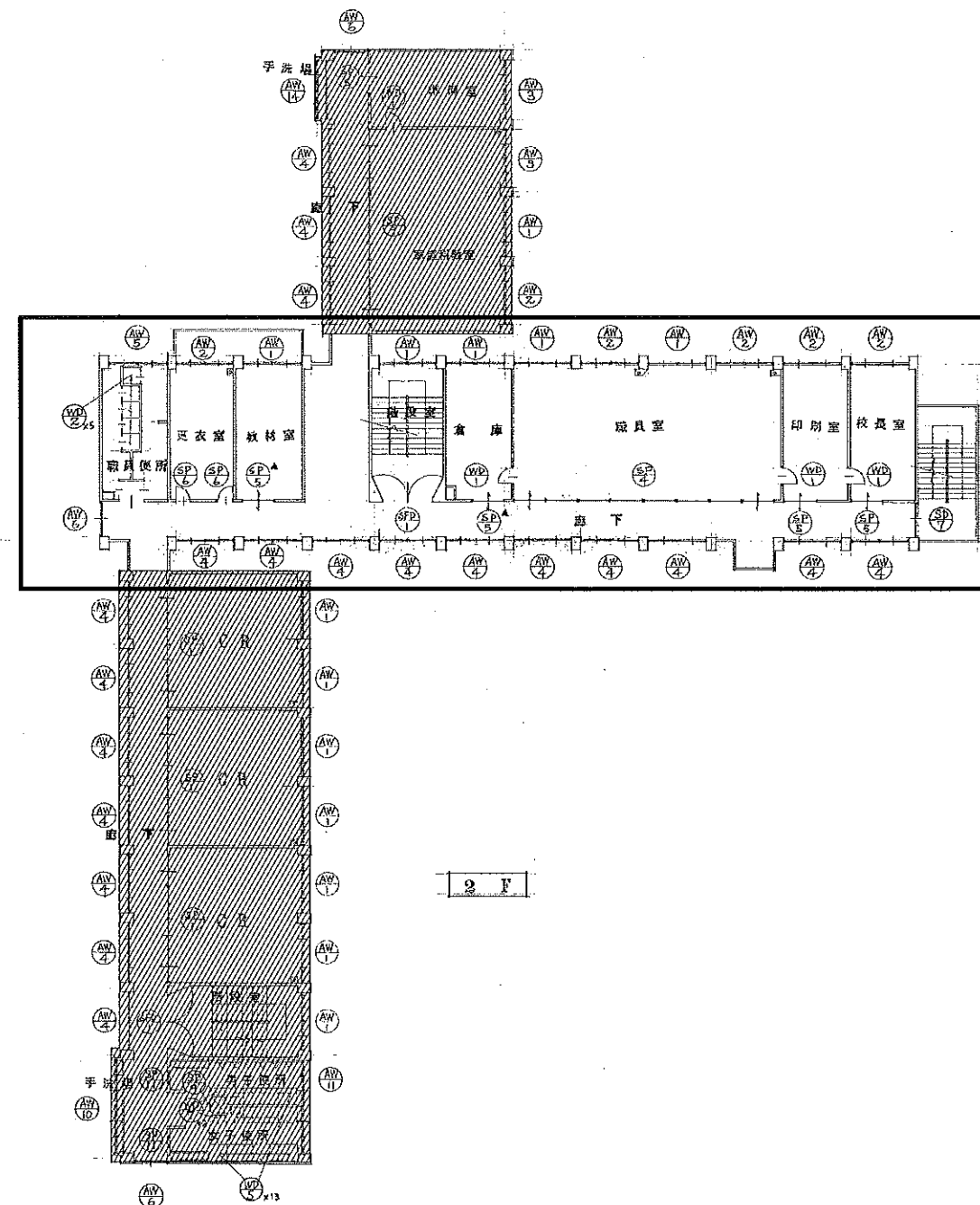
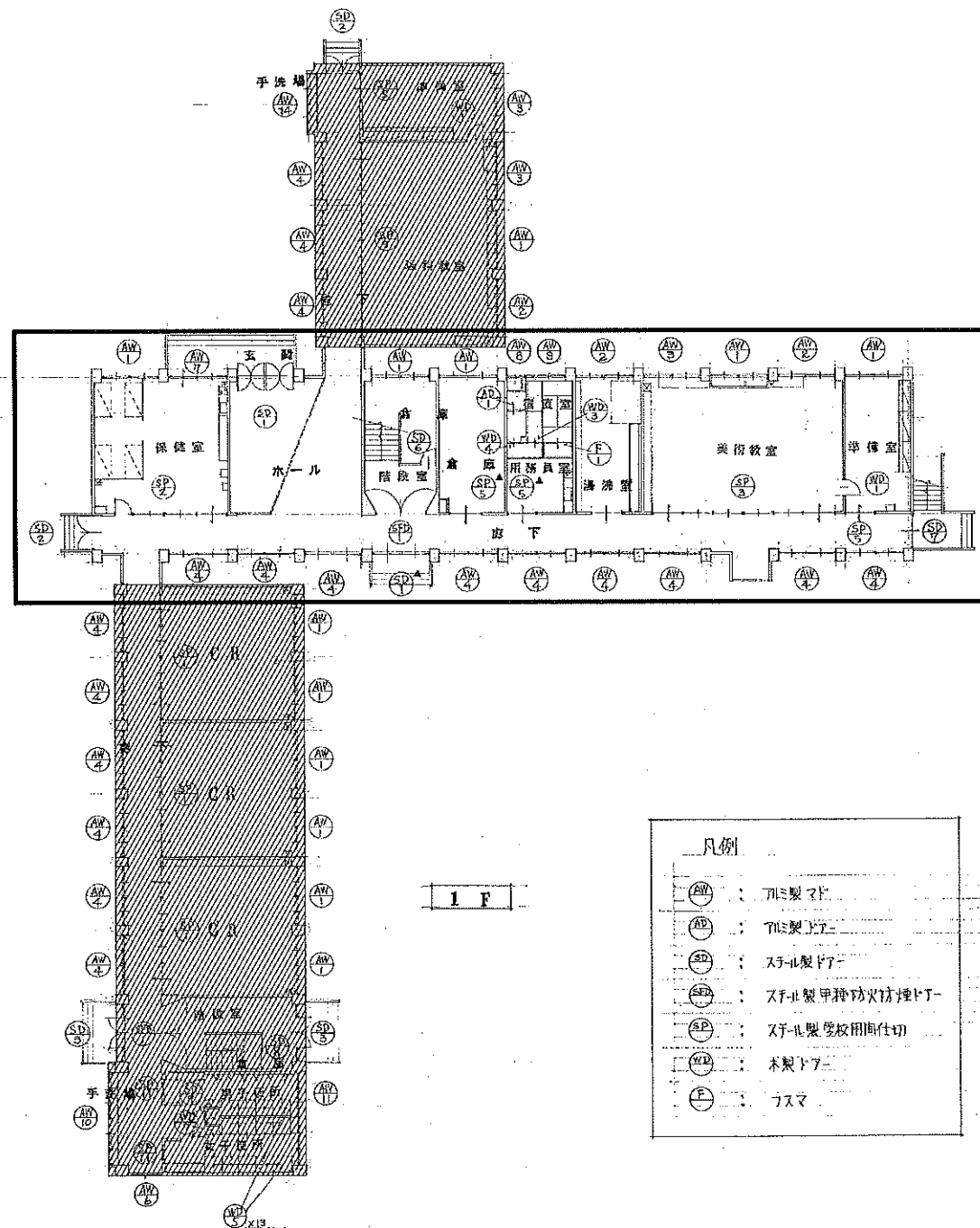
※ 煙突 は、アスベスト含有断熱材を示す。(A-042参照)

株式会社 類設計室 一級建築士事務所	本 社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田朝日ビル4 F 大阪事務所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	設計	一級建築士 大臣登録第311846号	構造設計一級建築士 第5621号	設備設計一級建築士 第4707号	担 当	作 成	工事名称 西小倉中学校校舎ほか解体工事	図面 NO. A-023
							第 1 回		
							第 2 回		
							第 3 回		
			一級建築士 大臣登録第235240号	一級建築士 大臣登録第358739号			図面名称 管理棟 1.2階平面図	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	
			齊藤 直	廣重 圭一	鈴木 邦彦				

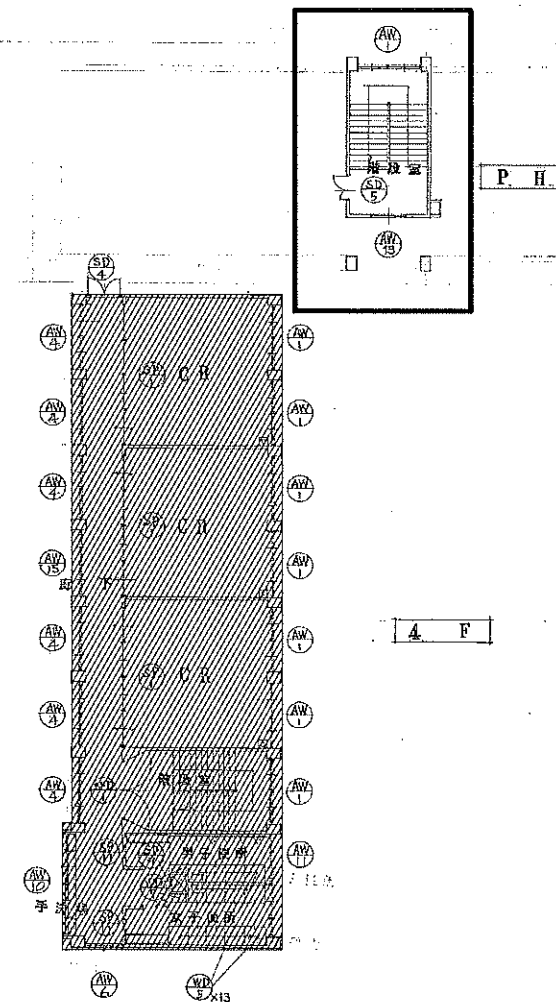
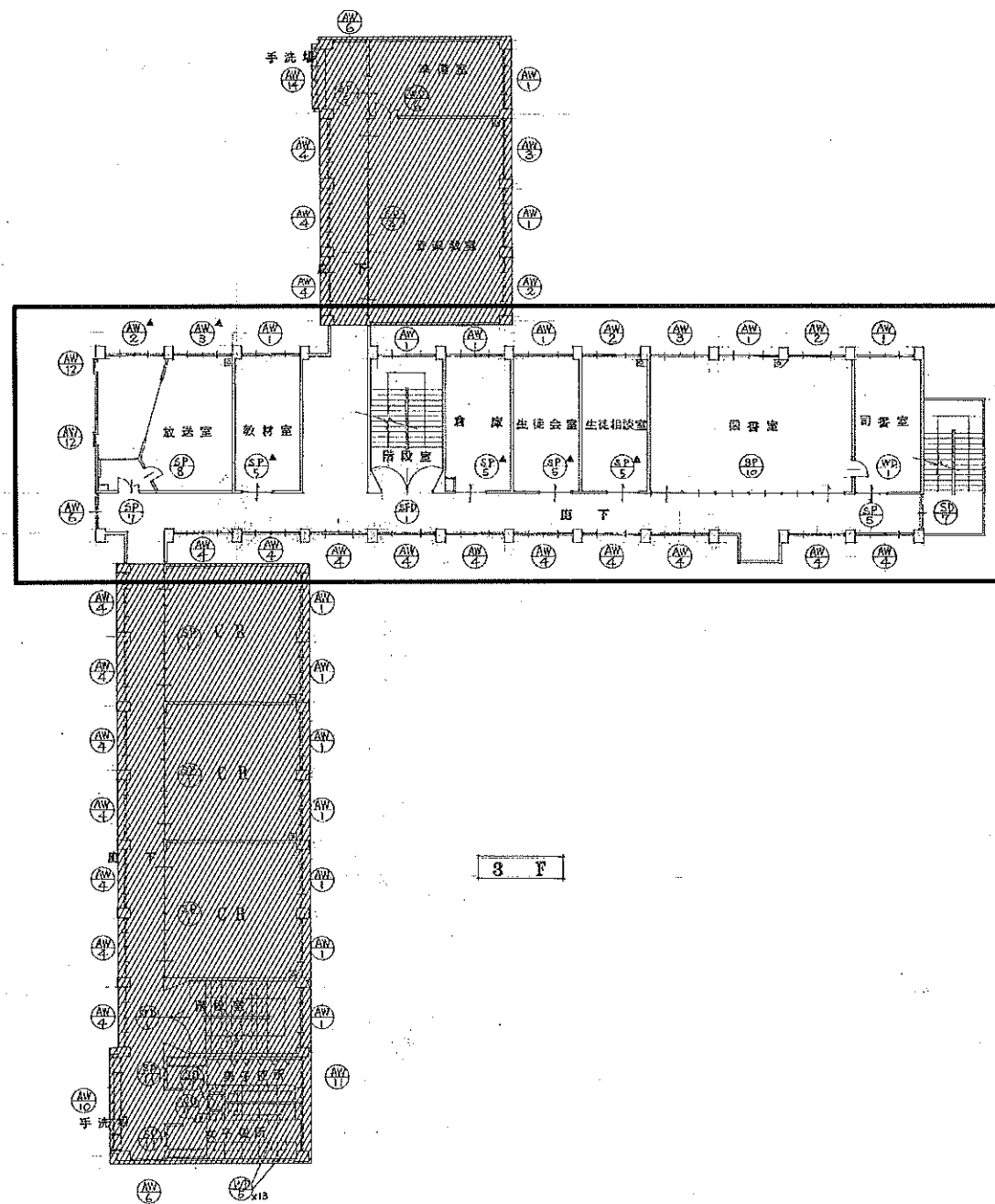


※ **煙突** は、アスベスト含有断熱材を示す。(A-042参照)





※ は、対象建物を示す。

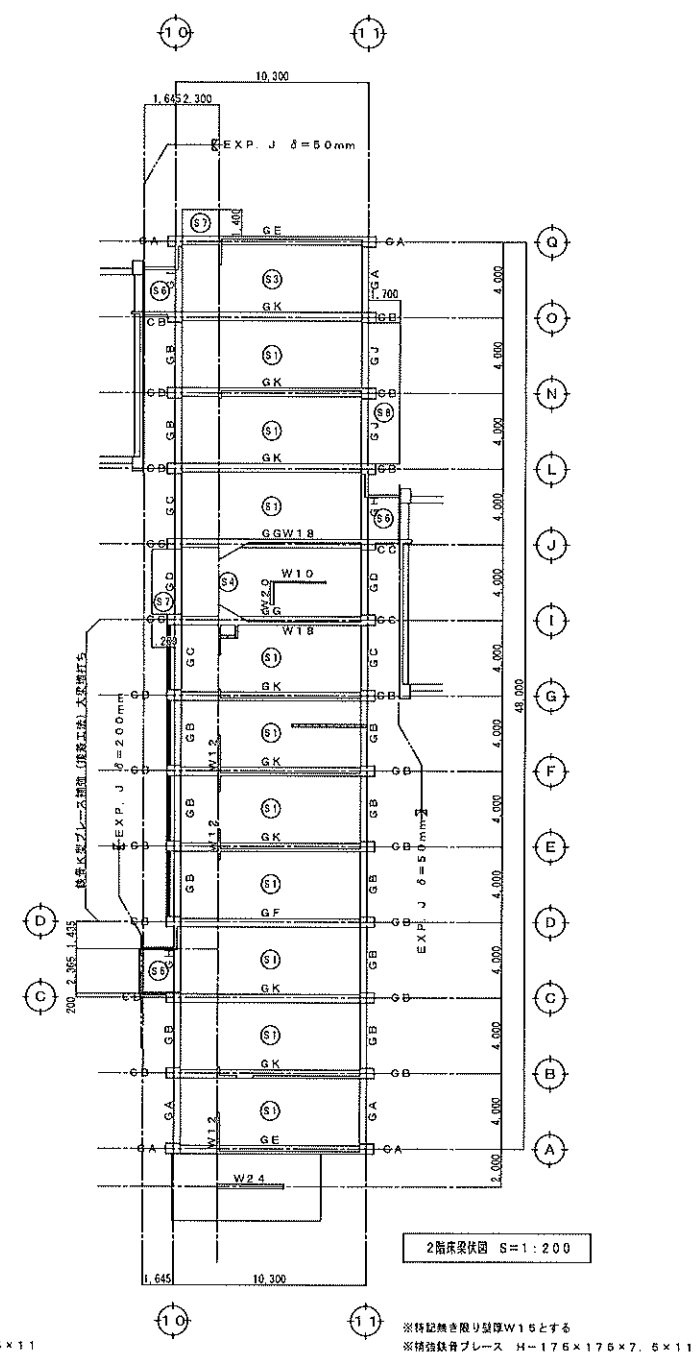
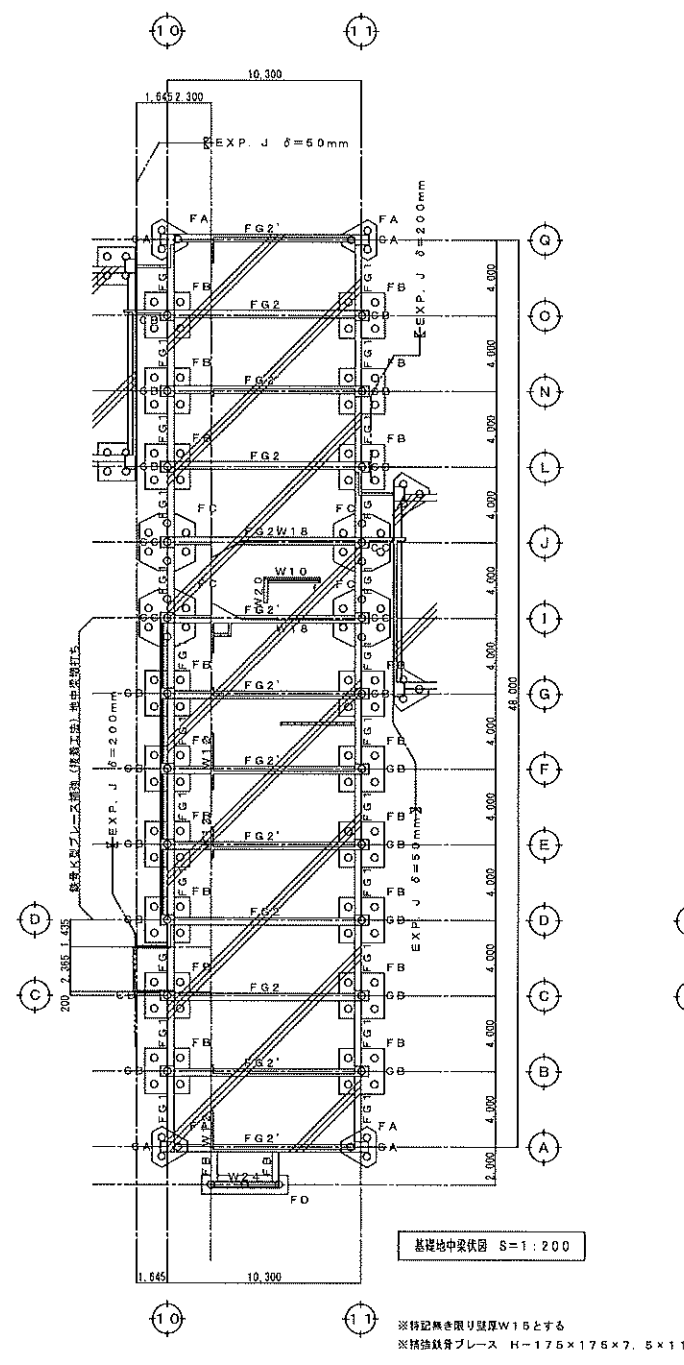
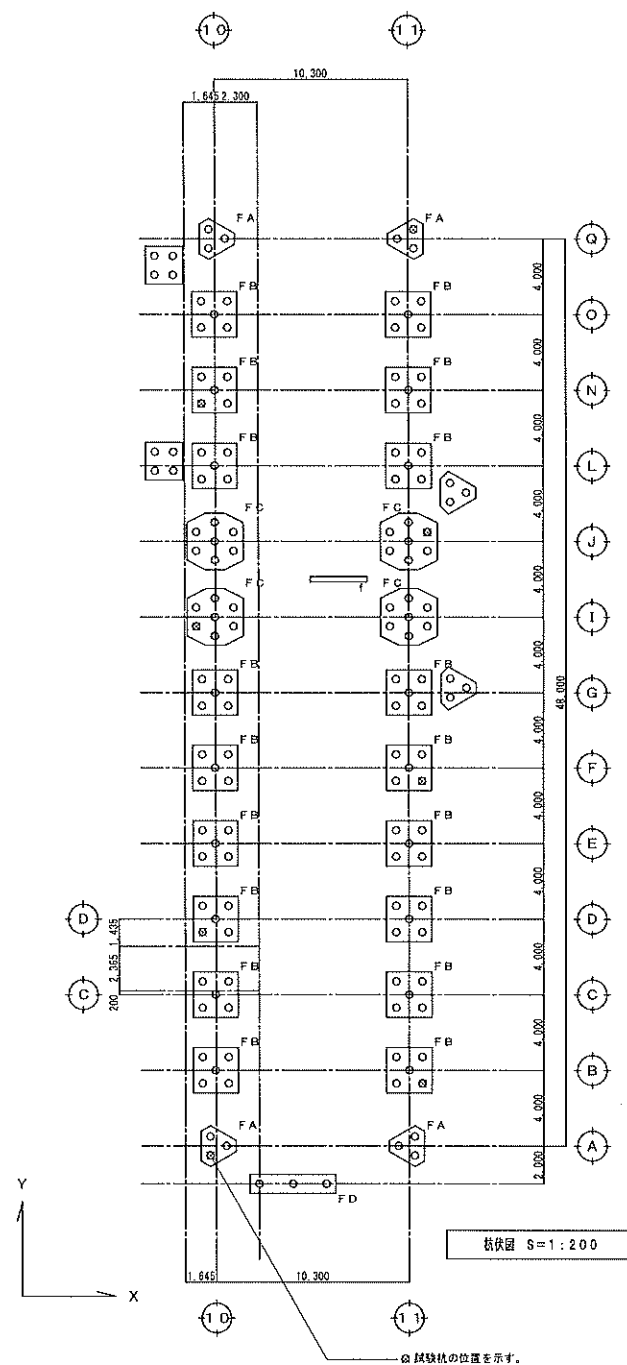


※ は、対象建物を示す。

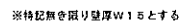
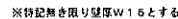
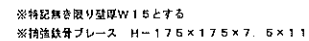
株式 類設計室 一級建築士事務所	本社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 06・6305・2222 東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田朝日ビル4F 03・5713・1010 大阪事務所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 06・6305・6666	設計 一級建築士 大臣登録第311846号 齊藤 直	構造設計一級建築士 第5621号 一級建築士 大臣登録第235240号 廣重 圭一	設備設計一級建築士 第4707号 一級建築士 大臣登録第358739号 鈴木 邦彦	作成 第1回 第2回 第3回	工事名称 西小倉中学校校舎ほか解体工事 図面名称 3.4階建具案内図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400 図面NO. A-027
-----------------------------------	---	-------------------------------	---	---	-------------------------	---

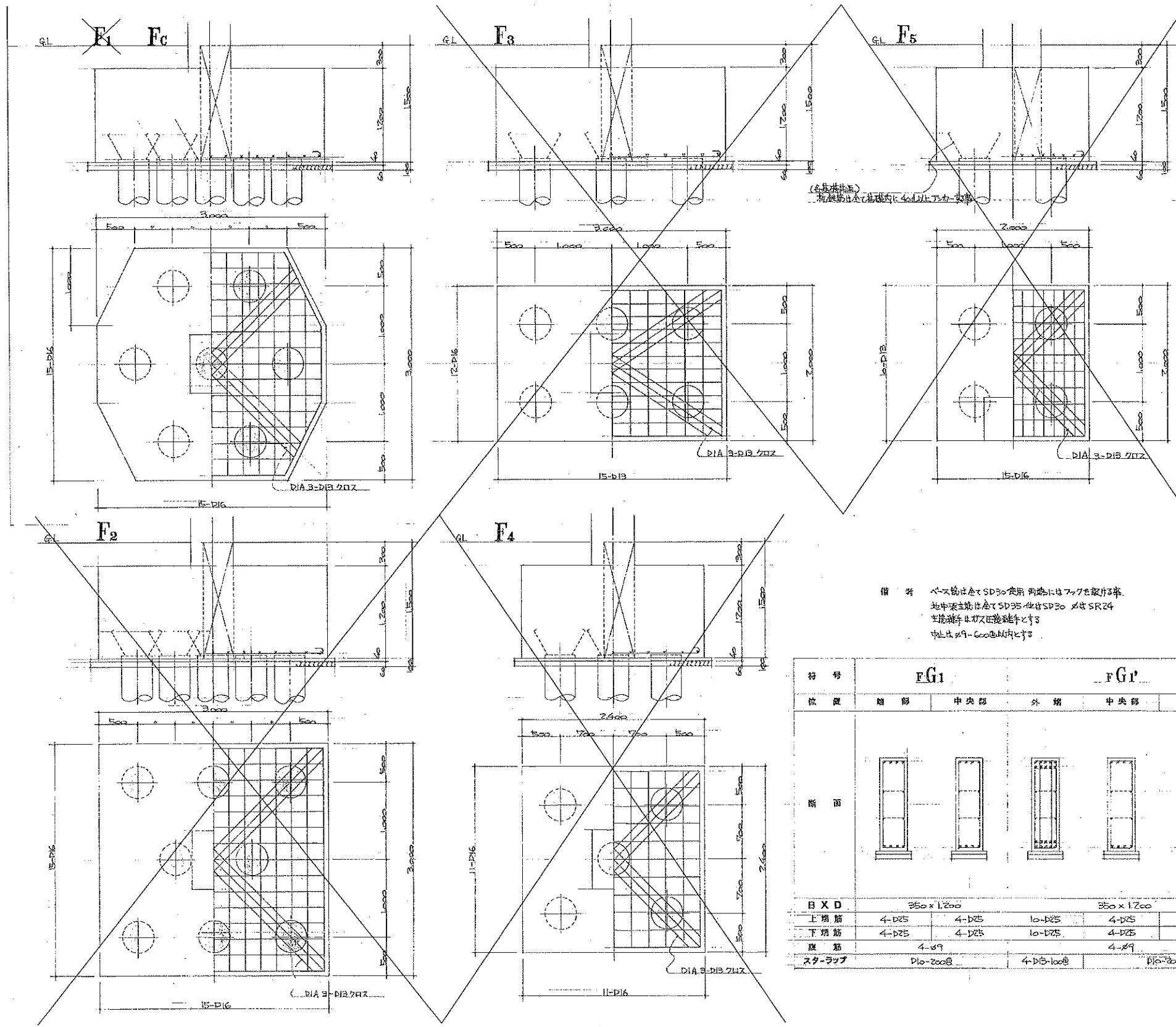
株式会社 類設計室 一級建築士事務所	本社	〒532-0011	大阪市淀川区西中島4-3-2	類ビル	06・6305・2222	一級建築士 大臣登録第311846号	構造設計一級建築士 第5621号	設備設計一級建築士 第4707号	担 当	作	-	-	工事名称 西小倉中学校校舎ほか解体工事	図面NO. A-028		
	東京事務所	〒144-0052	東京都大田区蒲田5-38-3	蒲田朝日ビル4F	03・5713・1010	一級建築士 大臣登録第235240号	一級建築士 大臣登録第358739号	第1回		-	-	図面名称 管理棟 建具リスト(1)				
	大阪事務所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島4-3-2	類ビル	06・6305・6666	齊藤 直	廣重 圭一	鈴木 邦彦		第2回	-				-	縮尺 A1: 1/50
										第3回	-				-	A3: 1/100

符号数量	40	13	8	64	1	8	
図							
図	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	
材	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	
金	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	
子	1-1103	1-1103	1-1103	1-1103	1-1103	1-1103	
備	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	
符号数量	1	1	1	4	1	1	
図							
図	ラシ付2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	
材	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	
金	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	
子	1-1103	1-1103	1-1103	1-1103	1-1103	1-1103	
備	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	
符号数量	2	1	3	1	4	1	
図							
図	ハコロシ2ド	2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	
材	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	
金	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	
子	1-1103	1-1103	1-1103	1-1103	1-1103	1-1103	
備	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	
符号数量	1	5	1	1	1	1	
図							
図	ラシ付2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	
材	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	
金	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	アルミ、アングル、二重ガラス W=95	
子	1-1103	1-1103	1-1103	1-1103	1-1103	1-1103	
備	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	換気扇取付	



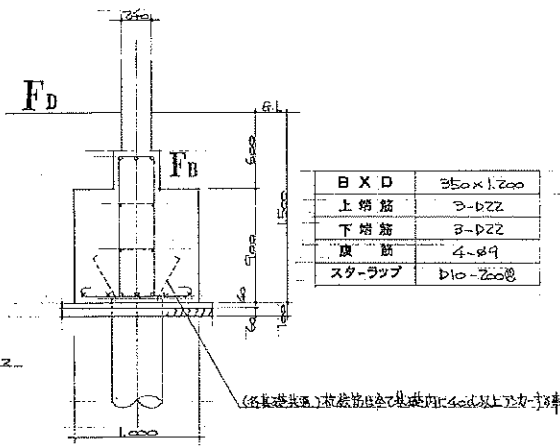
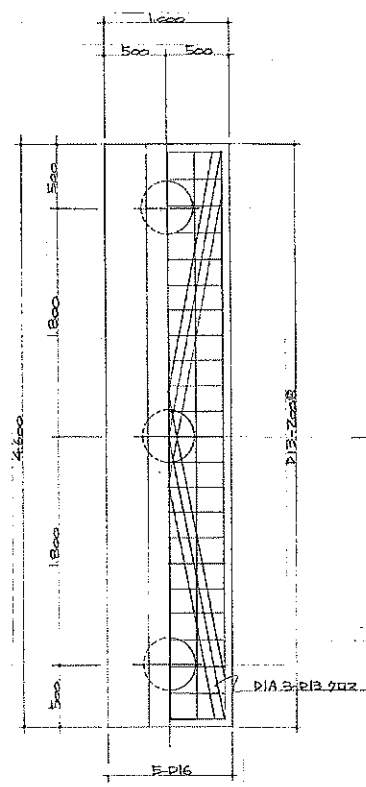
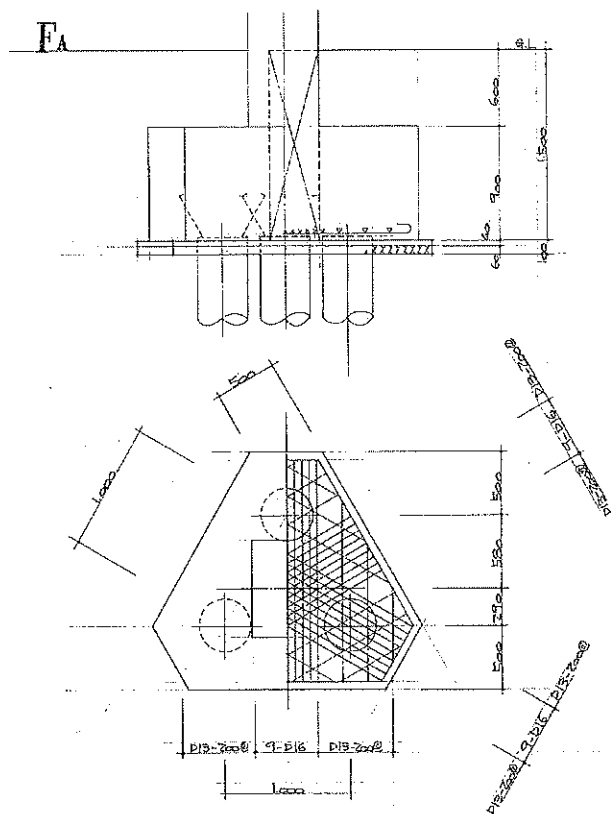
本杭 RCBパイル φ400×70×7,000 ミルクオーガー圧入止 耐力31T/本 125本
 試験杭 RCBパイル φ400×75×8,000 オーガー掘削ディーゼルハンマー 耐力62T/本 8本
 使用材料 FC=210kg/cm³ 土間コンクリート等 FC=180kg/cm³
 鉄筋 D19以上 SD35 D19未満 SD30 丸鋼 SR24



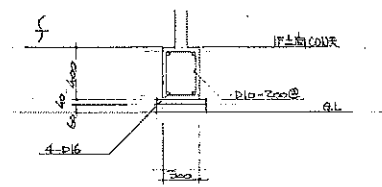
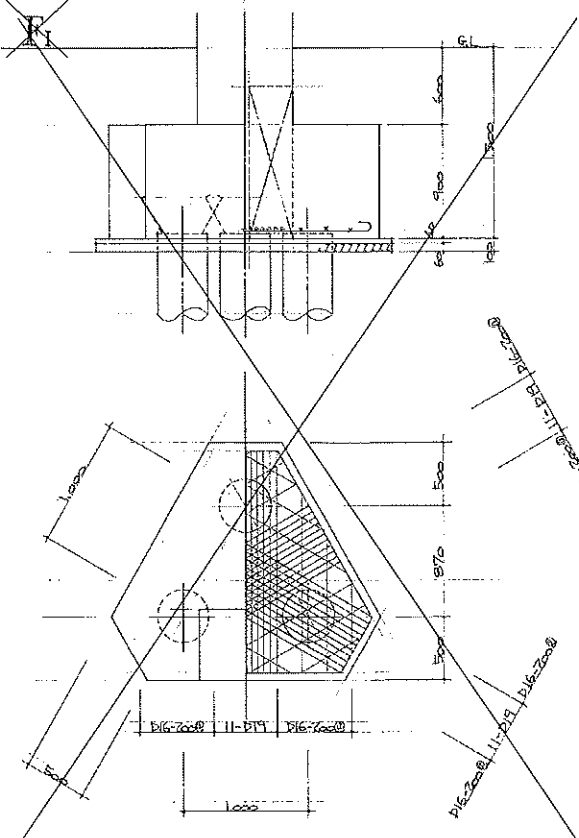
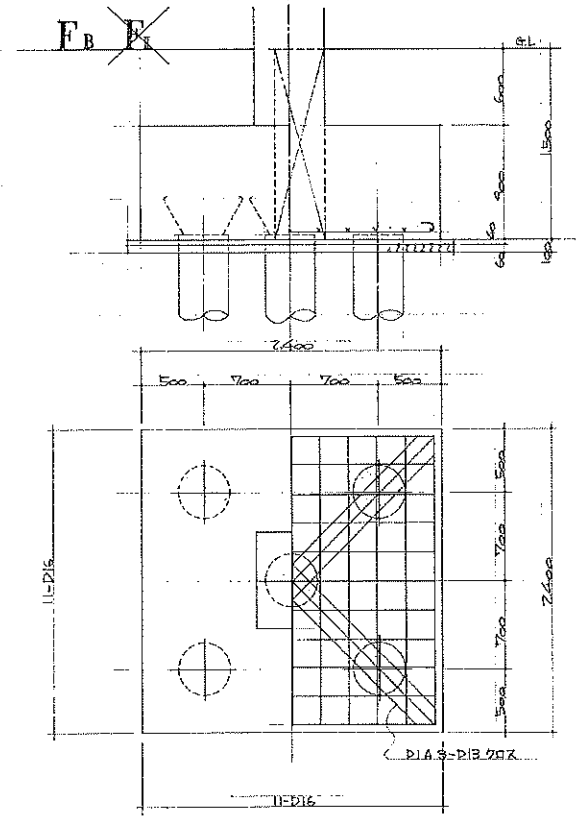


備考
 ベースは全てSD30を用 両端にはフックを設ける事。
 地中梁主筋は全てSD35 仕方はSD30 又はSR24
 主筋継手は又スリット継手とする
 止は29-600以内とする

符 号	FG1		FG1'		FG2		FG2'		
位 置	端 部	中央部	外 端	中央部	内 端	端 部	中央部	M・II・H 端	P・IO・K 端
断 面									
B X D	250 x 1,200		250 x 1,200		400 x 1,500		400 x 1,500		
上 筋 筋	4-D25	4-D25	10-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25	8-D25
下 筋 筋	4-D25	4-D25	10-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25	8-D25
底 筋	4-φ9		4-φ9		4-φ9		4-φ9		
ス ー ラ ッ プ	D10-200@		D10-200@		D10-200@		D10-200@		



B X D	350 x 1,200
上筋筋	3-D22
下筋筋	3-D22
腹筋	4-φ9
スタップ	D10-200@



符 号	C ₁	C ₂	C ₃	C _A	C _B	C _C	C _I	C _{II}	
4 (P.H)									
B X D	550 x 750	550 x 750	550 x 750			750 x 550			
主 筋	16-D25	12-D25	14-D25			14-D25			
フープ	□ D10-100@	□ D10-100@	□ D10-100@			□ D10-100@			
Dフープ	X D10-500@	△ 左	△ 左			X D10-500@			
3									
B X D	550 x 750	550 x 750	550 x 750	750 x 550	750 x 550	750 x 550	550 x 750	550 x 750	
主 筋	18-D25	12-D25	14-D25	14-D25	12-D25	14-D25	14-D25	12-D25	
フープ	□ D10-100@	□ D10-100@	□ D10-100@	□ D10-100@	□ D10-100@	□ D10-100@	□ D10-100@	□ D10-100@	
Dフープ	X D10-500@	△ 左	△ 左	X D10-500@	△ 左	△ 左	X D10-500@	△ 左	
2									
B X D	550 x 750	550 x 750	550 x 750	750 x 550	750 x 550	750 x 550	550 x 750	550 x 750	
主 筋	20-D25	14-D25	14-D25	14-D25	12-D25	18-D25	14-D25	12-D25	
フープ	田 D10-100@	田 D10-100@	□ D10-100@	□ D10-100@	□ D10-100@	田 D10-100@	□ D10-100@	□ D10-100@	
Dフープ	X D10-500@			X D10-500@	△ 左	△ 左	X D10-500@	△ 左	
1									
B X D	550 x 750	550 x 750	550 x 750	750 x 550	750 x 550	750 x 550	550 x 750	550 x 750	
主 筋	20-D25	26-D25	16-D25	14-D25	16-D25	20-D25	14-D25	16-D25	
フープ	田 D10-100@	田 D10-100@	田 D10-100@	田 D10-100@	田 D10-100@	田 D10-100@	田 D10-100@	田 D10-100@	
Dフープ	X D10-500@	△ 左	△ 左	X D10-500@	△ 左	△ 左	X D10-500@	△ 左	

備 考 主筋は全てSD35 他はSD30を1使用
主筋継手は全てガクを接継手とする
主筋柱間は全てフープを配筋する

符 号 位 置	GA			GB		GC			GD		GE		GF		GG			GH		
	A.G. 端	中央部	B.O. 端	端 部	中央部	I.J. 端	中央部	G.L. 端	端 部	中央部	端 部	中央部	端 部	中央部	10 端	中央部	11 端	C.J. 端	中央部	D.L. 端
P・H																				
B X D																				
上 端 筋																				
下 端 筋																				
腹 筋																				
スタ-ラップ																				
R																				
B X D																				
上 端 筋																				
下 端 筋																				
腹 筋																				
スタ-ラップ																				
3																				
B X D																				
上 端 筋																				
下 端 筋																				
腹 筋																				
スタ-ラップ																				
2																				
B X D																				
上 端 筋																				
下 端 筋																				
腹 筋																				
スタ-ラップ																				

備 考 主筋は全TSD35使用SD30又はSR24E使用
主筋継手は全てガス圧接継手とする
R筋 PH梁主筋は全て高接合部にANCHOR33準

中上筋はφ9-600以内とする
二筋間隔による筋間変位はφ9-600以内とする

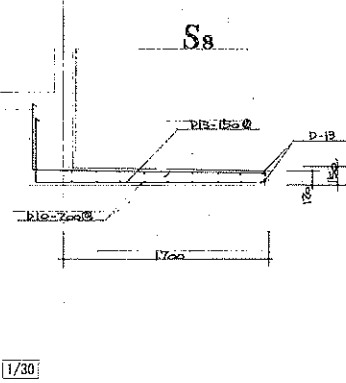
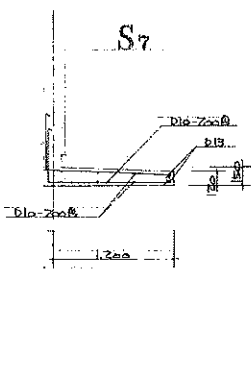
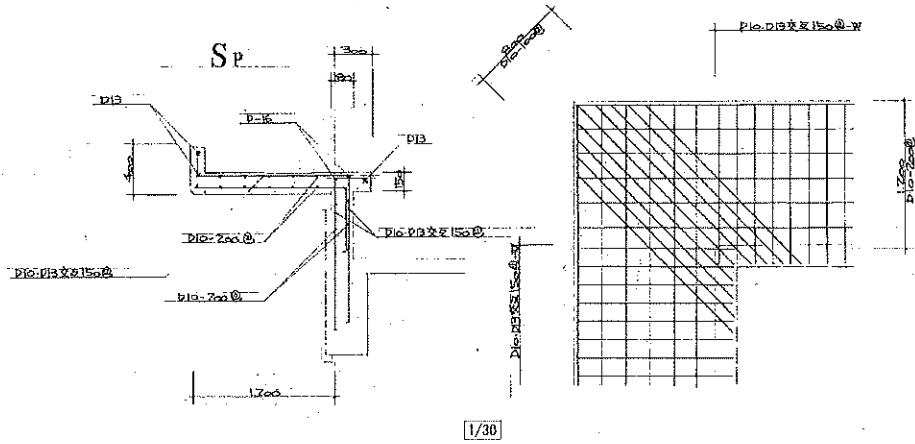
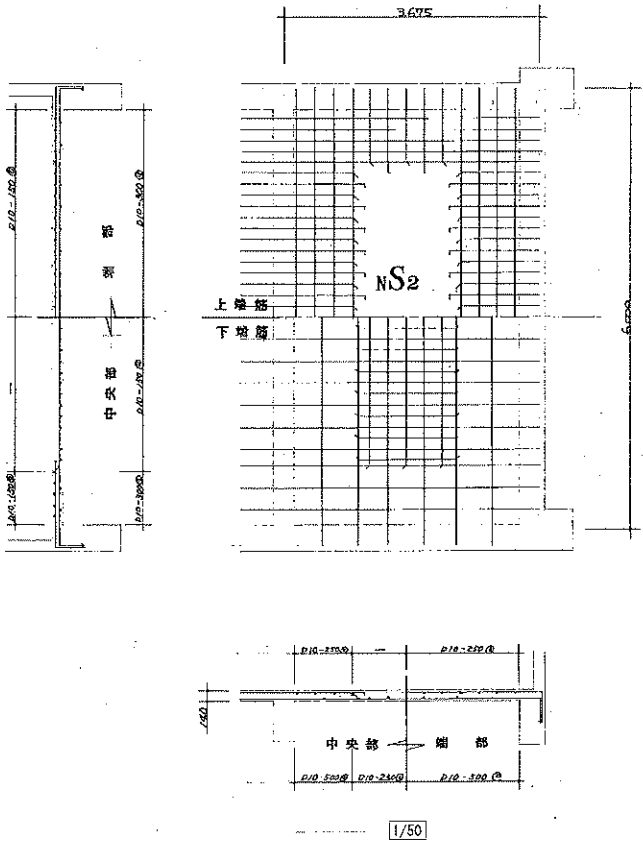
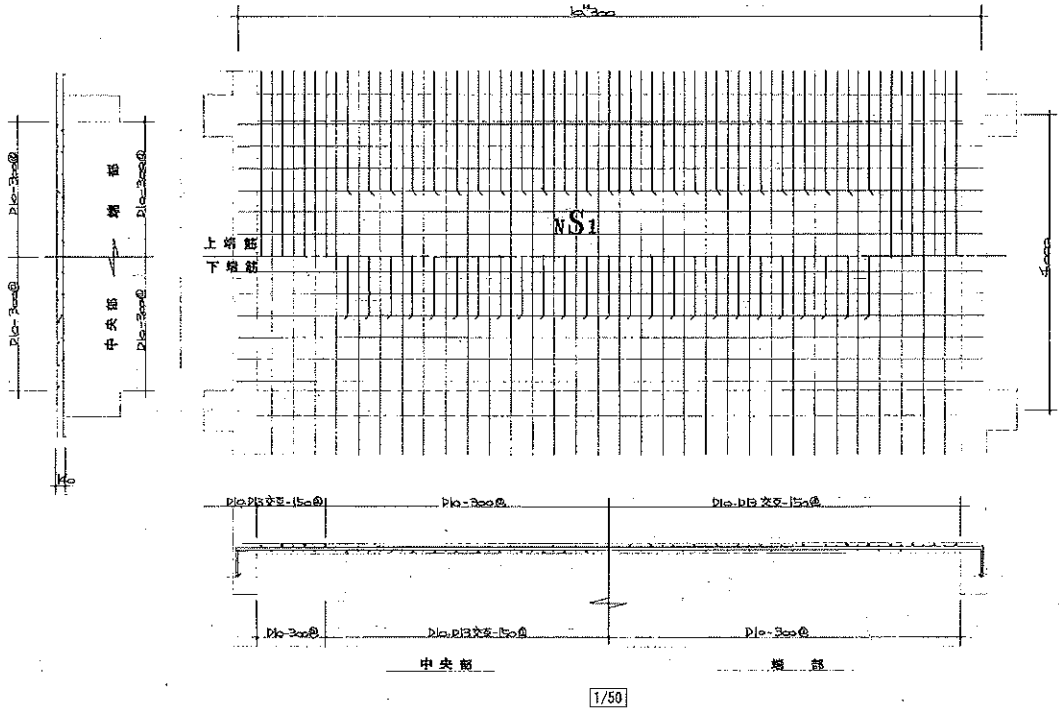
※梁断面「B3」はA-082を参照する事。

符号 位置	G5			G6			G10			G8			G E			G K			G G		
	M 端	中央部	P 端	M 端	中央部	P 端	M 端	中央部	P 端	M 端	中央部	P 端	11-H 端	中央部	10-K 端	11-H 端	中央部	10-K 端	11 端	中央部	10 端
R (P・H)																					
B X D	350 x 900			400 x 900			350 x 900			350 x 900			350 x 900			350 x 900			400 x 900		
上端筋	6-D25	4-D25	8-D25	5-D25	3-D25	7-D25	4-D25	3-D25	6-D25	4-D25	3-D25	6-D25	4-D25	3-D25	6-D25	4-D25	3-D25	6-D25	5-D25	3-D25	7-D25
下端筋	6-D25	6-D25	8-D25	5-D25	5-D25	7-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	3-D25	6-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	6-D25	5-D25	4-D25	7-D25
腹筋	2-φ9			2-φ9			2-φ9			2-φ9			2-φ9			2-φ9			2-φ9		
スタップ	D13-100@			D13-100@			D13-150@			D13-150@			D13-150@			D13-150@			D13-200@		
4 (R)																					
B X D	400 x 900			400 x 900			400 x 900			400 x 900									400 x 900		
上端筋	6-D25	4-D25	8-D25	8-D25	3-D25	10-D25	6-D25	3-D25	8-D25	5-D25	3-D25	7-D25							7-D25	3-D25	8-D25
下端筋	6-D25	4-D25	8-D25	8-D25	5-D25	10-D25	6-D25	4-D25	8-D25	5-D25	3-D25	7-D25							7-D25	5-D25	8-D25
腹筋	2-φ9			2-φ9			2-φ9			2-φ9									2-φ9	2-φ9	
スタップ	D13-100@			D13-100@			D13-125@			D13-200@									D13-100@	4-D13-100@	
3																					
B X D	450 x 900			450 x 900			450 x 900			450 x 900			400 x 900			400 x 900			450 x 900		
上端筋	8-D25	4-D25	10-D25	8-D25	4-D25	10-D25	7-D25	4-D25	9-D25	6-D25	3-D25	8-D25	5-D25	3-D25	7-D25	6-D25	3-D25	8-D25	7-D25	3-D25	9-D25
下端筋	8-D25	4-D25	10-D25	8-D25	5-D25	10-D25	7-D25	4-D25	9-D25	6-D25	4-D25	8-D25	5-D25	3-D25	7-D25	6-D25	4-D25	8-D25	7-D25	5-D25	9-D25
腹筋	4-φ9			4-φ9			4-φ9			4-φ9			2-φ9			2-φ9			4-φ9		
スタップ	D13-100@			D13-100@			D13-125@			D13-200@			D13-200@			D13-100@			D13-125@		
2																					
B X D	450 x 900			450 x 900			450 x 900			450 x 900			450 x 900			450 x 900			450 x 900		
上端筋	10-D25	4-D25	12-D25	10-D25	4-D25	12-D25	9-D25	4-D25	11-D25	7-D25	3-D25	9-D25	7-D25	4-D25	9-D25	8-D25	4-D25	10-D25	8-D25	4-D25	10-D25
下端筋	10-D25	5-D25	12-D25	10-D25	6-D25	12-D25	9-D25	5-D25	11-D25	7-D25	4-D25	9-D25	7-D25	4-D25	9-D25	8-D25	4-D25	10-D25	8-D25	5-D25	10-D25
腹筋	4-φ9			4-φ9			4-φ9			4-φ9			4-φ9			4-φ9			4-φ9		
スタップ	D13-100@			D13-100@			D13-100@			D13-200@			D13-200@			D13-200@			D13-100@		

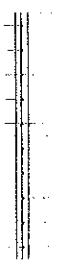
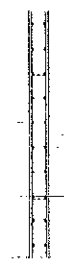
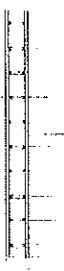
備考 主筋は全てSD35全量SD30でもSR24でも使用可能
 主筋は全てSD35全量SD30でもSR24でも使用可能
 R筋、R1筋は全てSR24でも使用可能

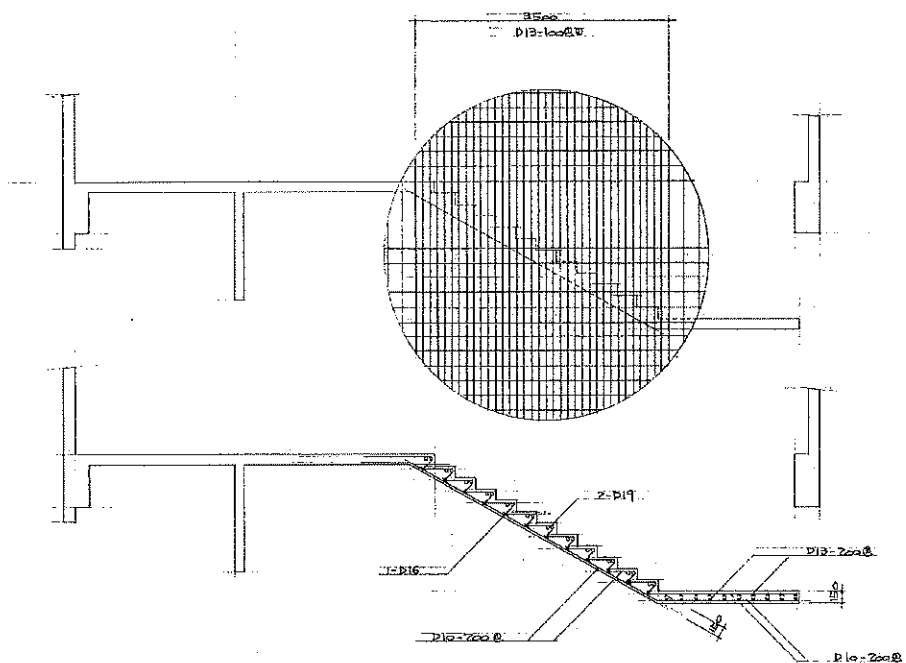
床版リスト

符 号	t	位 置	短 辺		長 辺		備 考
			端 部	中央部	端 部	中央部	
RS1	140	上 端 筋	D10-D13 交互 150@	D10 300@	D10 200@	D10 300@	
		下 端 筋	D10 300@	D10-D13 交互 150@	D10 300@	D10 200@	
NS1	140	上 端 筋	D10-D13 交互 150@	D10 300@	D10 300@	D10 300@	
		下 端 筋	D10 300@	D10-D13 交互 150@	D10 300@	D10 300@	
RS2	140	上 端 筋	D10 150@		D10 300@		
		下 端 筋	D10 300@	D10 150@	D10 600@	D10 300@	
NS2	140	上 端 筋	D10 150@		D10 250@		
		下 端 筋	D10 300@	D10 150@	D10 500@	D10 250@	
NS3	140	上 端 筋	D10-D13 交互 150@	D10 300@	D10 200@	D10 300@	
		下 端 筋	D10 300@	D10-D13 交互 150@	D10 300@	D10 200@	
NS4	140	上 端 筋	D13 150@	D13 150@	D13 150@	D13 150@	
		下 端 筋	D10-D13 交互 150@	D10-D13 交互 150@	D10 150@	D10 150@	
NS5	140	上 端 筋	D10 200@	D10 400@	D10 300@	D10 450@	
		下 端 筋	D10 400@	D10 200@	D10 450@	D10 300@	
NS6	140	上 端 筋	D10 200@	D10 200@	D10 300@	D10 300@	
		下 端 筋	D10 200@	D10 200@	D10 300@	D10 300@	
NS7	120~150	上 端 筋	D10-200@		D10-300@		
		下 端 筋	D10-200@		D10-300@		
NS8	120~150	上 端 筋	D13-150@		D10-200@		
		下 端 筋	D13-150@		D10-200@		
SP	150	上 端 筋	D10-D13 交互-150@		D10-200@		
		下 端 筋	D10-D13 交互-150@		D10-200@		
一般土間	120		タテヨコ共に 9-250@ 3mm/L				

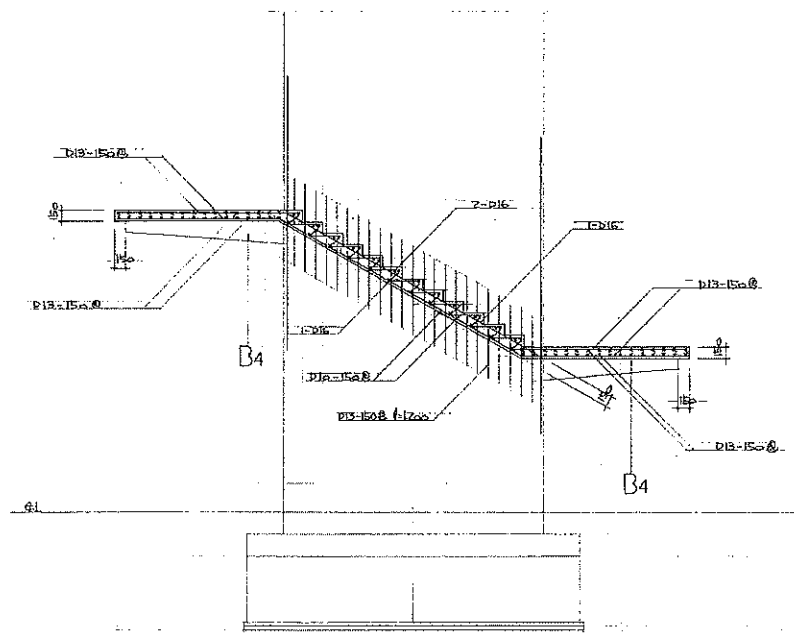


壁リスト

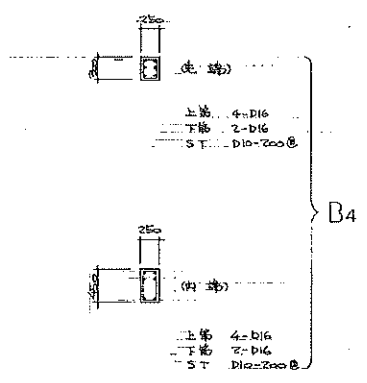
符 号	W100	W120	W150	W180	W240	CB100	CB150
	100	120	150	180	240	100	150
断 面							
縦 筋	D10-200@	D10-200@	D10-200@W	D10-D13交互-200@W	D13-150@W	#9-800@	#9-800@
横 筋	D10-200@	D10-200@	D10-200@V	D10-D13交互-200@W	D10-D13交互-150@W	#9-800@	#9-800@
補強筋 (開口部周辺等)	1-D13	1-D13	2-D13	2-D16	2-D16	1-D13	1-D13
巾止筋			D10-1000@	D10-1000@	D10-900@		



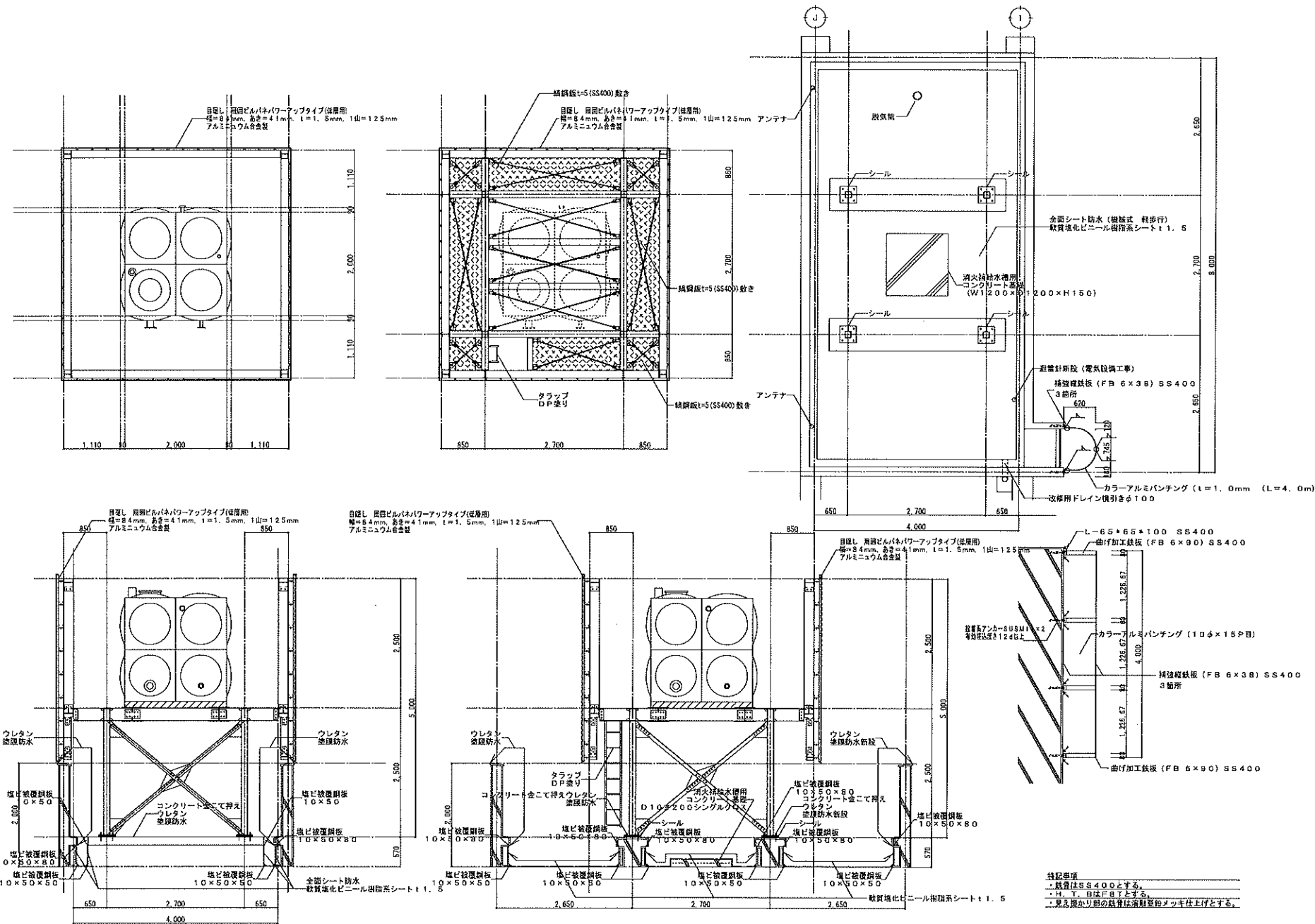
高窓壁断面図 S=1:50

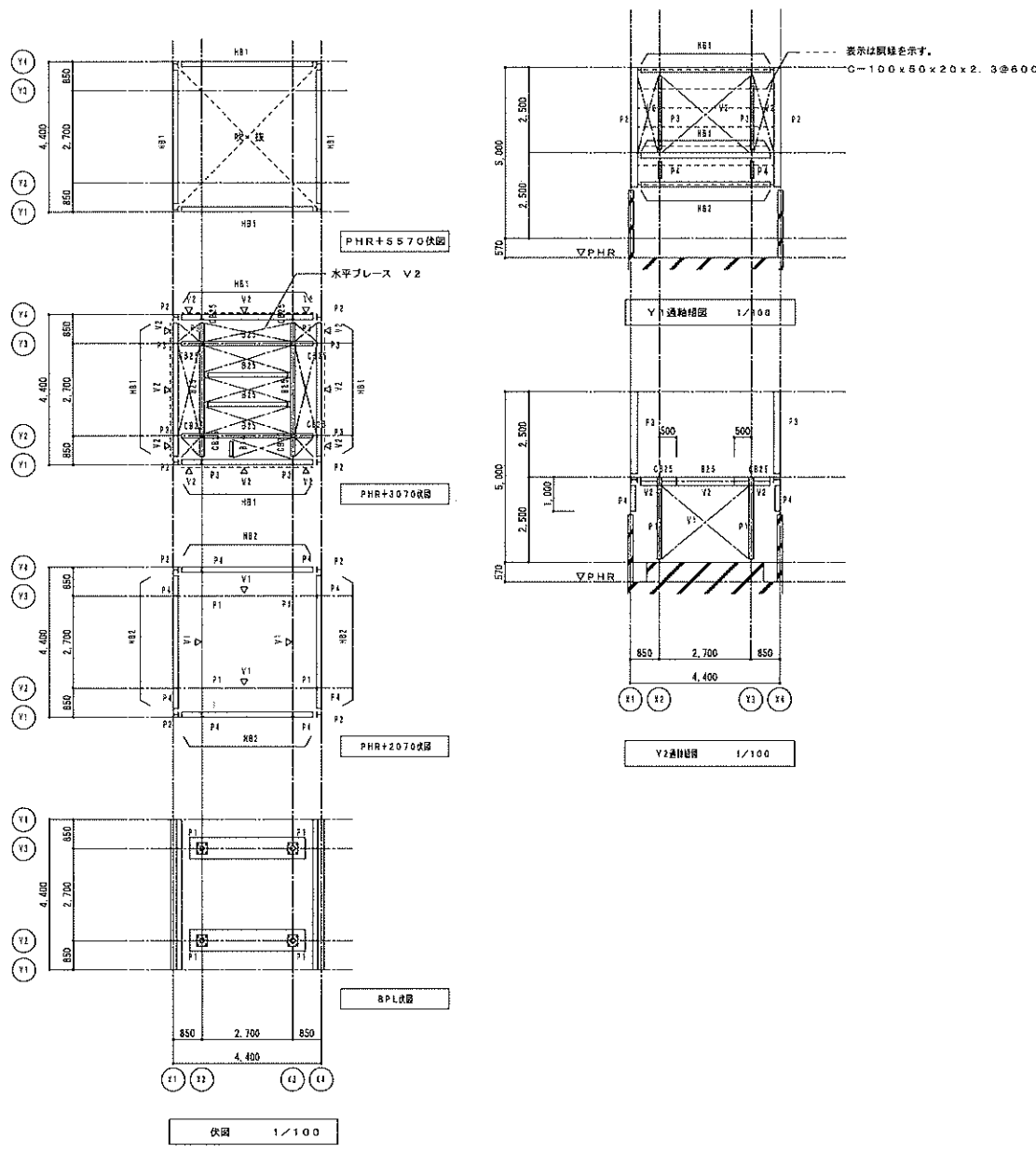


外部高窓壁断面図 S=1:50

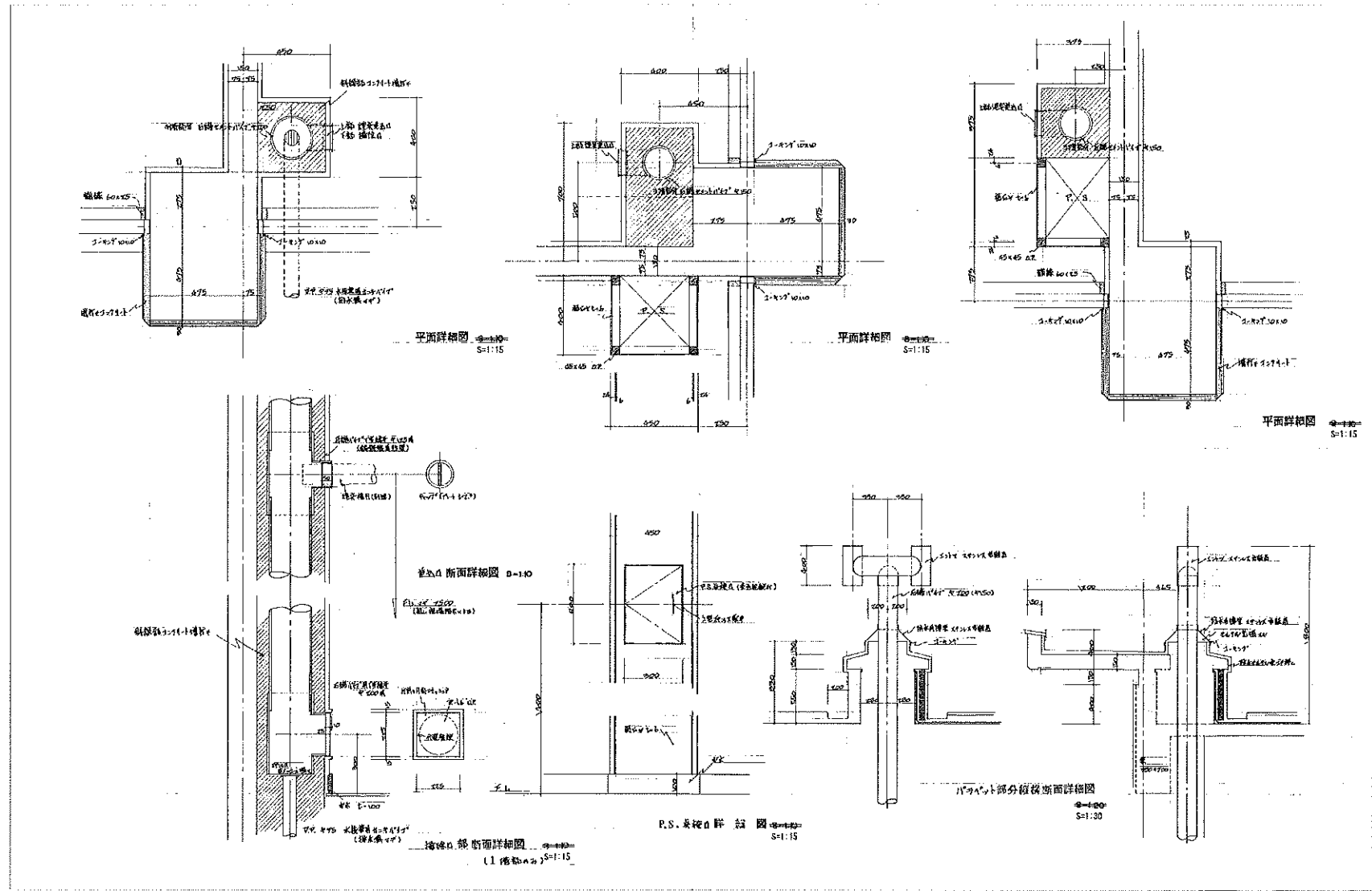


B4



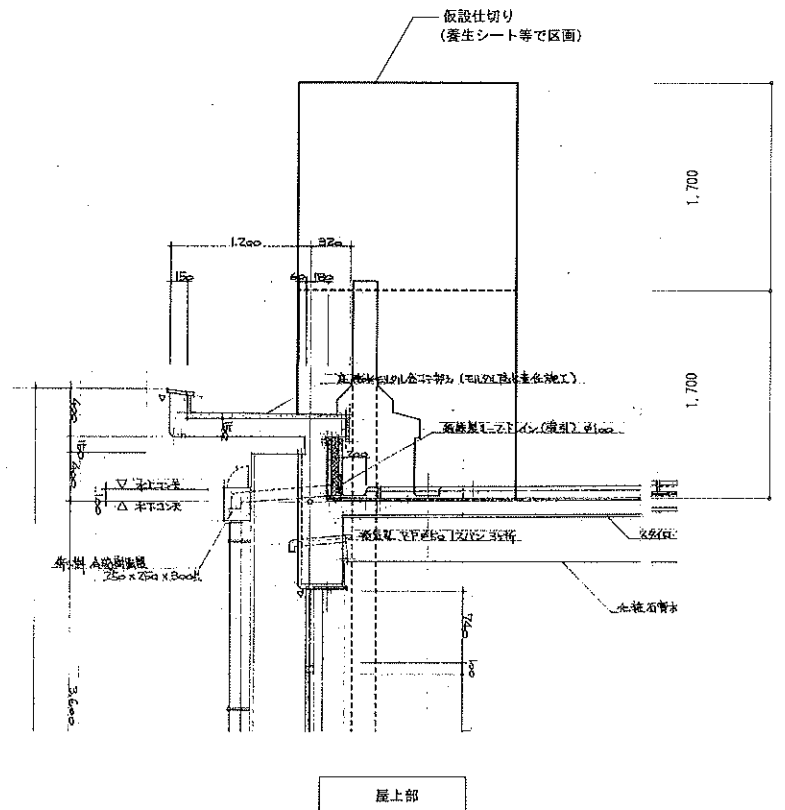
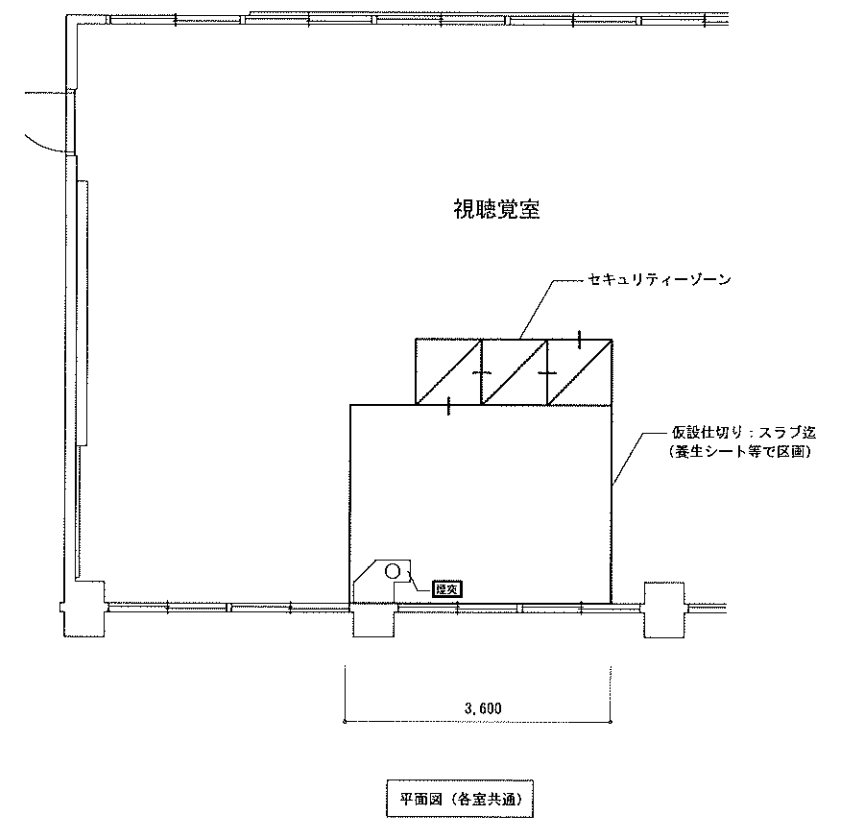


鉄骨部材リスト		
・鋼材はSS400規格品（溶融亜鉛メッキ）とする。 ・使用するボルトは高力ボルトF8Tとする。		
符 号	部 材	備 考
B14	H-148x100x 6x 9	GPL-6 2-M16
B25	H-250x125x 6x 9	GPL-9 3-M16 J25
CB25	H-250x125x 6x 9	
P1	□-125x125x 6 (STKR400)	BPL-16x325x325 ABOLT (ABR400) 4-M20 (埋設用アンカー 埋設深さ104)
P2	H-200x200x 8x12	
P3	H-200x100x 5.5x 8	GPL-9 2-M16
P4	H-148x100x 6x 9	GPL-9 2-M16
HB1	H-194x150x 6x 9 (横渡り)	GPL-9 2-M20
HB2	H-148x100x 8x 9 (横渡り)	GPL-6 2-M16
V1	L-75x75x 6	GPL-9 5-M16
V2	1-M16 (JIS5-ツインバックス用)	GPL-9 1-M16
J25	FPL-12X125X410 NTB 6-M16X4 (S10T) 2WPL-6X170X280 NTB 4-M16X2 (S10T)	S10Tは高強度ボルトナットZRC数量とする



※煙突には、アスベスト含有断熱材を含む。

アスベスト撤去仮設計画図 (参考)



株式会社 類設計室 一級建築士事務所	本社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田朝日ビル4F 大阪事務所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	設計 一級建築士 大臣登録第311846号 齊藤 直	構造設計一級建築士 第5621号 一級建築士 大臣登録第235240号 廣重 圭一	設備設計一級建築士 第4707号 一級建築士 大臣登録第358739号 鈴木 邦彦	担当 第1回 第2回 第3回	作成 第1回 第2回 第3回	工事名称 西小倉中学校校舎ほか解体工事 図面名称 煙突 詳細図 縮尺 図示	図面NO. A-042
------------------------------	--	----------------------------------	---	---	-------------------------	-------------------------	---	----------------

内部仕上表

階	室名	床	中床	壁	天井	天井高	廻り縁	クッションBOX	ドア枠	カーテン	障子	窓名札	窓板	換気扇	換気口	天板開口	地盤開口	窓枠開口	備考
2	保健室	合板フローリング(ブナ) t=15-F.O	木製-O.P H=100	モルタル塗-E.P	モルタル塗-E.P		V板型枠コンクリート打放し-アクリル系リシン吹付	3.050	合成樹脂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	生徒用ロッカー、1階を除き防護手摺
"	昇学級	合板フローリング(ブナ) t=15-F.O	木製-O.P H=100	モルタル塗-E.P	モルタル塗-E.P		V板型枠コンクリート打放し-アクリル系リシン吹付	3.050	合成樹脂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	生徒用ロッカー、1階を除き防護手摺
"	異学級	合板フローリング(ブナ) t=15-F.O	木製-O.P H=100	モルタル塗-E.P	モルタル塗-E.P		V板型枠コンクリート打放し-アクリル系リシン吹付	3.050	合成樹脂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	生徒用ロッカー、1階を除き防護手摺
"	図書室	合板フローリング(ブナ) t=15-F.O	木製-O.P H=100	モルタル塗-E.P	モルタル塗-E.P		V板型枠コンクリート打放し-アクリル系リシン吹付	3.050	合成樹脂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	生徒用ロッカー、1階を除き防護手摺
共通	C.R	合板フローリング(ブナ) t=15-F.O	木製-O.P H=100	モルタル塗-E.P	モルタル塗-E.P		V板型枠コンクリート打放し-アクリル系リシン吹付	3.050	合成樹脂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	生徒用ロッカー、1階を除き防護手摺
	男子便所	25角磁器モザイクタイル貼	100角半磁器タイル貼	モルタル塗-V.P	モルタル塗-V.P		モルタル塗-V.P	2.600	○			○			○	○			1階吹き抜け部分に防護手摺
	女子便所	25角磁器モザイクタイル貼	100角半磁器タイル貼	モルタル塗-V.P	モルタル塗-V.P		モルタル塗-V.P	2.600	○			○			○	○			1階吹き抜け部分に防護手摺
	廊下	モルタル下地-塗料仕上	モルタル塗-E.P (テラズ塗分) H=100	モルタル塗-E.P	モルタル塗-E.P		V板型枠コンクリート打放し-アクリル系リシン吹付					○							1階吹き抜け部分に防護手摺
	階段室	モルタル下地-塗料仕上	モルタル塗-E.P (テラズ塗分) H=100	モルタル塗-E.P	モルタル塗-E.P		モルタル塗-E.P					○							騒音対策
	給排水	モルタル下地-塗料仕上	ソット材 H=75	モルタル塗-E.P	モルタル塗-E.P		V板型枠コンクリート打放し-アクリル系リシン吹付		○			○							
	倉庫	モルタル下地-塗料仕上	ソット材 H=75	モルタル塗-E.P	モルタル塗-E.P		V板型枠コンクリート打放し-アクリル系リシン吹付		○			○							
"	MBC・WMC	モルタル下地-モルタル貼	ビニル巾木 H=75	モルタル塗-E.P	モルタル塗-E.P		モルタル塗-E.P												

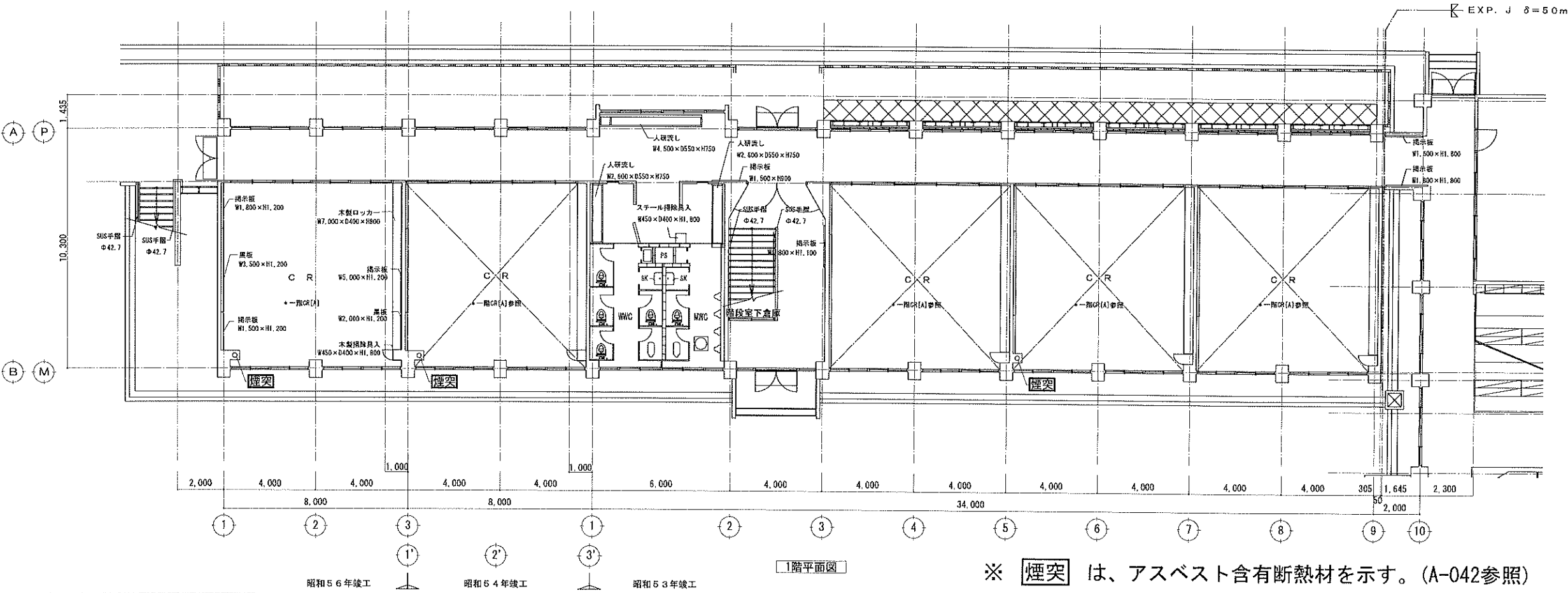
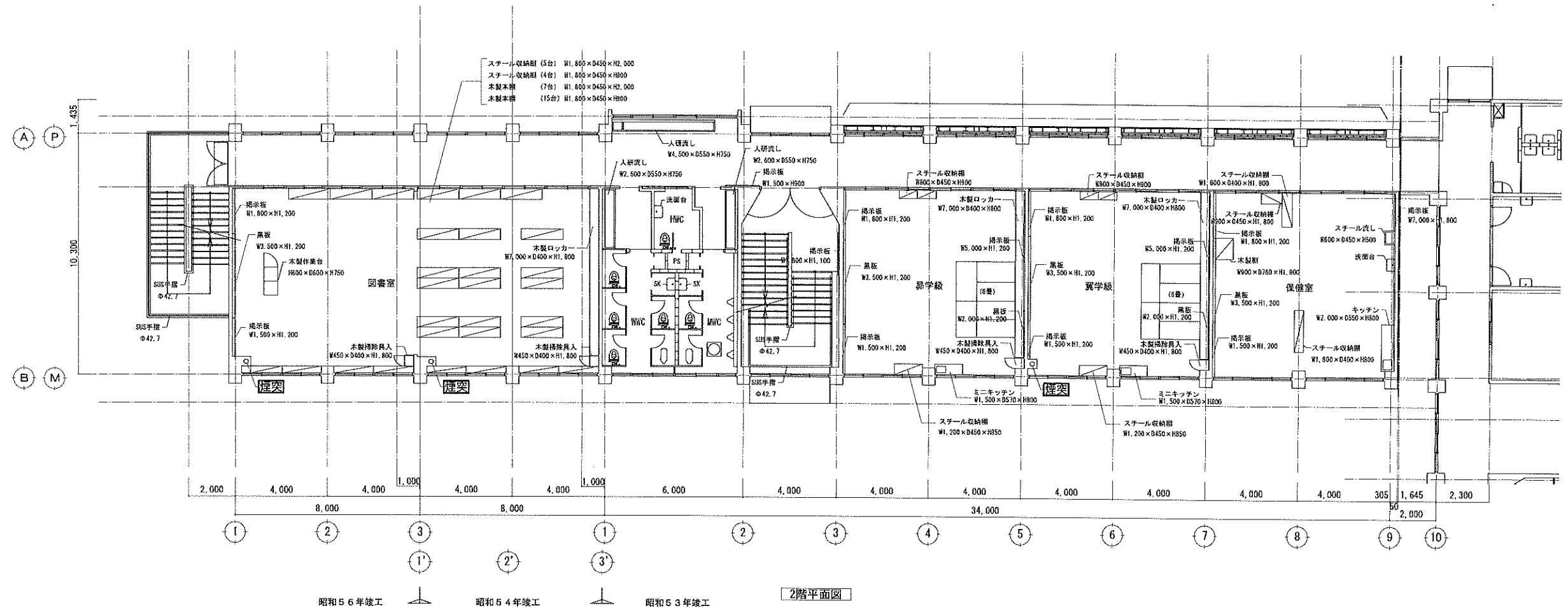
外部仕上表

1. 屋根	アスファルト防水	上層と下層のコンクリート t=60	防水モルタルコンクリート t=60	伸縮目地	アスファルトコンクリート t=60	庇上端	モルタル塗-E.P	(一般産も含む)	保護手摺	アスファルト t=100 (管理棟は)	アスファルトコンクリート打放しモルタル塗
2. 外壁	V板型枠コンクリート打放し	アクリル系リシン吹付	一部防水ブロック仕上	一部V板型枠コンクリート打放し	一部防水ブロック仕上	一部V板型枠コンクリート打放し	一部防水ブロック仕上	一部V板型枠コンクリート打放し	一部防水ブロック仕上	一部V板型枠コンクリート打放し	一部防水ブロック仕上
3. 中床	モルタルコンクリート	各出入口前、側面									
4. 床下	モルタルコンクリート	各出入口前、側面									

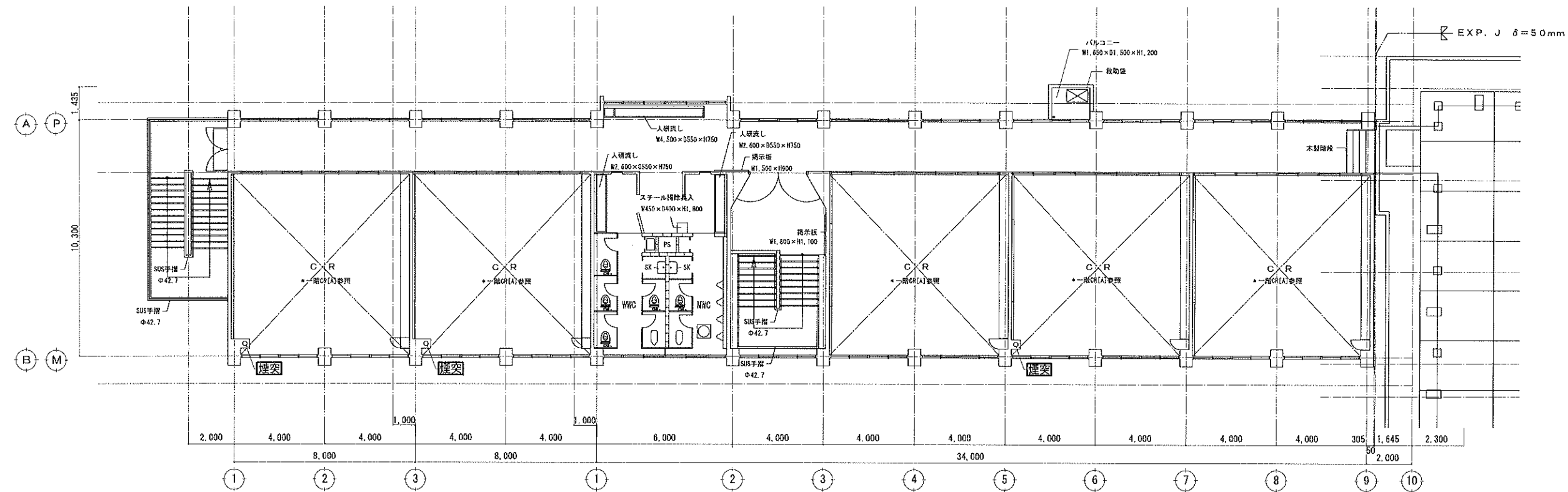
※含有箇所はS56竣工部分に限る。(A-044~A-047参照)

※はアスベスト含有吹付材を示す。

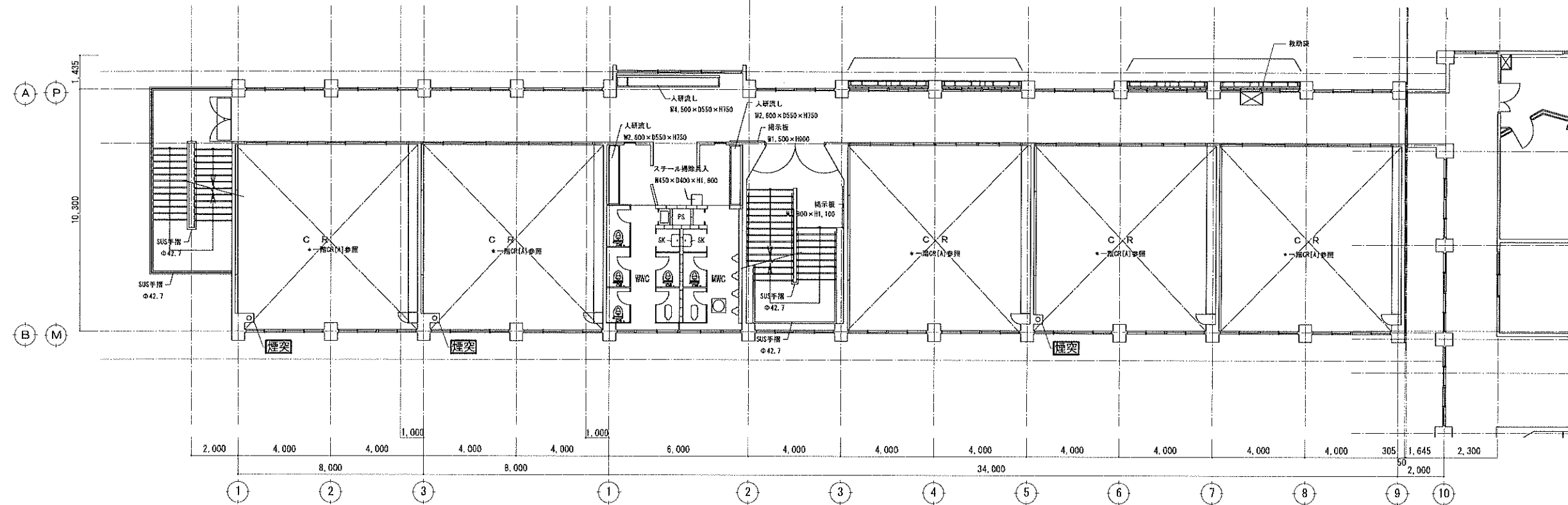
※は非飛散性アスベスト含有建材を示す。



※ 煙突 は、アスベスト含有断熱材を示す。(A-042参照)

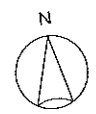


昭和56年竣工 昭和54年竣工 昭和53年竣工 4階平面図

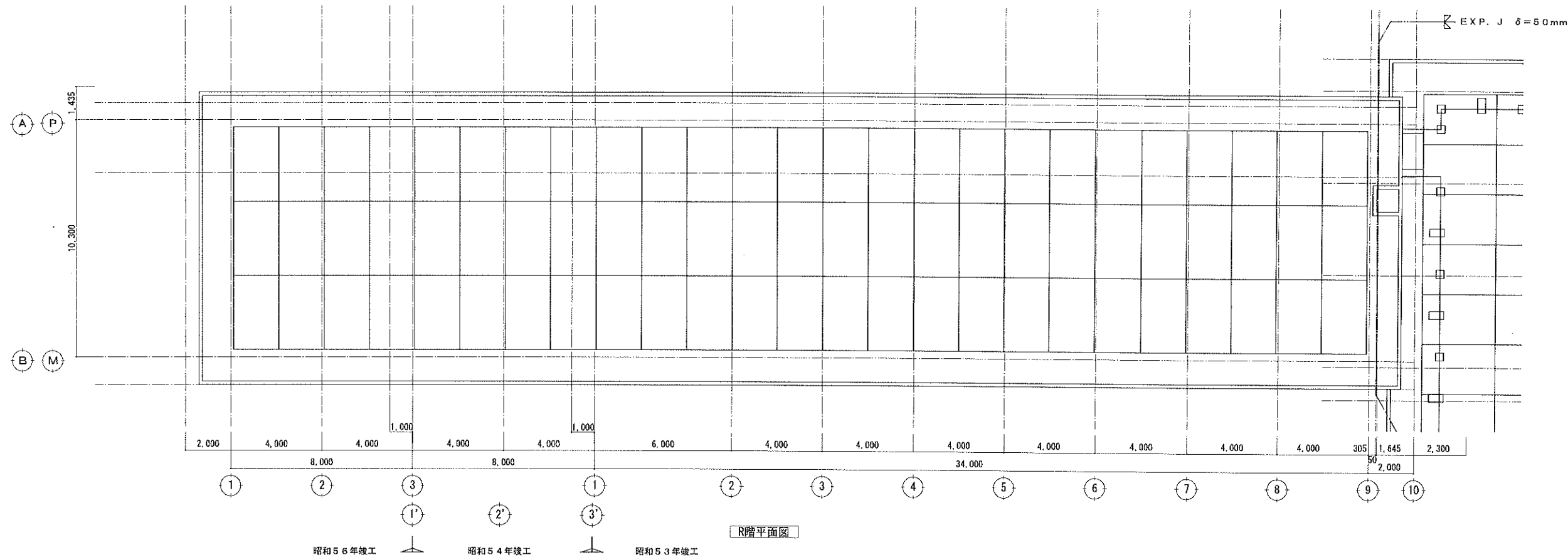


昭和56年竣工 昭和54年竣工 昭和53年竣工 3階平面図

※ 煙突 は、アスベスト含有断熱材を示す。(A-042参照)



株式会社 類設計室 一級建築士事務所	本社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 06・6305・2222 東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田朝日ビル4F 03・5713・1010 大阪事務所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 06・6305・6666	設計 一級建築士 大田登録第311846号 齊藤 直	構造設計一級建築士 第5621号 一級建築士 大田登録第235240号 廣重 圭一	設備設計一級建築士 第4707号 一級建築士 大田登録第358739号 鈴木 邦彦	作成 第1回 第2回 第3回	工事名称 西小倉中学校校舎ほか解体工事 図面名称 北教室棟 3、4階平面図 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面NO. A-045
------------------------------	---	-------------------------------	---	---	-------------------------	---	-------------



株式 類設計室
会社 一級建築士事務所

本社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 06・6305・2222
東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田朝日ビル4F 03・5713・1010
大阪事務所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 06・6305・6666

設計 一級建築士 大臣登録第311846号
青藤 直

構造設計一級建築士 第5621号
一級建築士 大臣登録第235240号
廣重 圭一

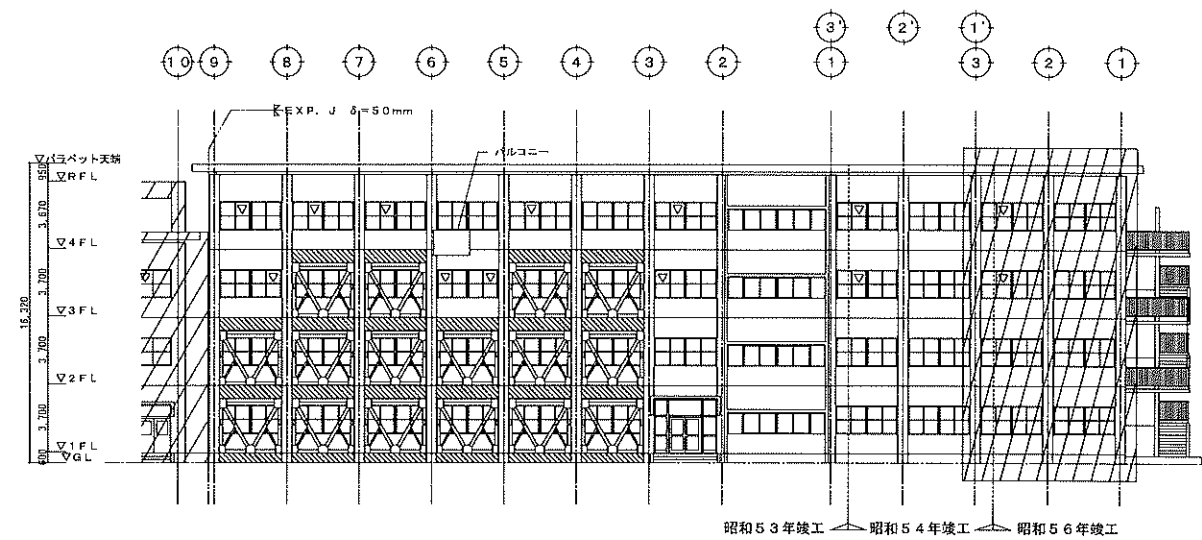
設備設計一級建築士 第4707号
一級建築士 大臣登録第358739号
鈴木 邦彦

担当
作成
第1回
第2回
第3回

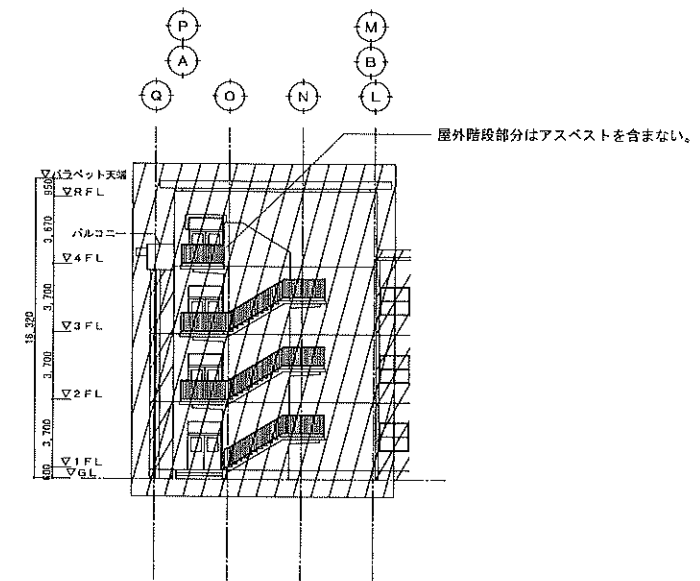
工事名称 西小倉中学校校舎ほか解体工事
図面名称 北教室棟 R階平面図

縮尺 A1: 1/100
A3: 1/200

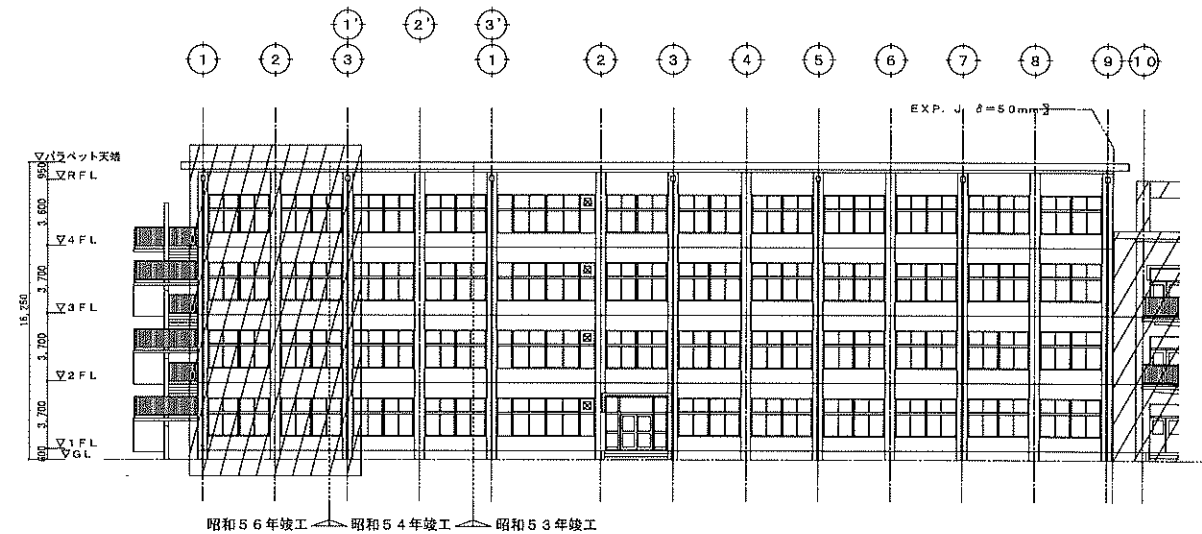
図面NO. A-046



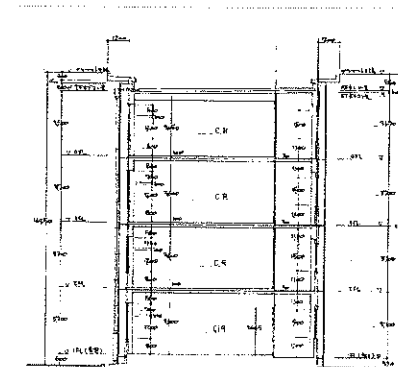
北立面図 S=1:200



西立面図 S=1:200



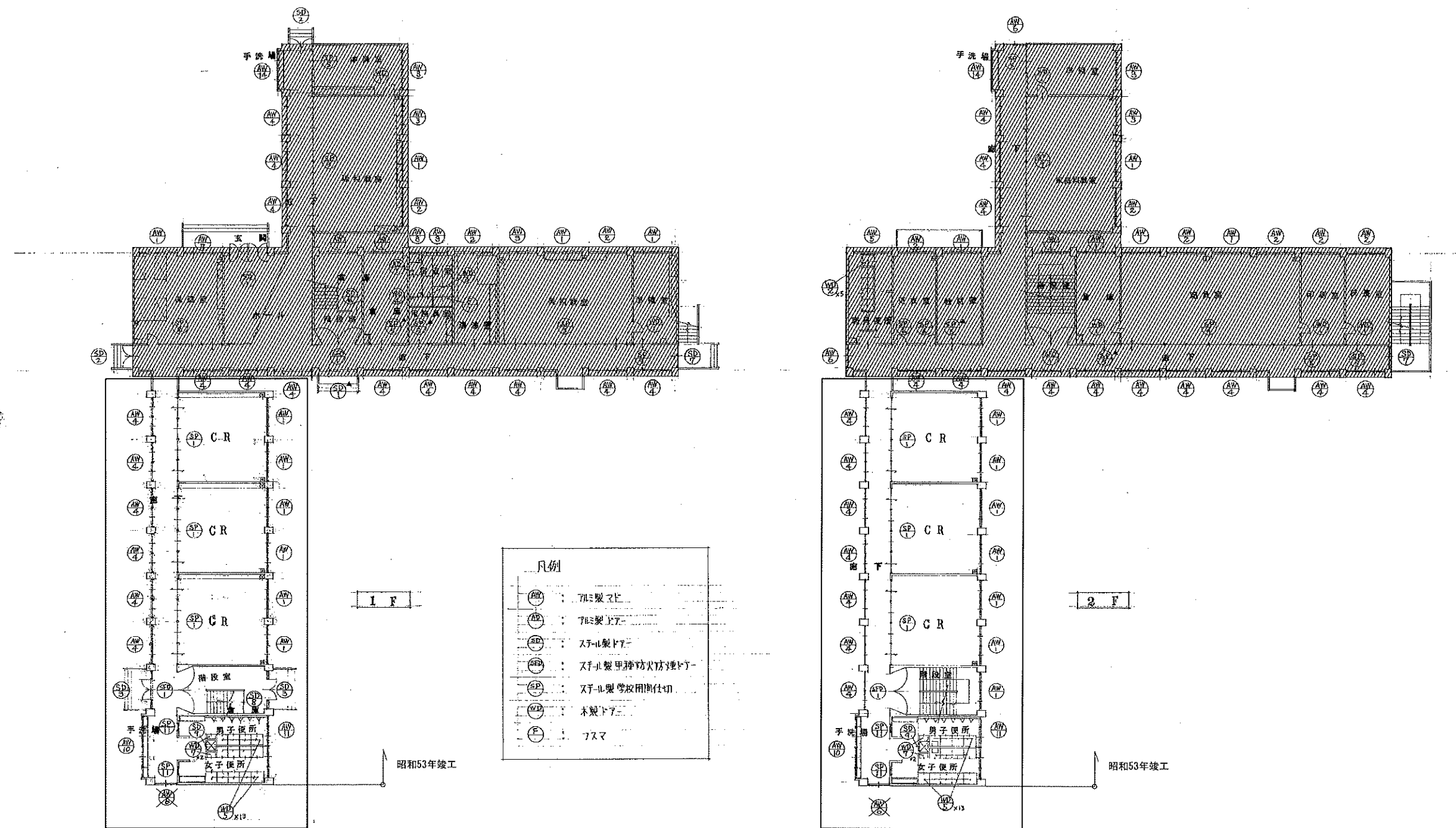
南立面図 S=1:200



断面図 S=1:200

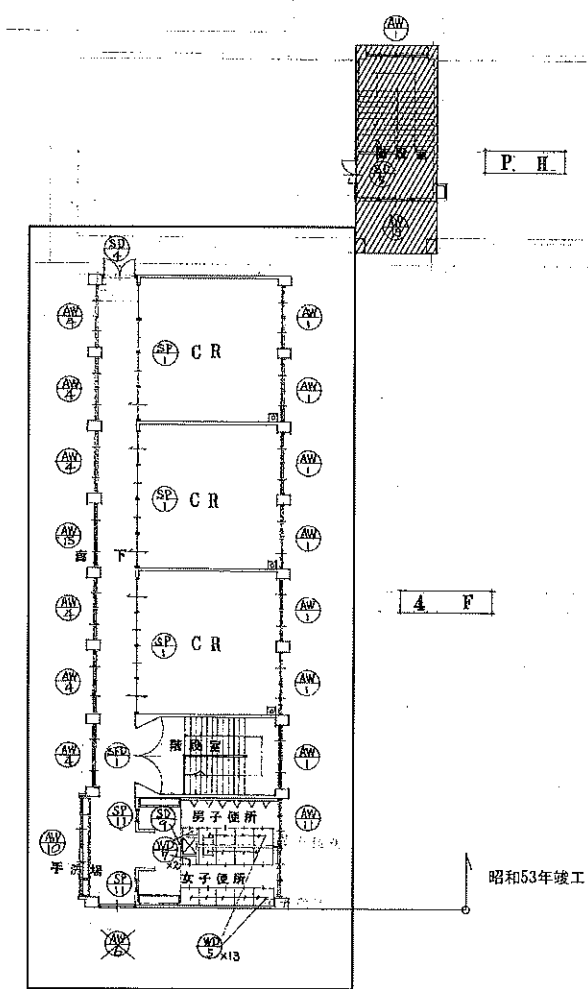
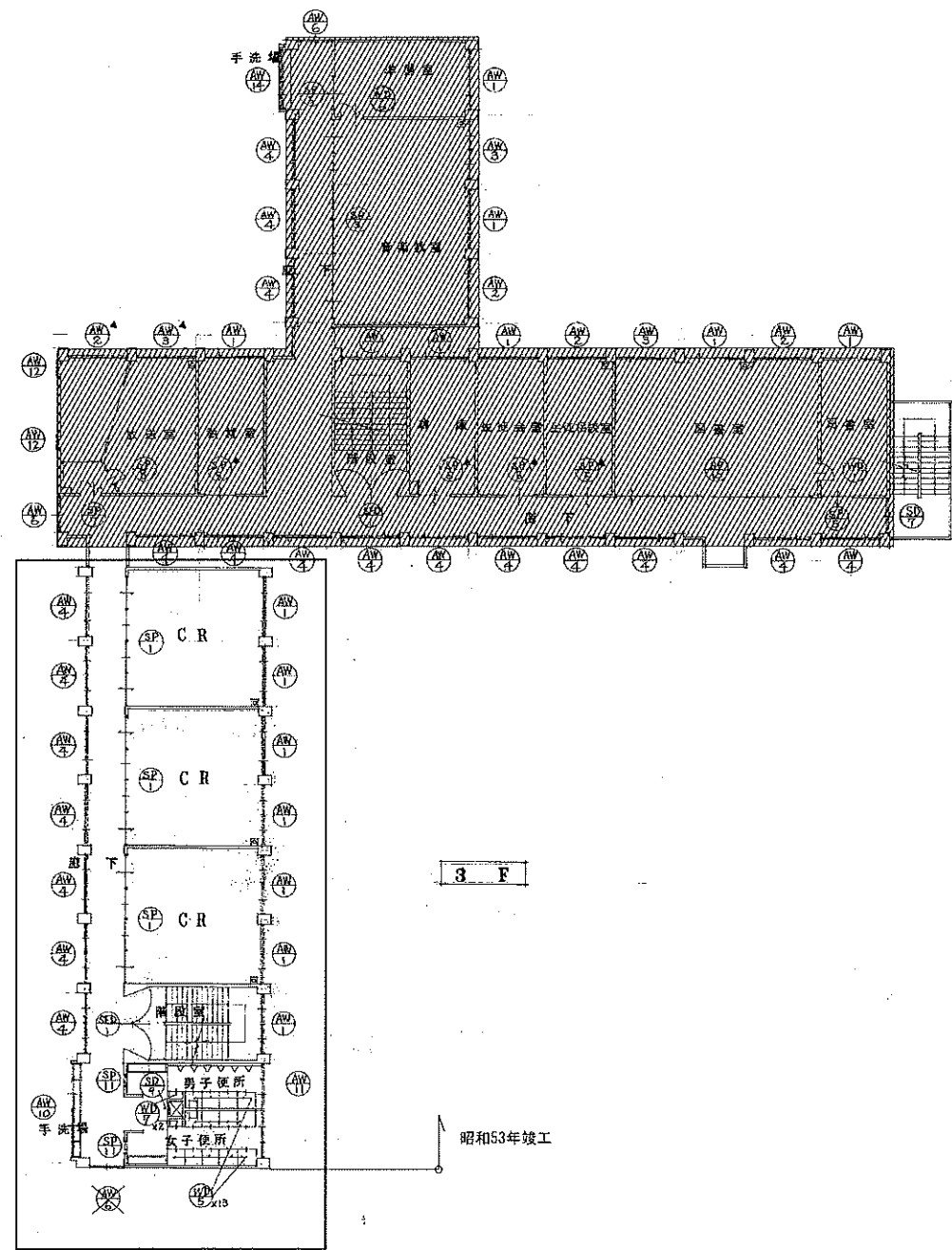
※  は、アスベスト含有吹付材を示す。(S56竣工部分に限る。)

株式 会社 類設計室 一級建築士事務所	本社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 06・6305・2222 東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田朝日ビル4F 03・5713・1010 大阪事務所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 06・6305・6666	設計 一級建築士 大臣登録第311846号 齊藤 直	構造設計一級建築士 第5621号 一級建築士 大臣登録第235240号 廣重 圭一	設備設計一級建築士 第4707号 一級建築士 大臣登録第358739号 鈴木 邦彦	担当 第1回 第2回 第3回	作成 第1回 第2回 第3回	工事名称 西小倉中学校校舎ほか解体工事 図面名称 北教室棟 立面図, 断面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面NO. A-047
-----------------------------------	---	----------------------------------	---	---	-------------------------	-------------------------	--	----------------



※は、対象建物を示す。

※S53竣工部分の建具案内図を示す。(建具リストはA-051, A-052参照)



※ は、対象建物を示す。

※S53竣工部分の建具案内図を示す。(建具リストはA-051, A-052参照)

株式会社 類設計室 一級建築士事務所	本社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田朝日ビル4F 大阪事務所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	設計 一級建築士 大臣登録第311846号 齊藤 直	構造設計一級建築士 第5621号 一級建築士 大臣登録第235240号 廣重 圭一	設備設計一級建築士 第4707号 一級建築士 大臣登録第358739号 鈴木 邦彦	担当	作成	工事名称 西小倉中学校校舎ほか解体工事	図面名称 北教室棟 建具案内図(2) (S53竣工)	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面NO. A-049
						第1回				
						第2回				

符号数量	玄関 1	廊下屋外出入口 2	階段室屋外出入口 2	4F屋上入口 1	P.H.出入口 1	階段室 7	1F廊下出入口 1
図面							
型状	両開式自由戸	両開式自由戸(77122)	両開式自由戸	両開式自由戸	両開式自由戸	両開式自由戸	両開式自由戸
材料	ステンレス V.P.塗	ステンレス V.P.塗	ステンレス V.P.塗	ステンレス V.P.塗	ステンレス V.P.塗	ステンレス V.P.塗	ステンレス V.P.塗
金物	200P.ヒンジ(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)	200P.ヒンジ(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)	200P.ヒンジ(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)	200P.ヒンジ(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)	200P.ヒンジ(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)	200P.ヒンジ(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)	200P.ヒンジ(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)取手(4ヶ所)
寸法	1.615, 1.60, 1.615, 1.910, 1.900	1.895, 1.605, 1.900	1.895, 1.605, 1.900	1.895, 1.900	1.600, 1.900, 1.900	1.615, 1.60, 1.615, 1.910, 1.900	1.615, 1.60, 1.615, 1.910, 1.900
備考		下枠は重宝切付ステンレス製	下枠は重宝切付ステンレス製	下枠は重宝切付ステンレス製	下枠は重宝切付ステンレス製	下枠は重宝切付ステンレス製	下枠は重宝切付ステンレス製
符号数量	普通教室 12	保健室 1	理科室, 美術科室, 音楽科室				
図面							
型状	学校用開仕切	学校用開仕切	学校用開仕切				
材料	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装				
金物	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番				
寸法	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900				
備考	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚				
符号数量	職員室 1	図書室 1	図書室 1	図書室 1	図書室 1	図書室 1	図書室 1
図面							
型状	学校用開仕切	学校用開仕切	学校用開仕切	学校用開仕切	学校用開仕切	学校用開仕切	学校用開仕切
材料	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装
金物	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番
寸法	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900
備考	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚
符号数量	家庭科室 1	図書室 1	図書室 1	図書室 1	図書室 1	図書室 1	図書室 1
図面							
型状	学校用開仕切	学校用開仕切	学校用開仕切	学校用開仕切	学校用開仕切	学校用開仕切	学校用開仕切
材料	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装	特殊亜鉛鍍鋼板 焼付塗装
金物	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番	戸車, アルミ, 埋込引手, シリコン-鎖錠, シリコン-内開錠, 丁番
寸法	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900	1.800, 1.565, 1.565, 1.565, 1.800, 1.900, 1.900
備考	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚	Fix部分 両面亜鉛鍍鋼板 0.4mm厚

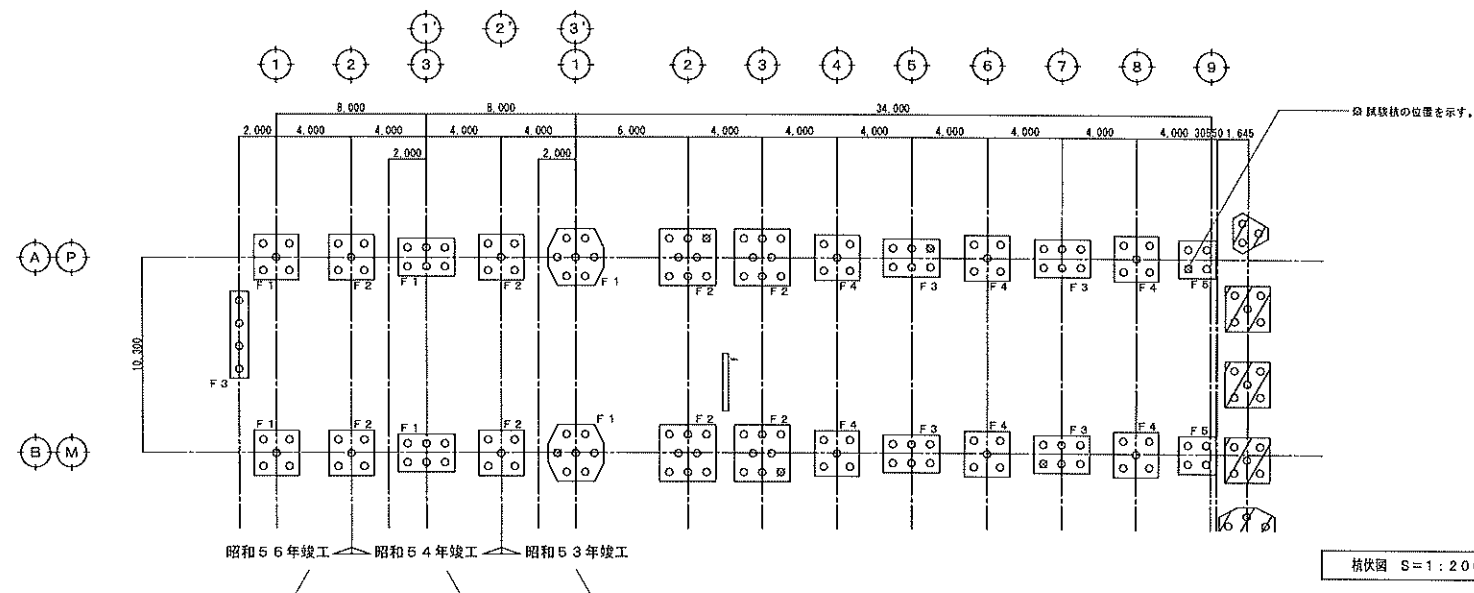
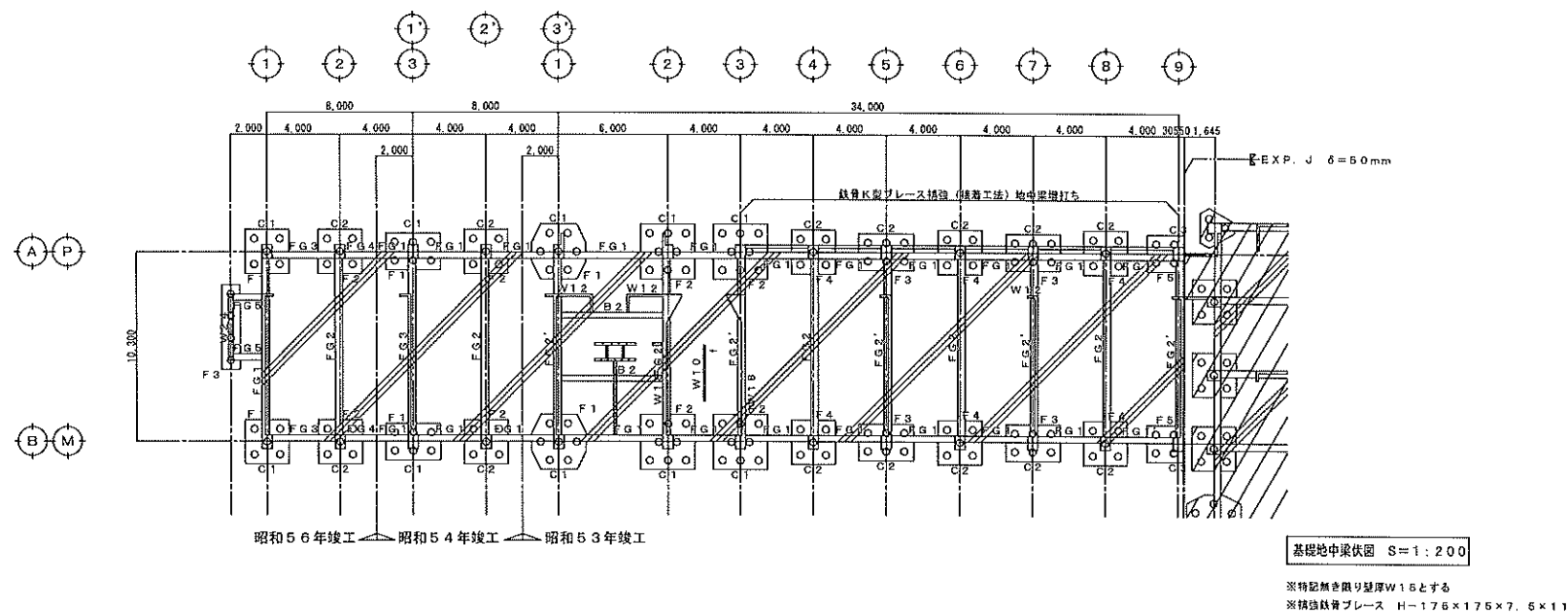
※S53竣工部分の建具リストを示す。

符号数量	48	特別教室その他	13	特別教室その他	8	廊下	64	職員便所	1	廊下	8
図											
型	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド	2枚引違い2連2ド
材	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
金	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド
備	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド
符号数量	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
図											
型	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド
材	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
金	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド
備	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド
符号数量	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
図											
型	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド
材	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
金	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド
備	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド
符号数量	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
図											
型	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド
材	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
金	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド
備	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド
符号数量	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
図											
型	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド
材	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
金	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド
備	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド	ラシ付2枚引違い2連2ド

※S53竣工部分の建具リストを示す。

図 号	13	4	3	20	4	1
図 名	教室 準備室	特別教室	特別教室	廊下	廊下	特別教室棟外生入口
図 状	ラミネート板引違12連マド	ラミネート板引違12連マド	ラミネート板引違12連マド	2枚引違12連マド	2枚引違12連マド	ラミネート板引違12連マド
材 料	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
金 物	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125
硝 子	ト-11 ①③	ト-11 ①③	ト-11 ①③	ト-11 ①③	ト-11 ①③	ト-11 ①③
備 考	2ヶ所上下取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。
図 号	1	4	1	1	1	1
図 名	特別教室棟外生入口	特別教室	特別教室	廊下	廊下	特別教室棟外生入口
図 状	ラミネート板引違12連マド	ラミネート板引違12連マド	ラミネート板引違12連マド	2枚引違12連マド	2枚引違12連マド	ラミネート板引違12連マド
材 料	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
金 物	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125
硝 子	ト-11 ①③	ト-11 ①③	ト-11 ①③	ト-11 ①③	ト-11 ①③	ト-11 ①③
備 考	2ヶ所上下取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。
図 号	1	4	1	1	1	1
図 名	特別教室棟外生入口	特別教室	特別教室	廊下	廊下	特別教室棟外生入口
図 状	ラミネート板引違12連マド	ラミネート板引違12連マド	ラミネート板引違12連マド	2枚引違12連マド	2枚引違12連マド	ラミネート板引違12連マド
材 料	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
金 物	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125	クレセント・アングルボス・ニ重取切 W=125
硝 子	ト-11 ①③	ト-11 ①③	ト-11 ①③	ト-11 ①③	ト-11 ①③	ト-11 ①③
備 考	2ヶ所上下取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。	取付ボスに防錆処理を施す。取付ボスに防錆処理を施す。

※S54竣工部分の建具リストを示す。



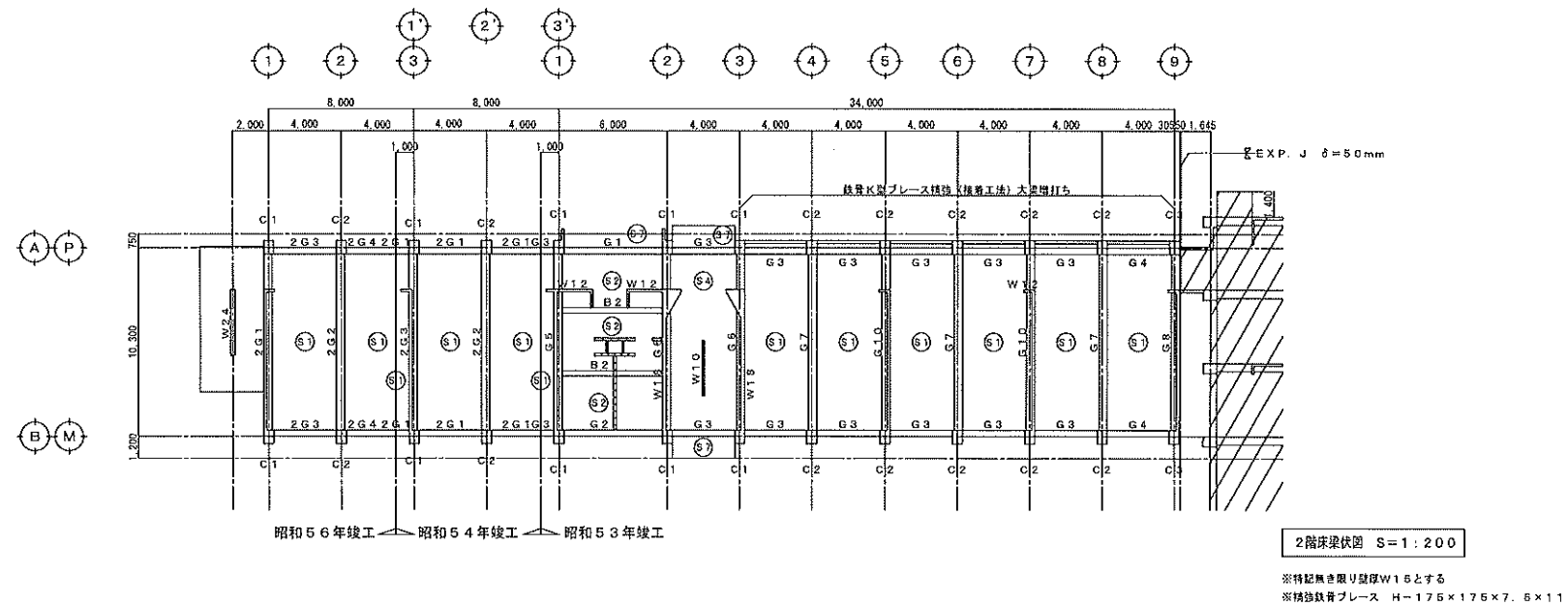
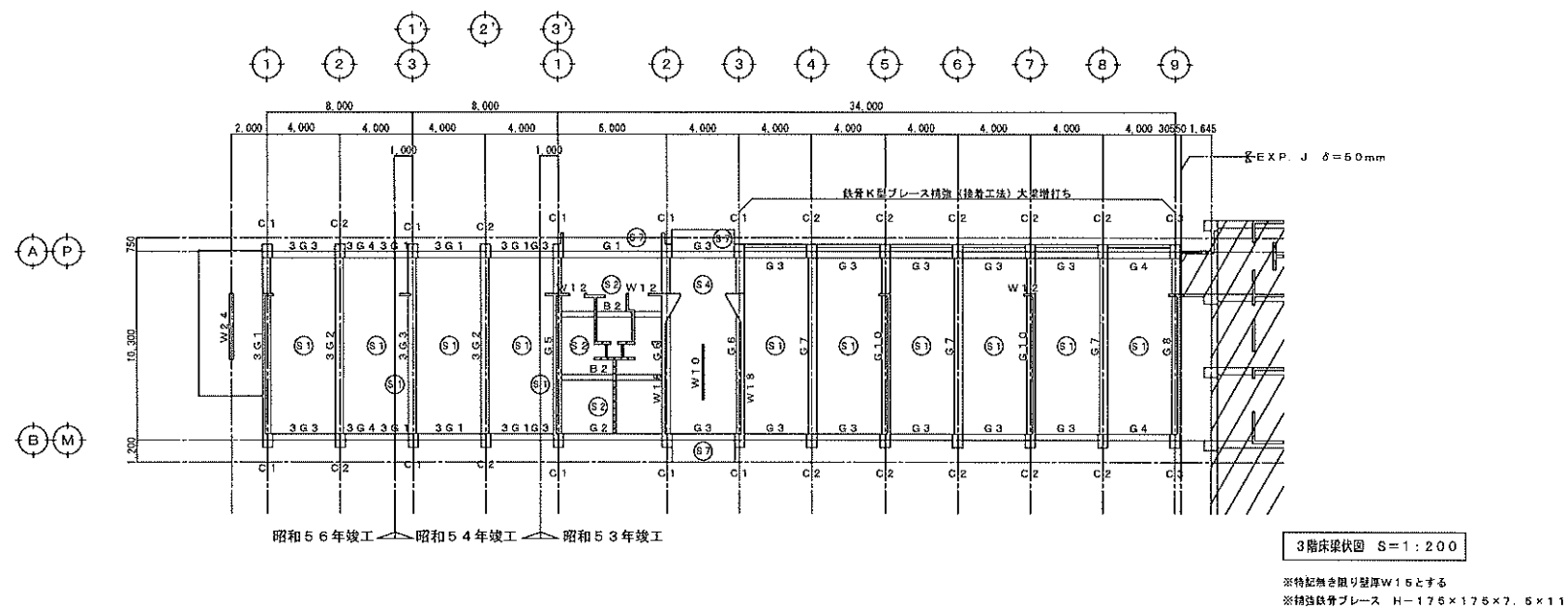
本杭 RCバイル $\phi 400 \times 70 \times 9,000$ ミルクオーガー圧入止 耐力31T/本 22本
試験杭 RCバイル $\phi 400 \times 75 \times 10,000$ オーガー掘削ディーゼルハンマー 耐力62T/本 2本
※試験杭の位置 不明。
※使用材料は昭和53年竣工部と同じものとする。

本杭 RCバイル $\phi 400 \times 70 \times 9,000$ ミルクオーガー圧入止 耐力31T/本 102本
試験杭 RCバイル $\phi 400 \times 75 \times 8,000$ オーガー掘削ディーゼルハンマー 耐力62T/本 6本
使用材料 FC=210kg/cm² 土間コンクリート等 FC=180kg/cm²
鉄筋 D19以上 SD35 D19未満 SD30 丸鋼 SR24

本杭 RCバイル $\phi 400 \times 70 \times 9,000$ ミルクオーガー圧入止 耐力31T/本 20本
試験杭 RCバイル $\phi 400 \times 75 \times 10,000$ オーガー掘削ディーゼルハンマー 耐力62T/本 2本
※試験杭の位置 不明。
※使用材料は昭和53年竣工部と同じものとする。

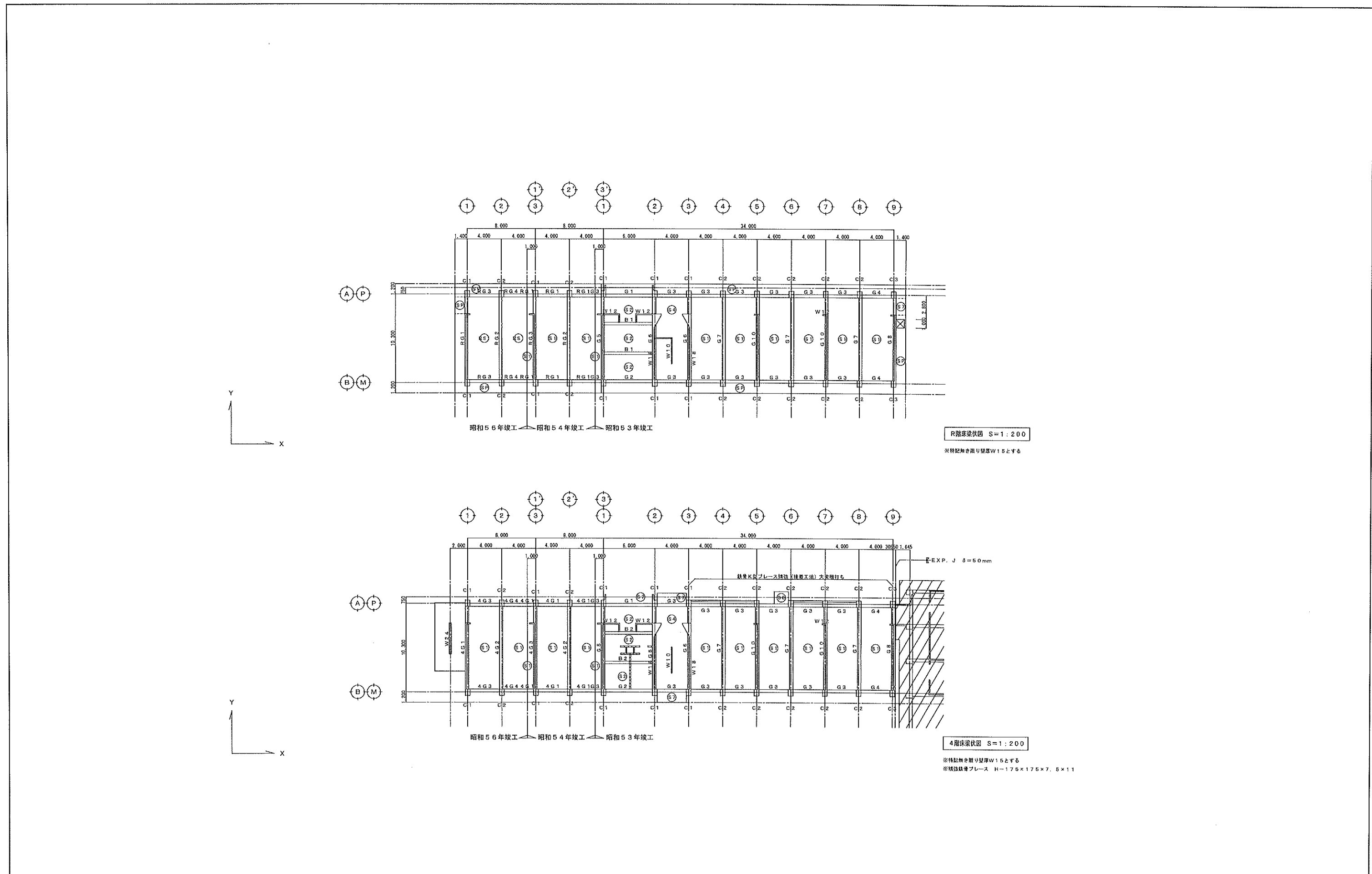
※竣工年ごとに躯体リストを参照すること。

株式会社 類設計室 一級建築士事務所	本社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田朝日ビル4F 03・5713・1010 大阪事務所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 06・6305・6666	設計 一級建築士 大臣登録第311846号 齋藤 直	構造設計一級建築士 第5621号 一級建築士 大臣登録第235240号 廣重 圭一	設備設計一級建築士 第4707号 一級建築士 大臣登録第358739号 鈴木 邦彦	担当	作成	・	・	工事名称 西小倉中学校校舎ほか解体工事	図面名称 北教室棟 基礎・地中梁伏図	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面NO. A-054
						第1回	・	・				
						第2回	・	・				
						第3回	・	・				



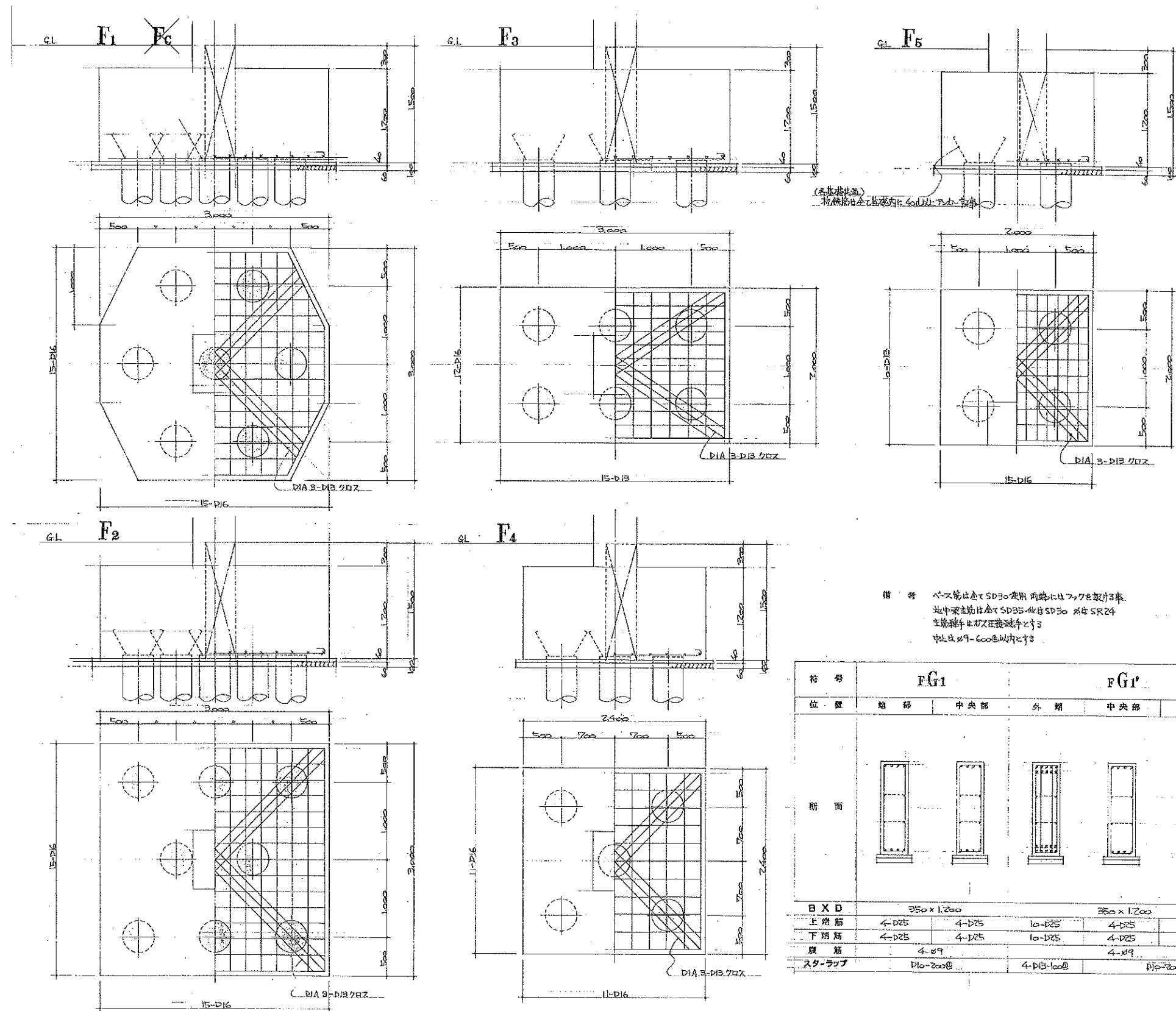
※竣工年ごとに躯体リストを参照すること。

株式会社 類設計室 一級建築士事務所	本 社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田朝日ビル4 F 大阪事務所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	設計 一級建築士 大臣登録第311046号 齊藤 直	構造設計一級建築士 第5621号 一級建築士 大臣登録第235240号 廣重 圭一	設備設計一級建築士 第4707号 一級建築士 大臣登録第358739号 鈴木 邦彦	担当	作 成	-	-	工事名称 西小倉中学校校舎ほか解体工事	図面NO. A-055
						第 1 回	-	-		
						第 2 回	-	-		
						第 3 回	-	-		
図面名称 北教室棟 2.3階床梁伏図									縮尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400	



※竣工年ごとに躯体リストを参照すること。

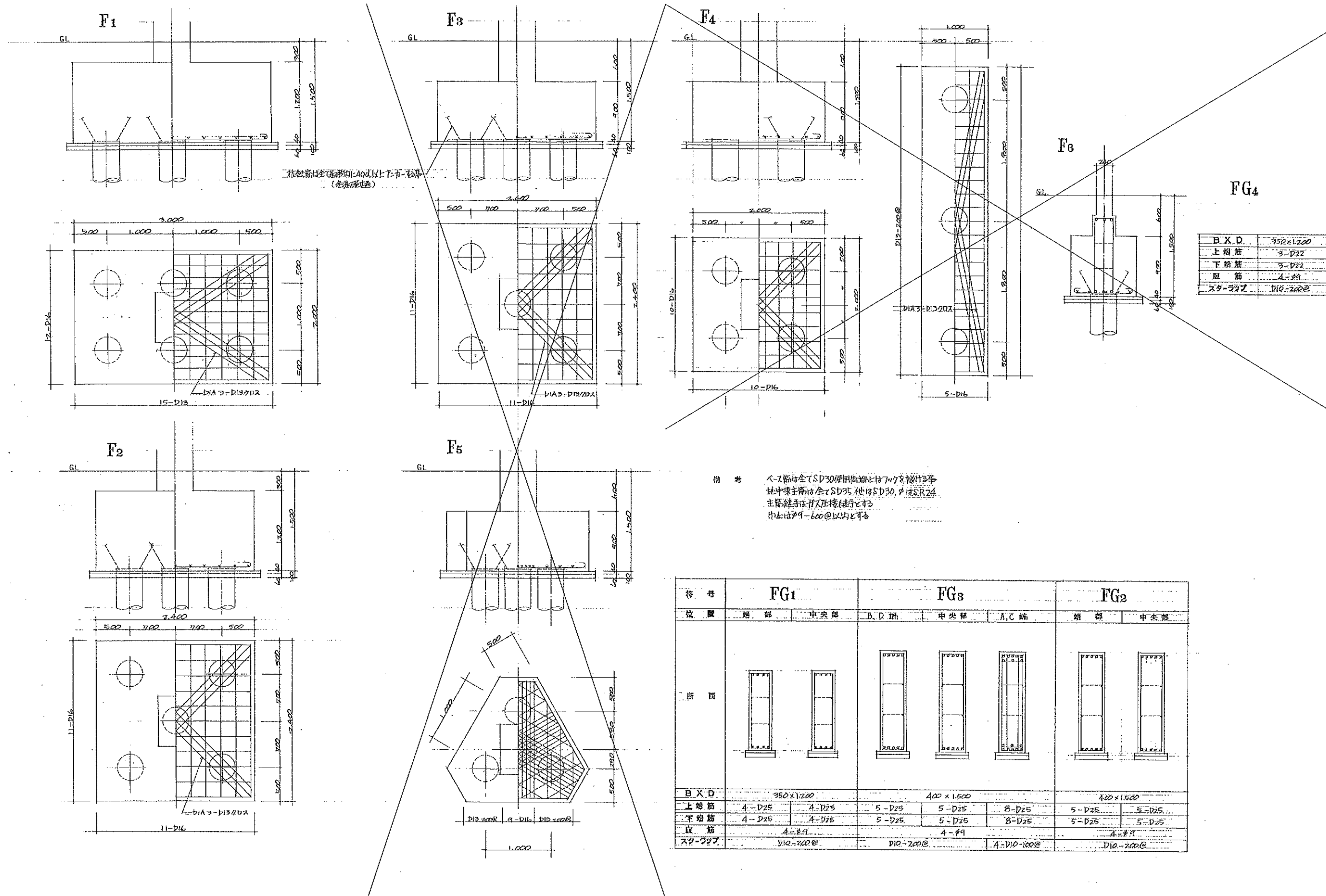
株式会社 類設計室 一級建築士事務所	本社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田朝日ビル4F 大阪事務所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	設計 一級建築士 大臣登録第311846号 齋藤 直	構造設計一級建築士 第5621号 一級建築士 大臣登録第235240号 廣重 圭一	設備設計一級建築士 第4707号 一級建築士 大臣登録第358739号 鈴木 邦彦	担 当	作成	・	・	工事名称 西小倉中学校校舎ほか解体工事 図面名称 北教室棟 4. R階床梁伏図	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面NO. A-056
						第1回	・	・			
						第2回	・	・			

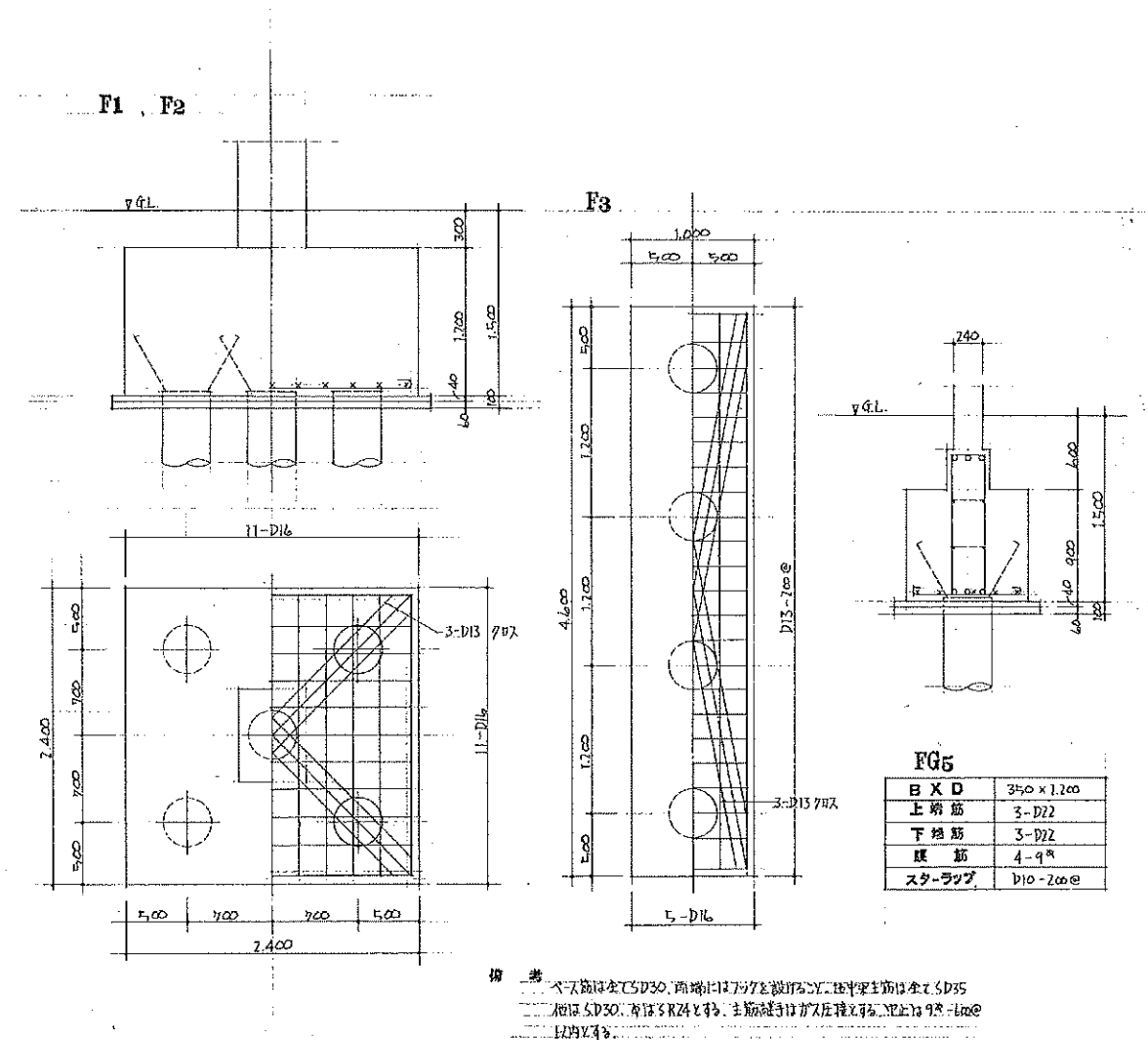


備考 ベース筋は全てSD30使用 内筋にはフックを設ける事
 地中梁主筋は全てSD35使用 SD30 又は SR24
 主筋継手はガス圧接継手とする
 中筋はφ9-600以内とする

符 号	FG1		FG1'		FG2		FG2'	
位 置	端 部	中央部	端 部	中央部	端 部	中央部	M・II・H 端	P・10・K 端
断 面								
B X D	350 x 1,200		350 x 1,200		400 x 1,500		400 x 1,500	
上 筋 筋	4-D25	4-D25	10-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	8-D25
下 筋 筋	4-D25	4-D25	10-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	8-D25
原 筋	4-φ9		4-φ9		4-φ9		4-φ9	
ス タ ャ ッ プ	D10-200@		D10-200@		D10-200@		D10-200@	

※基礎「f」はA-033を参照する事。
 ※S53竣工部分の基礎・地中梁リストを示す。





符 号	FG1			FG2	FG3,4
位 置	B 柱 部	中 央 部	A 柱 部	全 断 面	全 断 面
断 面					
B X D	400 x 1,500			400 x 1,500	350 x 1,200
上 筋 筋	5-D25	5-D25	8-D25	5-D25	4-D25
下 筋 筋	5-D25	5-D25	8-D25	5-D25	4-D25
横 筋	4-9#			4-9#	4-9#
スタ-ラップ	D10-200@			D10-200@	D10-200@

※ 試験体 PC 兼 RC 柱 400 x 1,500 2本 本棟に採用。
 木 柱 RC 柱 400 x 1,500 22本

※S56竣工部分の基礎・地中梁リストを示す。

符 号	C ₁	C ₂	C ₃
4 (P.H.)			
B X D	550 x 750	550 x 750	550 x 750
主 筋	16-D25	12-D25	10-D25
フ ー プ	□ D10-100@	□ D10-100@	□ D10-100@
Dフープ	X D10-500@	△ 左	△ 左
3			
B X D	550 x 750	550 x 750	550 x 750
主 筋	18-D25	12-D25	10-D25
フープ	□ D10-100@	□ D10-100@	□ D10-100@
Dフープ	X D10-500@	△ 左	△ 左
2			
B X D	550 x 750	550 x 750	550 x 750
主 筋	20-D25	14-D25	10-D25
フープ	田 D10-100@	田 D10-100@	□ D10-100@
Dフープ	X D10-500@		
1			
B X D	550 x 750	550 x 750	550 x 750
主 筋	30-D25	26-D25	16-D25
フープ	田 D10-100@	田 D10-100@	田 D10-100@
Dフープ	X D10-500@	△ 左	△ 左

備 考 主筋は全てSD35、他はSD30を使用
主筋継手は全てガス圧接継手とする
主筋柱頭は全てフックを掛ける

※S53竣工部分の柱断面リストを示す。

符 号	C ₁	C ₂
4		
B X D	550 x 750	550 x 750
主 筋	18-D25	12-D25
フープ	□ D10-100@	□ D10-100@
Dフープ	X D10-500@	X D10-500@
3		
B X D	550 x 750	550 x 750
主 筋	12-D25	12-D25
フープ	□ D10-100@	□ D10-100@
Dフープ	X D10-500@	X D10-500@
2		
B X D	550 x 750	550 x 750
主 筋	14-D25	12-D25
フープ	田 D10-100@	田 D10-100@
Dフープ	X D10-500@	X D10-500@
1		
B X D	550 x 750	550 x 750
主 筋	26-D25	26-D25
フープ	田 D10-100@	田 D10-100@
Dフープ	X D10-500@	X D10-500@

備 考 主筋は全てSD35、他はSD30を使用
主筋継手は全てガス圧接継手とする
主筋柱頭は全てフックを掛ける

※S54竣工部分の柱断面リストを示す。

符 号	C ₁	C ₂
4		
B X D	550 x 750	550 x 750
主 筋	10-D25	12-D25
フープ	田 D10-100@	田 D10-100@
Dフープ	X D10-500@	X D10-500@
3		
B X D	550 x 750	550 x 750
主 筋	10-D25	10-D25
フープ	田 D10-100@	田 D10-100@
Dフープ	X D10-500@	X D10-500@
2		
B X D	550 x 750	550 x 750
主 筋	10-D25	10-D25
フープ	田 D10-100@	田 D10-100@
Dフープ	X D10-500@	X D10-500@
1		
B X D	550 x 750	550 x 750
主 筋	柱頭 18-D25, 柱脚 22-D25	柱頭 24-D25, 柱脚 28-D25
フープ	田 D10-100@	田 D10-100@
Dフープ	X D10-500@	X D10-500@

備 考 主筋は全てSD35、他はSD30を使用する。
主筋継手は全てガス圧接継手とする。
主筋柱頭は全てフックを掛けること。

※S56竣工部分の柱断面リストを示す。

符 号	G1		G2		G3		G4			G5		G6			G7		G8		G9		
	端 部	中央部	端 部	中央部	端 部	中央部	8 端	中央部	9 端	端 部	中央部	P 端	中央部	M 端	端 部	中央部	端 部	中央部	端 部	中央部	
R																					
B X D	350×800		350×800		350×700		350×700			350×700		350×700			350×700			350×700			
上 端 筋	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	6-D25	4-D25	5-D25	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25	4-D25	3-D25	4-D25		
下 端 筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	6-D25	6-D25	5-D25	3-D25	3-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25		
腹 筋	2-φ9		2-φ9		2-φ9		2-φ9			2-φ9		2-φ9			2-φ9		2-φ9				
スターラップ	D10-200@		D10-200@		D10-200@		D10-200@			D10-200@		D13-100@			D13-100@			D13-150@			
4																					
B X D	350×800		350×800		350×700		350×700			400×700		400×700			400×700			400×700		350×700	
上 端 筋	5-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22	4-D22	6-D25	3-D25	7-D25	3-D25	8-D25	6-D25	3-D25	5-D25	3-D25	4-D22	2-D22	
下 端 筋	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	5-D25	4-D25	7-D25	5-D25	8-D25	6-D25	4-D25	5-D25	3-D25	4-D22	3-D22	
腹 筋	2-φ9		2-φ9		2-φ9		2-φ9			2-φ9		2-φ9			2-φ9		2-φ9		2-φ9		
スターラップ	D13-125@		D10-200@		D10-200@		D10-200@			D13-100@		D13-100@			D13-125@			D13-200@		D10-200@	
3																					
B X D	350×800		350×800		350×700		350×700			450×700		450×700			450×700			450×700		350×700	
上 端 筋	6-D22	3-D22	5-D22	3-D22	4-D22	3-D22	4-D22	3-D22	6-D22	8-D25	4-D25	8-D25	4-D25	8-D25	7-D25	4-D25	6-D25	3-D25	5-D22	3-D22	
下 端 筋	6-D22	3-D22	5-D22	3-D22	4-D22	3-D22	4-D22	3-D22	6-D22	8-D25	4-D25	8-D25	4-D25	8-D25	7-D25	4-D25	6-D25	4-D25	5-D22	3-D22	
腹 筋	2-φ9		2-φ9		2-φ9		2-φ9			4-φ9		4-φ9			4-φ9		4-φ9		2-φ9		
スターラップ	D13-125@		D10-200@		D10-200@		D10-200@			D13-100@		D13-100@			D13-125@			D13-200@		D10-200@	
2																					
B X D	350×800		350×800		350×700		350×700			450×700		450×700			450×700			450×700			
上 端 筋	6-D25	3-D25	6-D22	3-D22	6-D22	3-D22	4-D25	3-D25	6-D25	10-D25	4-D25	10-D25	4-D25	10-D25	9-D25	4-D25	7-D25	3-D25			
下 端 筋	6-D25	3-D25	6-D22	3-D22	6-D22	3-D22	4-D25	3-D25	6-D25	10-D25	5-D25	10-D25	6-D25	10-D25	9-D25	5-D25	7-D25	4-D25			
腹 筋	2-φ9		2-φ9		2-φ9		2-φ9			4-φ9		4-φ9			4-φ9		4-φ9				
スターラップ	D13-100@		D10-200@		D13-100@		D10-200@			D13-100@		D13-100@			D13-100@			D13-200@			

※S53竣工部分の梁断面リストを示す。

符 号	G5			G6			G10			G8		
位 置	M 端	中央部	P 端	M 端	中央部	P 端	M 端	中央部	P 端	M 端	中央部	P 端
R (P・H)												
B X D	350 x 900			400 x 900			350 x 900			350 x 900		
上 端 筋	6-D25	4-D25	8-D25	5-D25	3-D25	7-D25	4-D25	3-D25	6-D25	4-D25	3-D25	6-D25
下 端 筋	6-D25	6-D25	8-D25	5-D25	5-D25	7-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	3-D25	6-D25
腹 筋	2-φ9			2-φ9			2-φ9			2-φ9		
スタ-ラップ	D13-100@			D13-100@			D13-150@			D13-150@		
4 (R)												
B X D	400 x 900			400 x 900			400 x 900			400 x 900		
上 端 筋	6-D25	4-D25	8-D25	8-D25	3-D25	10-D25	6-D25	3-D25	8-D25	5-D25	3-D25	7-D25
下 端 筋	6-D25	4-D25	8-D25	8-D25	5-D25	10-D25	6-D25	4-D25	8-D25	5-D25	3-D25	7-D25
腹 筋	2-φ9			2-φ9			2-φ9			2-φ9		
スタ-ラップ	D13-100@			D13-100@			D13-125@			D13-200@		
3												
B X D	450 x 900			450 x 900			450 x 900			450 x 900		
上 端 筋	8-D25	4-D25	10-D25	8-D25	4-D25	10-D25	7-D25	4-D25	9-D25	6-D25	3-D25	8-D25
下 端 筋	8-D25	4-D25	10-D25	8-D25	5-D25	10-D25	7-D25	4-D25	9-D25	6-D25	4-D25	8-D25
腹 筋	4-φ9			4-φ9			4-φ9			4-φ9		
スタ-ラップ	D13-100@			D13-100@			D13-125@			D13-200@		
2												
B X D	450 x 900			450 x 900			450 x 900			450 x 900		
上 端 筋	10-D25	4-D25	12-D25	10-D25	4-D25	12-D25	9-D25	4-D25	11-D25	7-D25	3-D25	9-D25
下 端 筋	10-D25	5-D25	12-D25	10-D25	6-D25	12-D25	9-D25	5-D25	11-D25	7-D25	4-D25	9-D25
腹 筋	4-φ9			4-φ9			4-φ9			4-φ9		
スタ-ラップ	D13-100@			D13-100@			D13-100@			D13-200@		

備 考 主筋は全てSD35 4本 SD35 2本はSR24 本使用 中筋はφ9: 600@以内とする
 主筋は全てSD35 4本 SD35 2本はSR24 本使用 中筋はφ9: 600@以内とする
 主筋は全てSD35 4本 SD35 2本はSR24 本使用 中筋はφ9: 600@以内とする

※梁断面は「B1. B2」はA-082を参照する事。

※S53竣工部分の梁断面リストを示す。

符 号	G ₁			G ₂			G ₃		
位 置	端 部	中 央 部		端 部	中 央 部		B 端	中 央 部	A 端
R									
B X D	350 x 700			350 x 900			350 x 900		
上 端 筋	3-D22	2-D22		4-D25	3-D25		5-D25	3-D25	7-D25
下 端 筋	3-D22	3-D22		4-D25	4-D25		5-D25	5-D25	7-D25
腹 筋	2-φ4			2-φ4			2-φ4		
スタ-ラップ	D10-200@			D13-150@			D13-125@		4-D13-125@
4									
B X D	350 x 700			400 x 900			400 x 900		
上 端 筋	3-D22	2-D22		5-D25	3-D25		6-D25	3-D25	8-D25
下 端 筋	3-D22	3-D22		5-D25	4-D25		6-D25	5-D25	8-D25
腹 筋	2-φ4			2-φ4			2-φ4		
スタ-ラップ	D10-200@			D13-125@			D13-125@		4-D13-125@
3									
B X D	350 x 700			450 x 900			450 x 900		
上 端 筋	4-D22	3-D22		6-D25	4-D25		7-D25	4-D25	9-D25
下 端 筋	4-D22	3-D22		6-D25	4-D25		7-D25	5-D25	9-D25
腹 筋	2-φ4			4-φ4			4-φ4		
スタ-ラップ	D10-200@			D13-125@			D13-125@		4-D13-125@
2									
B X D	350 x 700			450 x 900			450 x 900		
上 端 筋	6-D22	3-D22		8-D25	4-D25		8-D25	4-D25	10-D25
下 端 筋	6-D22	3-D22		8-D25	5-D25		8-D25	6-D25	10-D25
腹 筋	2-φ4			4-φ4			4-φ4		
スタ-ラップ	D13-150@			D13-100@			D13-100@		4-D13-100@

補 考
 主筋は全てSD30またはSD35、φはSR74を原則とする。主筋継ぎは全てガサ元接継ぎとする。
 R降架主筋は全て筋線45°に於けるφは45°とする。
 φは筋はφ4-φ6以内とし、二接継ぎによる降架主筋はφ4-φ6以内とする。
 R降架主筋は全て筋線45°に於けるφは45°とする。
 二接継ぎによる降架主筋はφ4-φ6以内とする。
 R降架主筋は全て筋線45°に於けるφは45°とする。

※S54竣工部分の梁断面リストを示す。

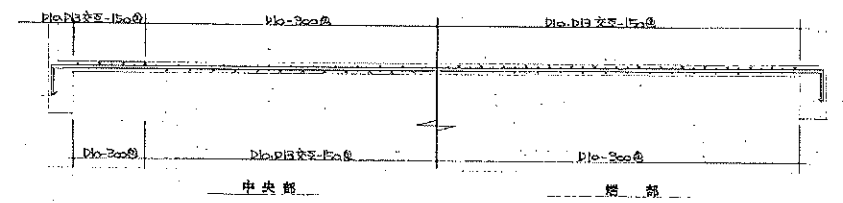
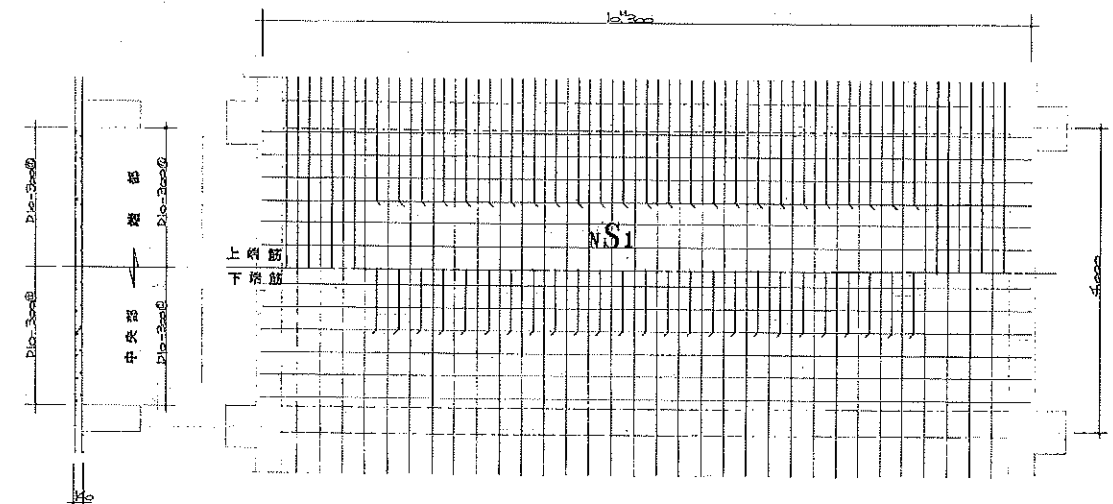
符 号	G ₃			G ₄			G ₁			G ₂		
位 置	① 端 部	中 央 部	② 端 部	② 端 部	中 央 部	③ 端 部	④ 端 部	中 央 部	⑤ 端 部	④ 端 部	中 央 部	⑤ 端 部
R												
B X D	350 x 700			350 x 700			350 x 900			350 x 900		
上 端 筋	3-D22	2-D22	3-D22	5-D22	2-D22	3-D22	4-D25	2-D25	4-D25	4-D25	2-D25	4-D25
下 端 筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	2-D25	4-D25
腹 筋	2-φ4			2-φ4			2-φ4			2-φ4		
スタ-ラップ	D10-200@			D10-200@			D13-150@			D10-150@		
4												
B X D	350 x 700			350 x 700			400 x 900			400 x 900		
上 端 筋	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	5-D25	2-D25	5-D25	6-D25	2-D25	4-D25
下 端 筋	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D25	3-D25	5-D25	6-D25	3-D25	4-D25
腹 筋	2-φ4			2-φ4			2-φ4			2-φ4		
スタ-ラップ	D10-200@			D10-200@			D13-200@			D10-200@		
3												
B X D	350 x 700			350 x 700			450 x 900			450 x 900		
上 端 筋	6-D22	3-D22	4-D22	4-D22	2-D22	4-D22	6-D25	2-D25	6-D25	7-D25	2-D25	7-D25
下 端 筋	6-D22	3-D22	4-D22	4-D22	3-D22	4-D22	6-D25	3-D25	6-D25	7-D25	4-D25	7-D25
腹 筋	2-φ4			2-φ4			2-φ4			4-φ4		
スタ-ラップ	D13-150@			D13-200@			D13-200@			D10-150@		
2												
B X D	350 x 700			350 x 700			450 x 900			450 x 900		
上 端 筋	10-D22	3-D22	7-D22	7-D22	2-D22	7-D22	8-D25	2-D25	8-D25	9-D25	2-D25	9-D25
下 端 筋	10-D22	3-D22	7-D22	7-D22	3-D22	7-D22	8-D25	4-D25	8-D25	9-D25	4-D25	9-D25
腹 筋	2-φ4			2-φ4			2-φ4			4-φ4		
スタ-ラップ	D13-100@			D13-100@			D13-150@			D10-150@		

補 考
 主筋は全てSD35、φはSR74を原則とする。主筋継ぎは全てガサ元接継ぎとする。
 R降架主筋は全て筋線45°に於けるφは45°とする。
 φは筋はφ4-φ6以内とし、二接継ぎによる降架主筋はφ4-φ6以内とする。

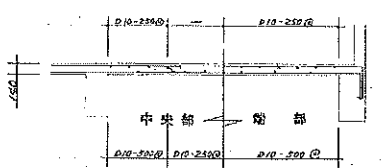
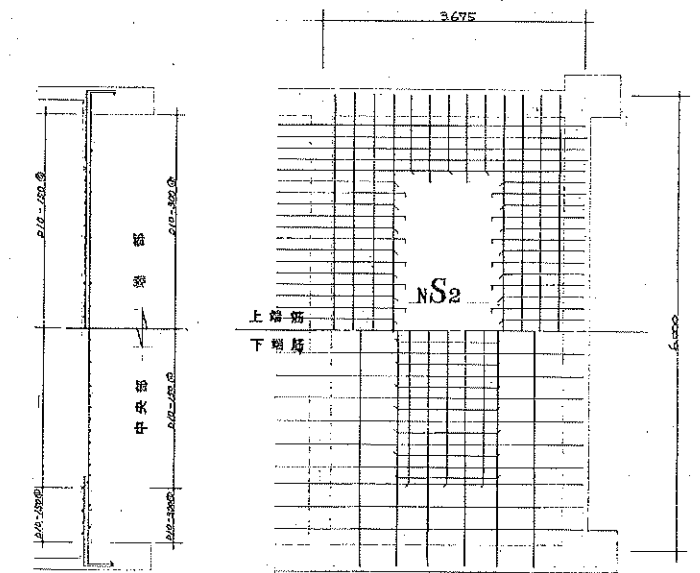
※S56竣工部分の梁断面リストを示す。

床版リスト

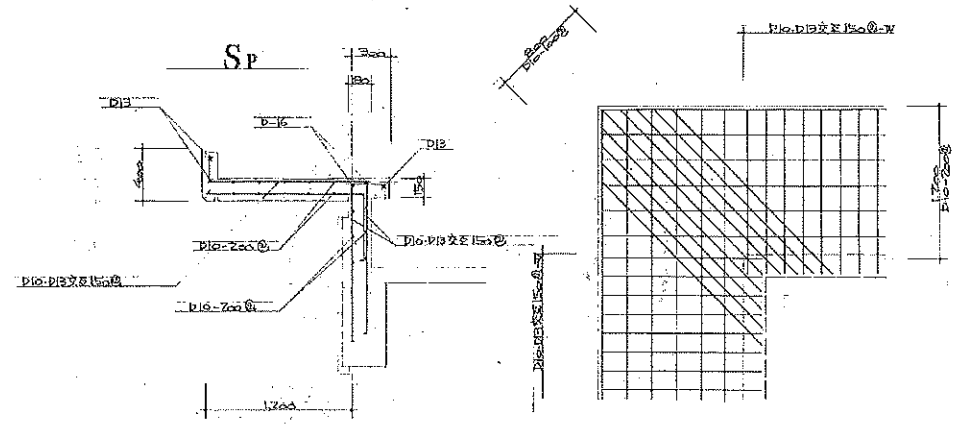
符 号	t	位 置	短 辺		長 辺		備 考
			端 部	中央部	端 部	中央部	
RS1	140	上 端 筋	D10-D13 交互 150@	D10 300@	D10 200@	D10 300@	
		下 端 筋	D10 300@	D10-D13 交互 150@	D10 300@	D10 200@	
NS1	140	上 端 筋	D10-D13 交互 150@	D10 300@	D10 300@	D10 300@	
		下 端 筋	D10 300@	D10-D13 交互 150@	D10 300@	D10 300@	
RS2	140	上 端 筋	D10 150@		D10 300@		
		下 端 筋	D10 300@	D10 150@	D10 600@	D10 300@	
NS2	140	上 端 筋	D10 150@		D10 250@		
		下 端 筋	D10 300@	D10 150@	D10 500@	D10 250@	
NS3	140	上 端 筋	D10-D13 交互 150@	D10 300@	D10 200@	D10 300@	
		下 端 筋	D10 300@	D10-D13 交互 150@	D10 300@	D10 200@	
NS4	140	上 端 筋	D13 150@	D13 150@	D13 150@	D13 150@	
		下 端 筋	D10-D13 交互 150@	D10-D13 交互 150@	D10 150@	D10 150@	
NS5	140	上 端 筋	D10 200@	D10 400@	D10 300@	D10 450@	
		下 端 筋	D10 400@	D10 200@	D10 450@	D10 300@	
NS6	140	上 端 筋	D10 200@	D10 200@	D10 300@	D10 300@	
		下 端 筋	D10 200@	D10 200@	D10 300@	D10 300@	
NS7	120~150	上 端 筋	D10-200@		D10-300@		
		下 端 筋	D10-200@		D10-300@		
NS8	120~150	上 端 筋	D13-150@		D10-200@		
		下 端 筋	D13-150@		D10-200@		
SP	150	上 端 筋	D10-D13 交互-150@		D10-200@		
		下 端 筋	D10-D13 交互-150@		D10-200@		
一般土間	120		タテ・ヨコ共に 49-250@ シングル				



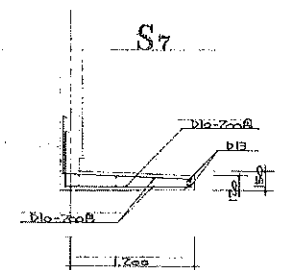
1/50



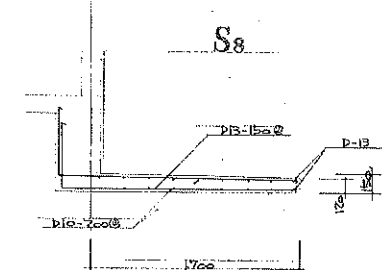
1/50



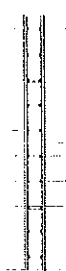
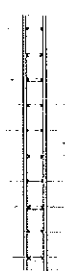
1/30

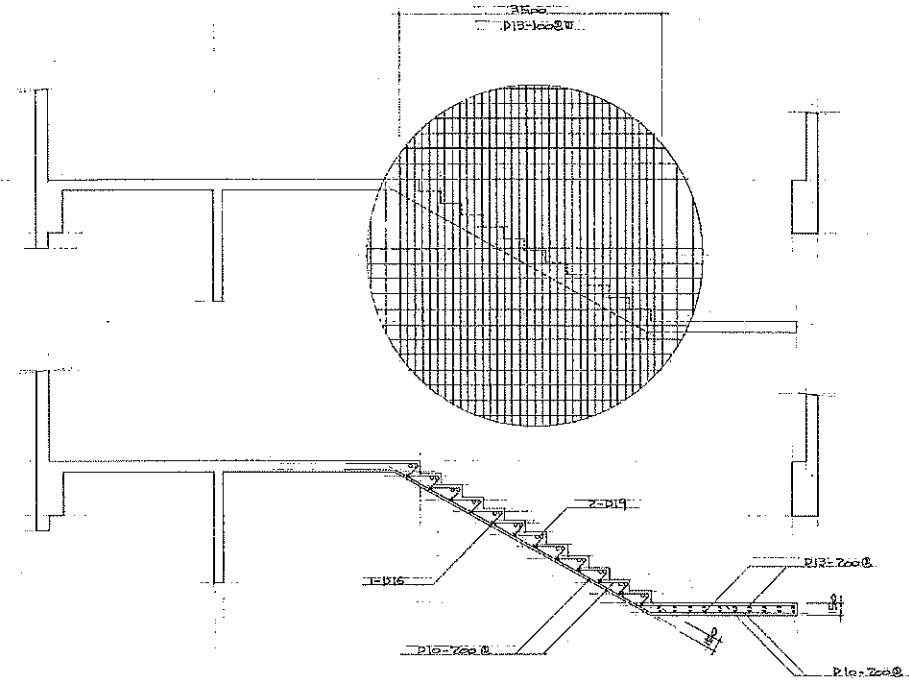


1/30

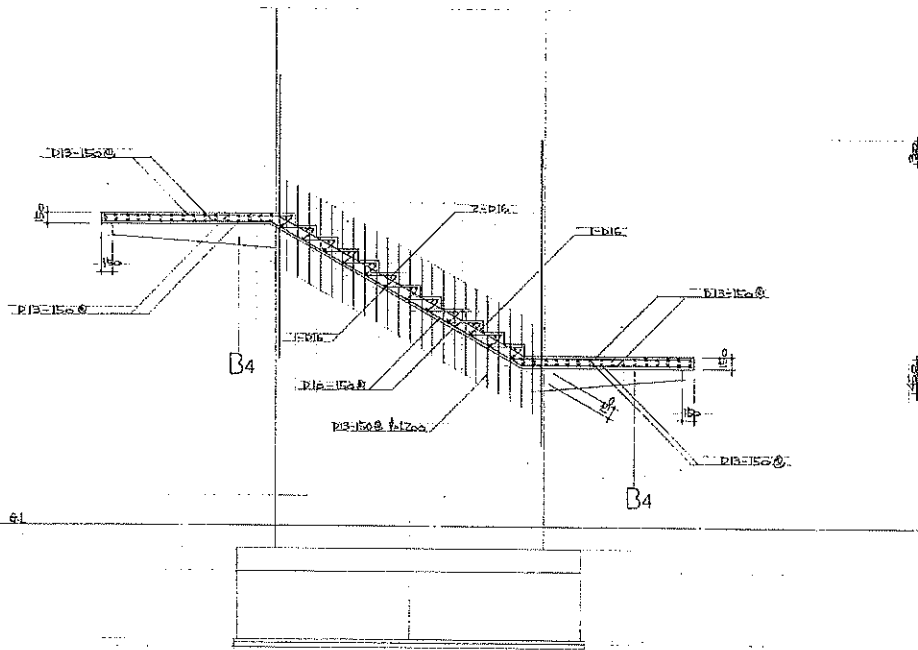


壁リスト

符 号	W100	W120	W150	W180	W240	CB100	CB150
	100	120	150	180	240	100	150
断面							
縦筋	10-200@	10-200@	10-200@	10-180交互-200@	13-150@	9-200@	9-200@
横筋	10-200@	10-200@	10-200@	10-180交互-200@	10-180交互-150@	9-200@	9-200@
補鉄筋 (自由配置等)	1-13	1-13	2-13	2-16	2-16	1-13	1-13
巾止筋			10-1,000@	10-1,000@	10-900@		



内部構造断面 S=1:50



外部構造断面 S=1:50

